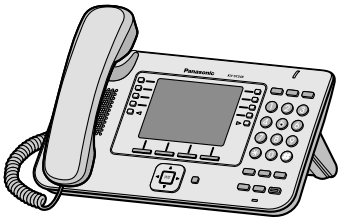
Panasonic



KX-UT248N

取扱説明書（プログラム編）

SIP電話機

品番 KX-UT123N
KX-UT136N
KX-UT248N

保証書別添付　技術基準適合認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

KX-UT123N ／ KX-UT136N ／ KX-UT248N：ソフトウェアバージョン　01.130 以降

Document Version 2012-05

はじめに

本書は、本機の設定について詳しく説明しています。
本書には技術的な記載があり、ネットワークとVoIP（Voice over Internet Protocol）に関する知識が必要です。

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、下記の3冊で構成されています。

お使いになる前に（印刷物）	使用するうえでの安全上のご注意・お願いや、接続の方法を説明しています。
取扱説明書（操作編）（PDF）	各部のなまえ、操作の手順、お手入れの方法などを説明しています。取扱説明書（操作編）は、下記のパナソニックのウェブサイトでご確認いただけます。 http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/
取扱説明書（プログラム編）（本書）	システム管理者が行う設定や、保守・管理の方法を説明しています。

本書での表記について

- 操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のように表しています。

お願い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
お知らせ	操作の補足説明を記載しています。

- 参照していただきたいページを☞ マークで表記しています。
- 本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

オープンソースソフトウェアについて

本製品の一部はオープンソースソフトウェアを使用しています。オープンソースソフトウェアのライセンスについては取扱説明書（操作編）を参照ください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Excel、Internet Explorer、Outlook、およびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

もくじ

1　本機を使用した基本的な設定 23
1.1　設定 24
1.1.1　工場出荷値 24
1.1.2　基本的なネットワーク設定 24
1.1.3　その他のネットワーク設定 25
1.1.3.1　ファイアウォールおよびルーターの設定 25
1.1.3.2　NAT（Network Address Translation）設定 26
1.1.3.3　グローバルアドレス検出機能について 27
2　プログラミングの概要 29
2.1　プログラミングの方法 30
2.2　本機を使用したプログラミング 30
2.3　Webプログラミング 30
2.4　設定ファイルのプログラミング 31
2.5　プレプロビジョニング 31
2.5.1　プレプロビジョニングとは 31
2.5.2　プレプロビジョニング用サーバー 32
2.5.3　プレプロビジョニングの設定例 32
2.6　プロビジョニング 34
2.6.1　プロビジョニングとは 34
2.6.2　プロビジョニング用プロトコル 34
2.6.3　設定ファイル 35
2.6.4　設定ファイルのダウンロード 36
2.6.5　プロビジョニングサーバー設定例 39
2.6.6　暗号化 41
2.7　設定方法の優先度 41
3　本機を使用したプログラミング 43
3.1　本機を使用したプログラミング 44
3.1.1　直接コマンド 44
3.1.2　本機の初期化 44
3.1.3　電話帳の削除 45
3.1.4　端末番号の設定 45
3.1.5　Web ID／パスワードの初期化 45
4　Webプログラミング 47
4.1　Webプログラミングの設定一覧 48
4.2　Webプログラミングの概要 59
4.2.1　Webプログラミングのパスワード 59
4.2.2　Webプログラミングにアクセスする前に 59
4.2.3　Webプログラミングへのアクセス（ログイン） 61

4.3 機器情報 64
4.3.1 バージョン情報 64
4.3.1.1 バージョン情報 64
モデル名 64
運用中プログラム領域 64
IPLバージョン 64
ファームウェアバージョン 64
4.3.2 ネットワークステータス 65
4.3.2.1 ネットワークステータス 65
MACアドレス 65
LANポートのリンク状態 65
PCポートのリンク状態 65
接続方式 65
IPアドレス 65
サブネットマスク 65
デフォルトゲートウェイ 66
DNSサーバー1 66
DNSサーバー2 66
IEEE802.1X状態（KX-UT248Nのみ） 66
4.3.3 VoIPステータス 66
4.3.3.1 VoIPステータス 67
回線番号 67
電話番号 67
VoIPステータス 67
4.4 ネットワーク設定 68
4.4.1 ネットワーク基本設定 68
4.4.1.1 接続方式 69
接続方式 69
4.4.1.2 DHCP接続 69
ホスト名 69
DNSサーバー設定方式 69
4.4.1.3 固定IP接続 70
IPアドレス 70
サブネットマスク 70
デフォルトゲートウェイ 71
DNSサーバー1 71
DNSサーバー2 71
4.4.2 イーサポート設定 72
4.4.2.1 リンク速度／デュプレックス 72
LANポート 72

PCポート 73
4.4.2.2 VLAN 73
VLAN 73
IP電話 (VLAN ID) 74
IP電話 (優先度) 74
PC（VLAN ID） 74
PC（優先度） 74
4.4.3 IEEE802.1X設定（KX-UT248Nのみ） 75
4.4.3.1 IEEE802.1X設定 75
IEEE802.1X 75
4.4.3.2 IEEE802.1X認証 76
認証プロトコル 76
認証ID 76
認証パスワード 76
4.4.4 HTTPクライアント設定 77
4.4.4.1 HTTPクライアント設定 77
HTTP バージョン 77
HTTPユーザーエージェント 77
4.4.4.2 HTTP認証 78
認証ID 78
認証パスワード 78
4.4.4.3 プロキシサーバー 78
プロキシサーバー 78
プロキシサーバーアドレス 79
プロキシサーバーポート 79
4.4.5 グローバルアドレス検出 79
4.4.5.1 グローバルアドレス検出 79
検出方式 79
検出間隔 80
4.4.5.2 STUNサーバー 80
STUNサーバーアドレス 80
STUNサーバーポート 80
4.4.6 静的NAPT設定 80
4.4.6.1 グローバルアドレス 81
グローバルアドレス 81
4.4.6.2 SIPポートマッピング 82
回線 1～回線 x 82
4.4.6.3 RTPポートマッピング 82
グローバルRTPポート 1～25 82
4.4.7 XMLアプリケーション設定 83

4.4.7.1 XMLアプリケーション設定 83
XMLアプリケーションポート 83
XMLアプリケーション設定 83
4.4.7.2 XMLアプリケーション認証 83
認証ID 83
認証パスワード 84
4.5 システム設定 84
4.5.1 Web言語 84
4.5.1.1 Web言語 84
言語 84
4.5.2 管理者パスワード変更 84
4.5.2.1 管理者パスワード変更 85
現在のパスワード 85
新しいパスワード 85
パスワード確認 85
4.5.3 ユーザーパスワード変更 86
4.5.3.1 ユーザーパスワード変更 86
現在のパスワード 86
新しいパスワード 86
パスワード確認 87
4.5.4 Webサーバー設定 87
4.5.4.1 Webサーバー設定 87
Webサーバーポート 87
ポートクローズ時間 88
4.5.5 時刻同期設定 88
4.5.5.1 時刻同期 89
自動時刻同期 89
同期間隔 89
4.5.5.2 タイムサーバー 89
NTPサーバーアドレス 89
4.5.5.3 タイムゾーン 89
タイムゾーン 89
4.5.5.4 サマータイム 90
サマータイム 90
サマータイムのオフセット 90
4.5.5.5 サマータイムの開始規則 90
月 90
週、曜日 91
時刻 91
4.5.5.6 サマータイムの終了規則 92

月 92
週、曜日 92
時刻 93
4.6 VoIP 93
4.6.1 SIP設定 93
4.6.1.1 SIP設定 94
SIPユーザーエージェント 94
4.6.2 SIP設定 [回線 1]～[回線 x] 94
4.6.2.1 電話番号 95
電話番号 95
SIP URI 96
4.6.2.2 SIPサーバー 96
レジストラサーバーアドレス 96
レジストラサーバーポート 96
プロキシサーバーアドレス 96
プロキシサーバーポート 97
プレゼンスサーバーアドレス 97
プレゼンスサーバーポート 97
4.6.2.3 アウトバウンドプロキシ 97
アウトバウンドプロキシサーバーアドレス 97
アウトバウンドプロキシサーバーポート 98
4.6.2.4 SIPサービスドメイン 98
サービスドメイン 98
4.6.2.5 SIPポート 98
SIPポート 98
4.6.2.6 SIP認証 99
認証ID 99
認証パスワード 99
4.6.2.7 DNS 99
DNS SRV 99
UDP用SRVプリフィックス 100
TCP用SRVプリフィックス 100
4.6.2.8 SIPトランスポートプロトコル 101
トランスポートプロトコル 101
4.6.2.9 SIPタイマー 101
T1タイマー 101
T2タイマー 101
タイマーB 102
タイマーD 102
タイマーF 102

タイマーH 102
タイマーJ 103
4.6.2.10 QoS 103
DSCP （SIPパケット） 103
4.6.2.11 SIP拡張機能 103
100rel （RFC 3262） 103
セッションタイマー （RFC 4028） 104
4.6.2.12 NAT 104
キープアライブ間隔 104
Rport （RFC 3581） 104
4.6.2.13 セキュリティ 104
SIPソースアドレスフィルター 104
4.6.3 VoIP設定 105
4.6.3.1 RTP設定 105
RTP送信間隔 105
RTPポートの最小値 106
RTPポートの最大値 106
DTMFペイロードタイプ 107
4.6.4 VoIP設定 [回線 1]～[回線 x] 108
4.6.4.1 QoS 108
DSCP （RTPパケット） 108
DSCP （RTCPパケット） 108
4.6.4.2 統計情報 109
RTCP送信 109
RTCP送信間隔 109
4.6.4.3 ジッタバッファ 109
最大遅延 109
最小遅延 110
初期遅延 110
4.6.4.4 DTMF 110
DTMF方式 110
DTMFリレー 111
4.6.4.5 RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留 111
RFC 2543 保留 (c=0.0.0.0) 111
4.6.4.6 コーディック優先度 111
G722（設定） 111
G722（優先度） 112
PCMA（設定） 112
PCMA（優先度） 112
G726-32（設定） 112

G726-32（優先度） 113
G729A（設定） 113
G729A（優先度） 113
PCMU（設定） 113
PCMU（優先度） 114
4.7 電話設定 114
4.7.1 電話機能設定 114
4.7.1.1 電話機能設定 114
ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信 114
会議サーバーURI 115
ダイヤル桁間タイマー 115
ダイヤルプランタイマー 115
国際番号 116
国番号 116
市内局番 116
通常使用する回線番号 116
フラッシュ動作（切断＆再捕捉） 117
フラッシュ再捕捉イベント 117
内線指定代理応答 117
4.7.1.2 着信拒否番号 118
1～30 118
4.7.2 電話機能設定 [回線 1]～[回線 x] 119
4.7.2.1 電話機能設定 119
ディスプレイネーム 119
ボイスメールアクセス番号 120
シェアードコール 120
着信拒否／不在転送同期 121
リソースリストURI 121
4.7.2.2 番号計画 122
番号計画 （最大500文字） 122
番号計画不一致時に発信 122
4.7.2.3 発着信機能 122
発信者番号非通知 122
非通知着信拒否 123
着信拒否 123
4.7.2.4 不在転送 124
全着信 (不在転送) 124
全着信 (転送先電話番号) 124
話中 (不在転送) 125
話中 (転送先電話番号) 125

不応答 (不在転送) 126
不応答 (転送先電話番号) 126
不応答 (鳴動回数) 127
4.7.3 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ） 127
4.7.3.1 機能ボタン設定 127
ボタン種別（番号1～24） 127
ボタン情報（番号1～24） 128
ボタン名（番号1～24） 128
4.7.4 トーン設定 129
4.7.4.1 発信音 129
使用周波数 129
オン／オフ周期 130
4.7.4.2 話中音 130
使用周波数 130
オン／オフ周期 130
4.7.4.3 着信音 131
使用周波数 131
オン／オフ周期 131
4.7.4.4 スタッター音 131
使用周波数 131
オン／オフ周期 132
4.7.4.5 リオーダー音 132
使用周波数 132
オン／オフ周期 132
4.7.5 電話設定 133
4.7.5.1 電話設定 133
ボタン確認音 133
内線暗証番号 133
発信番号を照合する下限桁数 134
発信番号を照合する上限桁数 134
4.7.6 電話帳インポート 134
4.7.6.1 電話帳インポート 135
インポートファイル名 135
4.7.7 電話帳エクスポート 135
4.7.8 XMLアプリケーション設定 136
4.7.8.1 アプリケーション起動用URL 136
URL 136
4.7.8.2 アプリケーション初期用URL 137
URL 137
4.7.8.3 着信用URL 137

URL 137
4.7.8.4 通話中用URL 137
URL 137
4.7.8.5 発信用URL 138
URL 138
4.7.8.6 通話履歴用URL 138
URL 138
4.7.8.7 アイドル用URL 138
URL 138
4.7.8.8 ネットワーク電話帳用URL 138
URL 138
4.7.8.9 ネットワーク電話帳認証 139
認証ID 139
認証パスワード 139
4.8 保守 139
4.8.1 ファームウェア保守 139
4.8.1.1 ファームウェア保守 140
自動バージョンアップ 140
ファームウェア更新方法 140
ファームウェアファイルURL 141
4.8.2 ローカルバージョンアップ 141
4.8.2.1 ローカルバージョンアップ 141
暗号 141
インポートファイル名 141
4.8.3 プロビジョニング保守 142
4.8.3.1 プロビジョニング保守 142
プロビジョニング 142
スタンダードファイルURL 143
プロダクトファイルURL 143
マスターファイルURL 143
定期プロビジョニング 144
定期プロビジョニング間隔 144
プロビジョニングSIPイベント名 144
4.8.4 マネジメントサーバー設定 145
4.8.4.1 マネジメントサーバー設定 145
マネジメントサーバーURL 145
4.8.4.2 マネジメントサーバー認証 145
認証ID 145
認証パスワード 145
4.8.5 設定値の初期化 146

4.8.6 再起動 146
4.9 メッセージについて 147
5 設定ファイルのプログラミング 151
5.1 設定ファイルのパラメータリスト 152
5.2 設定ファイルの概要 165
5.2.1 設定ファイルの仕様 165
5.2.2 設定ファイルのパラメータ 167
5.2.3 テキスト型に使用できる文字 168
5.3 設定ファイルの例 168
5.3.1 コーデック設定の例 168
5.3.2 誤った記述の例 169
5.4 TR-069を使用した設定ファイルの設定 171
5.5 システム設定 175
5.5.1 アカウント設定 175
ADMIN_ID 175
ADMIN_PASS 175
USER_ID 176
USER_PASS 176
5.5.2 時刻設定 176
TIME_ZONE 176
DST_ENABLE 177
DST_OFFSET 177
DST_START_MONTH 178
DST_START_ORDINAL_DAY 178
DST_START_DAY_OF_WEEK 179
DST_START_TIME 179
DST_STOP_MONTH 180
DST_STOP_ORDINAL_DAY 180
DST_STOP_DAY_OF_WEEK 180
DST_STOP_TIME 181
LOCAL_TIME_ZONE_POSIX 181
5.5.3 Syslog設定 182
SYSLOG_EVENT_SIP 182
SYSLOG_EVENT_CFG 183
SYSLOG_EVENT_VOIP 183
SYSLOG_EVENT_TEL 183
SYSLOG_ADDR 183
SYSLOG_PORT 183
SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_n 184
5.5.4 ファームウェアアップデート設定 184

FIRM_UPGRADE_ENABLE 184
FIRM_VERSION 184
FIRM_UPGRADE_AUTO 185
FIRM_FILE_PATH 185
5.5.5 プロビジョニング設定 186
OPTION66_ENABLE 186
OPTION66_REBOOT 187
PROVISION_ENABLE 187
CFG_STANDARD_FILE_PATH 187
CFG_PRODUCT_FILE_PATH 188
CFG_MASTER_FILE_PATH 189
CFG_FILE_KEY1 190
CFG_FILE_KEY2 191
CFG_FILE_KEY3 191
CFG_FILE_KEY_LENGTH 191
CFG_CYCLIC 192
CFG_CYCLIC_INTVL 192
CFG_RTRY_INTVL 192
CFG_RESYNC_TIME 193
CFG_RESYNC_FROM_SIP 193
5.5.6 マネジメントサーバー設定 193
ACS_URL 193
ACS_USER_ID 194
ACS_PASS 194
PERIODIC_INFORM_ENABLE 194
PERIODIC_INFORM_INTERVAL 194
PERIODIC_INFORM_TIME 195
CON_REQ_USER_ID 195
CON_REQ_PASS 195
ANNEX_G_STUN_ENABLE 196
ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR 196
ANNEX_G_STUN_SERV_PORT 196
ANNEX_G_STUN_USER_ID 197
ANNEX_G_STUN_PASS 197
ANNEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE 197
ANNEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE 198
UDP_CON_REQ_ADDR_NOTIFY_LIMIT 198
5.6 ネットワーク設定 198
5.6.1 IP設定 198
CONNECTION_TYPE 198

HOST_NAME 199
DHCP_DNS_ENABLE 199
STATIC_IP_ADDRESS 200
STATIC_SUBNET 200
STATIC_GATEWAY 201
USER_DNS1_ADDR 201
USER_DNS2_ADDR 202
5.6.2 DNS設定 202
DNS_QRY_PRLL 202
DNS_PRIORITY 202
DNS1_ADDR 203
DNS2_ADDR 203
5.6.3 イーサポート設定 203
VLAN_ENABLE 203
VLAN_ID_IP_PHONE 204
VLAN_PRI_IP_PHONE 204
VLAN_ID_PC 204
VLAN_PRI_PC 205
5.6.4 IEEE802.1X設定（KX-UT248Nのみ） 205
IEEE8021X_ENABLE 205
IEEE8021X_AUTH_PRTCL 206
IEEE8021X_USER_ID 206
IEEE8021X_USER_PASS 206
5.6.5 HTTP設定 207
HTTPD_PORTOPEN_AUTO 207
HTTP_VER 207
HTTP_USER_AGENT 207
HTTP_SSL_VERIFY 208
CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH 208
5.6.6 時刻同期設定 209
NTP_ADDR 209
TIME_SYNC_INTVL 209
TIME_QUERY_INTVL 210
5.6.7 STUN設定 210
STUN_SERV_ADDR 210
STUN_SERV_PORT 210
STUN_2NDSERV_ADDR 210
STUN_2NDSERV_PORT 211
5.6.8 各種ネットワーク設定 211
NW_SETTING_ENABLE 211

CUSTOM_WEB_PAGE 211
5.7 電話設定 212
5.7.1 呼制御設定 212
VM_SUBSCRIBE_ENABLE 212
CONFERENCE_SERVER_URI 212
FIRSTDIGIT_TIM 213
INTDIGIT_TIM 213
MACRODIGIT_TIM 213
INTERNATIONAL_ACCESS_CODE 213
COUNTRY_CALLING_CODE 214
NATIONAL_ACCESS_CODE 214
DEFAULT_LINE_SELECT 214
DATA_LINE_MODE 214
NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT 215
TALK_PACKAGE 215
HOLD_PACKAGE 215
HOLD_RECALL_TIM 216
AUTO_ANS_RING_TIM 216
RINGING_OFF_SETTING_ENABLE 216
AUTO_CALL_HOLD 216
REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE 216
ONHOOK_TRANSFER_ENABLE 217
DISCONNECTION_MODE 217
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET 217
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE 217
KEY_PAD_TONE 218
5.7.2 音質設定 218
DIAL_TONE1_FRQ 218
DIAL_TONE1_GAIN 218
DIAL_TONE1_RPT 218
DIAL_TONE1_TIMING 219
DIAL_TONE2_FRQ 219
DIAL_TONE2_GAIN 219
DIAL_TONE2_RPT 219
DIAL_TONE2_TIMING 220
DIAL_TONE4_FRQ 220
DIAL_TONE4_GAIN 220
DIAL_TONE4_RPT 221
DIAL_TONE4_TIMING 221
BUSY_TONE_FRQ 221

BUSY_TONE_GAIN 221
BUSY_TONE_RPT 222
BUSY_TONE_TIMING 222
REORDER_TONE_FRQ 222
REORDER_TONE_GAIN 223
REORDER_TONE_RPT 223
REORDER_TONE_TIMING 223
RINGBACK_TONE_FRQ 223
RINGBACK_TONE_GAIN 224
RINGBACK_TONE_RPT 224
RINGBACK_TONE_TIMING 224
HOLD_ALARM_FRQ 224
HOLD_ALARM_GAIN 225
HOLD_ALARM_RPT 225
HOLD_ALARM_TIMING 225
CW_TONE1_FRQ 225
CW_TONE1_GAIN 226
CW_TONE1_RPT 226
CW_TONE1_TIMING 226
HOLD_TONE_FRQ 226
HOLD_TONE_GAIN 226
HOLD_TONE_RPT 227
HOLD_TONE_TIMING 227
BELL_CORE_PATTERN1_TIMING 227
BELL_CORE_PATTERN2_TIMING 228
BELL_CORE_PATTERN3_TIMING 228
BELL_CORE_PATTERN4_TIMING 228
BELL_CORE_PATTERN5_TIMING 228
5.7.3 電話設定 229
DISPLAY_NAME_REPLACE 229
NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT 229
NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT 229
EXTENSION_PIN 230
POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE 230
5.7.4 各種電話設定 230
ADJDATA_GAIN 230
5.7.5 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ） 232
FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx 232
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx 232
FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx 232

FLEX_BUTTON_LABELx 233
5.7.6 XMLアプリケーション設定 233
XML_HTTPD_PORT 233
XMLAPP_ENABLE 234
XMLAPP_USERID 234
XMLAPP_USERPASS 234
XMLAPP_START_URL 234
XMLAPP_INITIAL_URL 235
XMLAPP_INCOMING_URL 235
XMLAPP_TALKING_URL 235
XMLAPP_MAKECALL_URL 235
XMLAPP_CALLLOG_URL 236
XMLAPP_IDLING_URL 236
XMLAPP_LDAP_URL 236
XMLAPP_LDAP_USERID 236
XMLAPP_LDAP_USERPASS 237
5.8 VoIP設定 237
5.8.1 コーデック設定 237
CODEC_G711_REQ 237
CODEC_G729_PARAM 237
CODEC_ENABLEx_n 237
CODEC_PRIORITYx_n 238
5.8.2 RTP設定 239
DSCP_RTP_n 239
DSCP_RTCP_n 239
RTCP_INTVL_n 239
MAX_DELAY_n 240
MIN_DELAY_n 240
NOM_DELAY_n 240
RTP_PORT_MIN 241
RTP_PORT_MAX 241
RTP_PTIME 242
RTCP_ENABLE_n 242
RTCP_SEND_BY_SDP_n 243
RTP_CLOSE_ENABLE_n 243
5.8.3 各種VoIP設定 243
OUTBANDDTMF_n 243
DTMF_RELAY_n 244
OUTBANDDTMF_VOL 244
INBANDDTMF_VOL 244

TELEVENT_PAYLOAD 245
RFC2543_HOLD_ENABLE_n 245
DTMF_SIGNAL_LEN 245
DTMF_INTDIGIT_TIM 246
5.9 回線設定 246
5.9.1 呼制御設定 246
DISPLAY_NAME_n 246
VM_NUMBER_n 246
DIAL_PLAN_n 247
DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n 247
SHARED_CALL_ENABLE_n 247
FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n 248
RESOURCELIST_URI_n 249
CW_ENABLE_n 249
RETURN_VOL_SET_DEFAULT_ENABLE 249
FLASH_RECALL_TERMINATE 250
FLASHHOOK_CONTENT_TYPE 250
VOICE_MESSAGE_AVAILABLE 250
HOLD_SOUND_PATH_n 250
CALLPARK_KEY_ENABLE 251
CALLPARK_AREAKEY_ENABLE 251
CALLPARK_METHOD 251
NUM_PLAN_PARKING 252
NUM_PLAN_PARK_AREA 252
LINEKEY_ENABLE 252
DDI_ICD_GROUP_DISPLAY 252
5.9.2 SIP設定 253
SIP_USER_AGENT 253
PHONE_NUMBER_n 253
SIP_URI_n 254
LINE_ENABLE_n 254
PROFILE_ENABLEn 254
SIP_AUTHID_n 255
SIP_PASS_n 255
SIP_SRC_PORT_n 255
SIP_PRXY_ADDR_n 256
SIP_PRXY_PORT_n 256
SIP_RGSTR_ADDR_n 256
SIP_RGSTR_PORT_n 257
SIP_SVCDOMAIN_n 257

REG_EXPIRE_TIME_n 257
REG_INTERVAL_RATE_n 257
SIP_SESSION_TIME_n 258
SIP_SESSION_METHOD_n 258
DSCP_SIP_n 258
SIP_2NDPROXY_ADDR_n 259
SIP_2NDPROXY_PORT_n 259
SIP_2NDRGSTR_ADDR_n 259
SIP_2NDRGSTR_PORT_n 260
SIP_TIMER_T1_n 260
SIP_TIMER_T2_n 260
SIP_TIMER_T4_n 261
SIP_FOVR_NORSP_n 261
SIP_FOVR_MAX_n 261
SIP_REFRESHER_n 262
SIP_DNSSRV_ENA_n 262
SIP_UDP_SRV_PREFIX_n 262
SIP_TCP_SRV_PREFIX_n 263
SIP_100REL_ENABLE_n 263
SIP_INVITE_EXPIRE_n 264
SIP_18X_RTX_INTVL_n 264
SIP_PRSNC_ADDR_n 264
SIP_PRSNC_PORT_n 265
SIP_2NDPRSNC_ADDR_n 265
SIP_2NDPRSNC_PORT_n 265
USE_DEL_REG_OPEN_n 266
USE_DEL_REG_CLOSE_n 266
PORT_PUNCH_INTVL_n 266
SIP_ADD_RPORT_n 267
SIP_REQURI_PORT_n 267
SIP_SUBS_EXPIRE_n 268
SUB_RTX_INTVL_n 268
REG_RTX_INTVL_n 268
SIP_P_PREFERRED_ID_n 268
SIP_PRIVACY_n 269
ADD_USER_PHONE_n 269
SDP_USER_ID_n 269
SUB_INTERVAL_RATE_n 270
SIP_OUTPROXY_ADDR_n 270
SIP_OUTPROXY_PORT_n 270

SIP_TRANSPORT_n 271
SIP_ANM_DISPNAME_n 271
SIP_ANM_USERNAME_n 271
SIP_ANM_HOSTNAME_n 272
SIP_DETECT_SSAF_n 272
SIP_RCV_DET_HEADER_n 272
SIP_CONTACT_ON_ACK_n 273
SIP_TIMER_B_n 273
SIP_TIMER_D_n 273
SIP_TIMER_F_n 274
SIP_TIMER_H_n 274
SIP_TIMER_J_n 274
ADD_TRANSPORT_UDP_n 275
ADD_EXPIRES_HEADER_n 275
SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n 275
SIP_ADD_DIVERSION_n 276
SIP_RESPONSE_CODE_DND 276
SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT 276

6 便利な電話機能 277
6.1 電話帳のインポートとエクスポート 278
6.1.1 インポートとエクスポートの手順 280
6.1.2 Microsoft Excelによる編集 281
6.1.3 Microsoft Outlookのアドレス帳のエクスポート 284
6.2 ダイヤルプラン 285
6.2.1 ダイヤルプランの設定 286
6.3 フレキシブルボタン（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ） 288
6.3.1 フレキシブルボタンの設定 291

7 ファームウェアのアップデート 293
7.1 ファームウェアアップデートの概要 294
7.2 ファームウェアアップデートの設定 294
7.3 ファームウェアのアップデート 295
7.4 ファームウェアのローカルアップデート 296

8 本機の初期化 297
8.1 初期化 298
8.1.1 工場出荷設定の復元（工場出荷設定） 298
8.1.2 ネットワーク設定の初期化（IP初期設定） 298
8.1.3 Webプログラミングで行った設定の初期化（Web登録情報初期化） 298

9 困ったとき 299
9.1 困ったとき 300

10 必要なとき 305
10.1 改訂履歴 306
10.1.1 KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.025 306
10.1.2 KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.081 307
10.1.3 KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.130 308
索引.....309

第 1 章
本機を使用した基本的な設定

この章では、本機を使用した基本的な設定について説明します。

1.1 設定

1.1.1 工場出荷値

本機は、あらかじめ各種設定が行われた状態で工場から出荷されます。
工場出荷時の設定には、最適な値もしくは最も標準的な値が使用されています。たとえば、SIP（Session Initiation Protocol）サーバーのポート番号は標準の「5060」に設定されています。
ただし、SIPサーバーのアドレスや電話番号などは、値が設定されておらず、使用環境に合わせて指定する必要があります。

1.1.2 基本的なネットワーク設定

ここでは、本機をネットワークに接続して使用するための、基本的なネットワーク設定について説明します。
下記のネットワーク設定が必要です。

- TCP/IP設定（DHCP［Dynamic Host Configuration Protocol］または固定IPアドレスの割り振り）
- DNSサーバー設定

ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を変更する方法について説明します。
本機で設定できる各種ネットワーク設定の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
Webプログラミングを使用したネットワーク設定の詳細については☞ 68 ページ

IPアドレスをDHCPサーバーから取得する

1 設定 を押す

2 **【▲】**または**【▼】**を押して**「ネットワーク設定」**を選択し、**【決定】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「ネットワーク」**を選択し、**【決定】**を押す

4 **【▲】**または**【▼】**を押して**「アドレス自動取得」**を選択し、**【決定】**を押す

5 **【▲】**または**【▼】**を押して、DNSに**「アドレス自動取得」**を選択し、**【決定】**を押す

- **「アドレス指定」**を選択した場合は、DNS1（プライマリDNSサーバー）のアドレスと、必要に応じてDNS2（セカンダリDNSサーバー）のアドレスを手動で入力して、**【決定】**を押します。

6 **【戻る】**を押す

固定IPアドレスを使う

1 設定 を押す

2 **【▲】**または**【▼】**を押して**「ネットワーク設定」**を選択し、**【決定】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「ネットワーク」**を選択し、**【決定】**を押す

4 **【▲】**または**【▼】**を押して**「アドレス指定」**を選択し、**【決定】**を押す

5 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、およびDNSサーバー1（プライマリDNSサーバー）と、必要に応じてDNSサーバー2（セカンダリDNSサーバー）を入力して、**【決定】**を押す

6 **【戻る】**を押す

お知らせ

- 本機で**「ネットワーク設定」**を**「アドレス自動取得」**に選択した場合、固定IP接続の設定内容は無効になります。
- 本機で**「ネットワーク設定」**を**「アドレス自動取得」**に選択して**「DNS」**を**「アドレス自動取得」**に選択した場合、DNSサーバー設定（DNS1とDNS2）は無効になります。

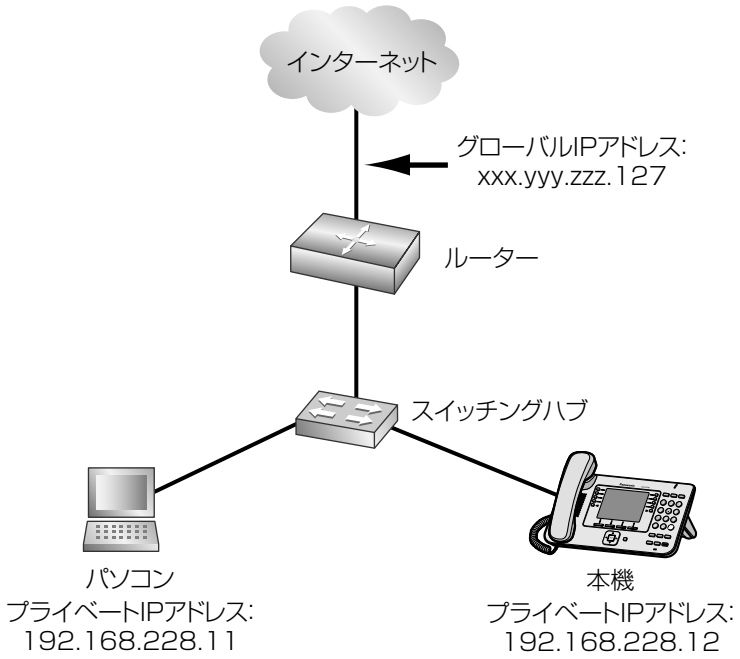
1.1.3 その他のネットワーク設定

1.1.3.1 ファイアウォールおよびルーターの設定

ファイアウォールやルーターで保護されたネットワークに接続する場合は、接続先が送信したパケットをファイアウォールやルーターがブロックしないように設定する必要があります。

1.1.3.2 NAT（Network Address Translation）設定

ここでは、NAT機能を使用するルーター接続について説明します。



本機がNATルーターを使用するネットワークに接続され、ネットワーク上の各端末にプライベートIPアドレスが割り振られている場合、お使いのSIPサーバーの設定によっては、NATトラバーサル技術を使用するように本機とルーターを設定する必要があります。
NATトラバーサルをサポートするアウトバウンドプロキシサービスが設定されている場合、本機に必要な設定はSIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスだけで、その他の設定は行う必要がありません。
アウトバウンドプロキシサービスの電話システムによっては、何の設定も必要ない場合があります。この場合、アウトバウンドプロキシサーバーによって、プライベートIPアドレスがグローバルIPアドレスに自動的に変換されます。
TCPを使用してSIPメッセージを送信するには、本機とルーターにNATトラバーサルを設定しておく必要があります。

NATトラバーサルを設定するには、下記の情報が必要です。

- ルーターのグローバルIPアドレス
- Webプログラミングで指定する**［SIPポート］**と**［RTPポートマッピング］**のポート番号。これによって適切なポート転送設定を行うことができます。

お知らせ

- 本機にルーターのIPアドレスを設定する必要があるため、ルーターのIPアドレスは固定IPアドレスである必要があります。

SIPを設定する

ネットワークの外からのファイアウォールやルーターの特定ポート宛てのSIPパケットを本機に転送させるために、手動設定が必要な場合があります。このような場合、ルーターと本機のNATトラバーサル設定を回線ごとに行う必要があります。

ただし、SIPサーバーでSBC（Session Border Controller）機能を対応している場合、これらの設定は必要ありません。
Webプログラミングの詳細については☞ 80 ページおよび98 ページ

RTP（Real-time Transport Protocol）を設定する

ネットワークの外からのファイアウォールやルーターの特定ポート宛てのRTPパケットを本機に転送させるために、手動設定が必要な場合があります。このような場合、ルーターと本機のNATトラバーサル設定を回線ごとに行う必要があります。
ただし、SIPサーバーでSBC機能を対応している場合、これらの設定は必要ありません。
Webプログラミングの詳細については☞ 80 ページ

ルーターを設定する

ポート転送機能を設定する際、ルーターの受信ポート番号を本機のポート番号として指定します。
ポート転送は、**[SIPポート]**（☞ 26 ページ）および**[RTPポートマッピング]**（☞ 27 ページ）に指定されたポートに設定する必要があります。
送信元ポートと送信先ポートに同じポート番号を設定し、本機のプライベートIPアドレスを送信先のアドレスとして設定します。
本機のIPアドレスにプライベートIPアドレスを使用すると、IPアドレスが変更された場合に、ルーターのポート転送の再設定が必要となります。そのため、本機に固定IPアドレスを設定するか、DHCPサーバーによってIPアドレスが割り振られる場合は、常に同じIPアドレスとなるようにルーターを設定してください。
ルーターを設定する方法の詳細については、ルーターの取扱説明書を参照してください。
ポート転送設定はネットワーク環境に依存するため、設定ファイルを使用してポート転送を設定することはできません。

1.1.3.3 グローバルアドレス検出機能について

グローバルIPアドレスは、特定の端末に割り振られる固有のIPアドレスです。ファイアウォールまたはルーターに割り振られたグローバルIPアドレスが変更された場合、本機は通信できなくなります。
これらの端末のグローバルIPアドレスが、上位レベルのネットワークでDHCPサーバーによって割り振られている場合、本機がデータを送信するたびにIPアドレスが異なる場合があります。
グローバルアドレス検出機能で、IPアドレスが変わった場合は、SIPサーバーにそのIPアドレスが自動的に設定されます。この機能を実行するには、STUN（Simple Traversal of UDP through NATs）を使用する方法とSIPメッセージを使用する方法の2つの方法があります。
Webプログラミングから設定する方法の詳細については☞ 79 ページ

第 2 章
プログラミングの概要

この章では、プログラミングの概要について説明します。

2.1 プログラミングの方法

本機のプログラミングは、３種類の方法で行うことができます。

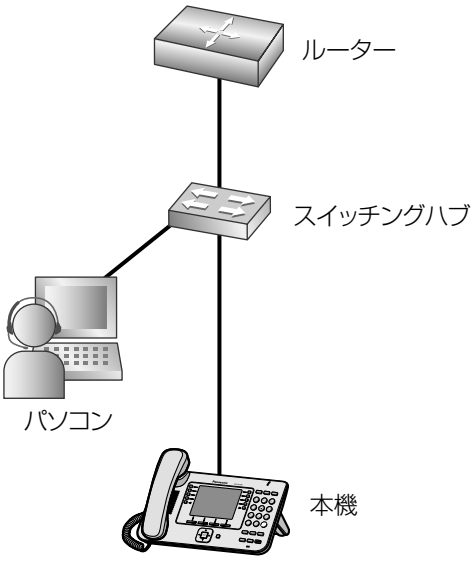
- 本機を使用したプログラミング
- Webプログラミング
- 設定ファイルのプログラミング

2.2 本機を使用したプログラミング

いくつかの設定は、本機の画面から直接設定することができます。
操作と設定項目の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
本機のダイヤルキーとソフトボタンを使用してコマンド入力を行い（直接コマンド）、設定できる項目もあります。
直接コマンドを使用して実行できる設定の詳細については☞ 43 ページ

2.3 Webプログラミング

本機をネットワークに接続し、同じネットワークに接続されたパソコンからWebプログラミングにアクセスして、本機の設定を行うことができます。
Webプログラミングの詳細については☞ 47 ページ



お知らせ

- スイッチングハブは、本機のLANポートに接続してください。本機のPCポートに接続した場合は、正しく動作しません。また、本機のPCポートにパソコンを接続してWebプログラミングを行うこともできます。

- ルーター/スイッチングハブを使わずに、直接本機とパソコンを接続してWebプログラミングを行うこともできます。この場合、パソコンは本機のLANポートに接続してください。

2.4 設定ファイルのプログラミング

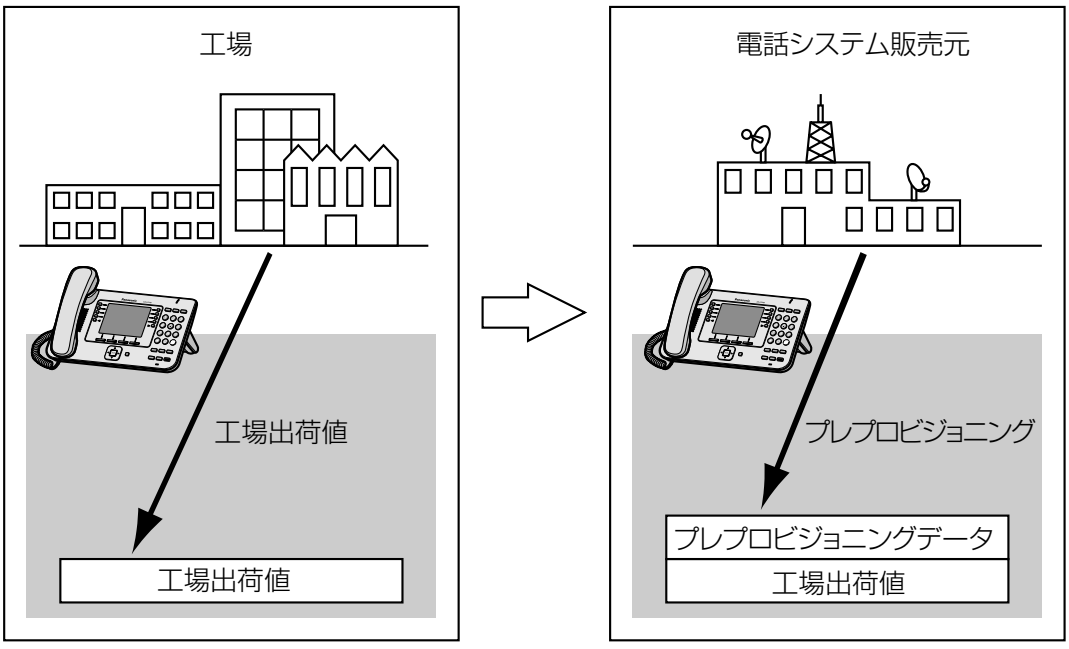
設定ファイルを作成することで、各種設定をあらかじめ指定しておくことができます（☞ 31 ページ）。
また、設定ファイルをサーバーからダウンロードして設定を行うこともできます（☞ 34 ページ）。

- 設定ファイルのプログラミングについては ☞ 151 ページ

2.5 プレプロビジョニング

2.5.1 プレプロビジョニングとは

プレプロビジョニングの目的は、システム管理者が運用に必要な設定ファイルを作成しておくことで、実際の設置作業を簡略化することです。
ユーザーは本機をネットワークに接続するだけで必要な設定ファイルを自動的にダウンロードし、本機を使用できるようになります。
プレプロビジョニングを行うには、本機がTFTPサーバーのアドレスを取得できるように、DHCPサーバーのオプション66にTFTPサーバーのIPアドレスを設定しておく必要があります。本機は自動的にTFTPサーバーのアドレスを取得し、プレプロビジョニング用の設定ファイルをダウンロードします。



プレプロビジョニングによって設定された内容を元に戻す場合は、本機を初期化し、設定を工場出荷値に戻す必要があります。初期化したあとに、再度プレプロビジョニングを行うことができます。
本機を初期化するには☞ 298 ページ

2.5.2 プレプロビジョニング用サーバー

本機はプレプロビジョニングを行うためにDHCPサーバーのオプション66からTFTPサーバーのアドレスを取得する必要があります。そのため、固定IPアドレスの割り振りを使用するネットワーク環境ではプレプロビジョニングを行うことはできません。DHCPサーバーを稼働できる独立したネットワークを構築してプレプロビジョニングを実行してください。
ここでは、プレプロビジョニングの実行におけるDHCPサーバーとTFTPサーバーの目的、使用方法について説明します。

サーバー	目的	説明
DHCPサーバー	DHCPサーバーのオプション66に設定されているTFTPサーバーのアドレスを提供します。	DHCPサーバーのオプション66に、TFTPサーバーのIPアドレスまたはFQDN（Fully Qualified Domain Name）を指定します。 詳細については、使用しているDHCPサーバーの取扱説明書を参照してください。 **お知らせ** • FQDNの文字列の長さは最大で64バイトです。
TFTPサーバー	設定ファイルの格納先です。端末からのアクセスにより設定ファイルを提供します。	本機は、TFTPサーバーのルートディレクトリにある「（機種名）.cfg」という設定ファイルをダウンロードします。 たとえば、機種名がKX-UT248Nであれば、本機は設定ファイル「KX-UT248N.cfg」をダウンロードします。

DHCPサーバーとTFTPサーバーは、オペレーティングシステムに付属しているものや商用サービスで提供されているもの、インターネット上で無償で配布されているものなどがあります。使用環境に最適なサーバー設定をご使用ください。
DHCPサーバーとTFTPサーバーのインストールおよび設定については、各製品の取扱説明書を参照してください。

2.5.3 プレプロビジョニングの設定例

ここでは、プレプロビジョニングの実行例について説明します。

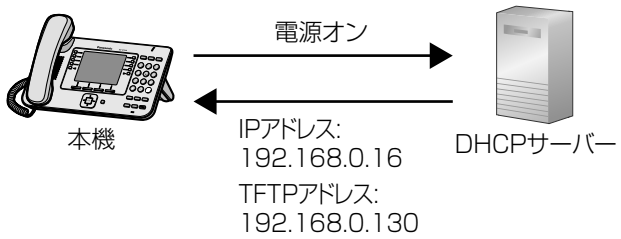
設定例

項目	説明／設定
TFTPサーバーのアドレス	192.168.0.130
TFTPサーバーのルートディレクトリ （設定ファイルを配置するディレクトリ）	/tftproot
本機の機種名	KX-UT248N
本機のMACアドレス	0080F0123456

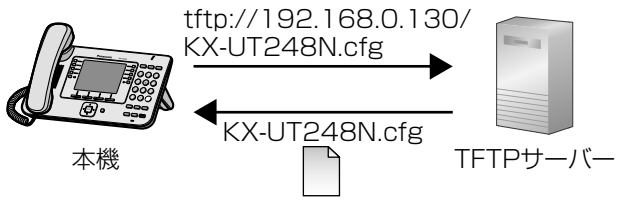
項目	説明／設定
プロビジョニングサーバー名（プロビジョニングに使用する設定ファイルが置いてあるサーバーのドメイン、またはURI）	provisioning.example.com
プロビジョニングに使用する設定ファイルのファイル名	Config0080F0123456.cfg
プロビジョニングに使用する設定ファイルのURL	http://provisioning.example.com/Con - fig0080F0123456.cfg
DHCPサーバーのオプション66	192.168.0.130
DHCPサーバーが割り振るIPアドレスの範囲	192.168.0.16～192.168.0.63
プレプロビジョニングに使用する設定ファイルのファイル名	KX-UT248N.cfg
KX-UT248N.cfg内の設定パラメータ例	**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://provision- ing.example.com/Config{MAC}.cfg"** **お知らせ** • 「{MAC}」は本機のMACアドレスに置き換えられます。 （例：「0080F0123456」）

ステップ1
本機をネットワークに接続し、電源を入れる

- DHCPサーバーにより、本機にIPアドレス「192.168.0.16」が割り振られます。
- DHCPサーバーのオプション66を使用して、本機がDHCPサーバーからTFTPサーバーのアドレス「192.168.0.130」を取得します。

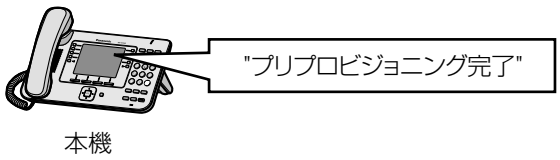


ステップ2
本機がTFTPサーバーからプレプロビジョニング用設定ファイルをダウンロードします。

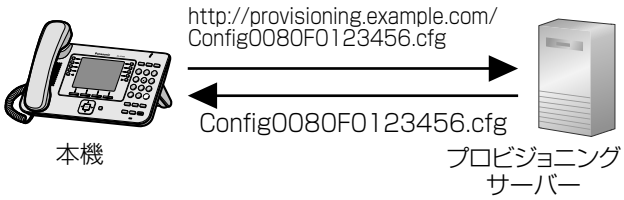


ステップ3
プロビジョニング用設定ファイルが置いてあるサーバー（プロビジョニングサーバー）のURLが本機に設定されます。

ステップ4
本機にプレプロビジョニングが完了したことを示すメッセージが表示されます。



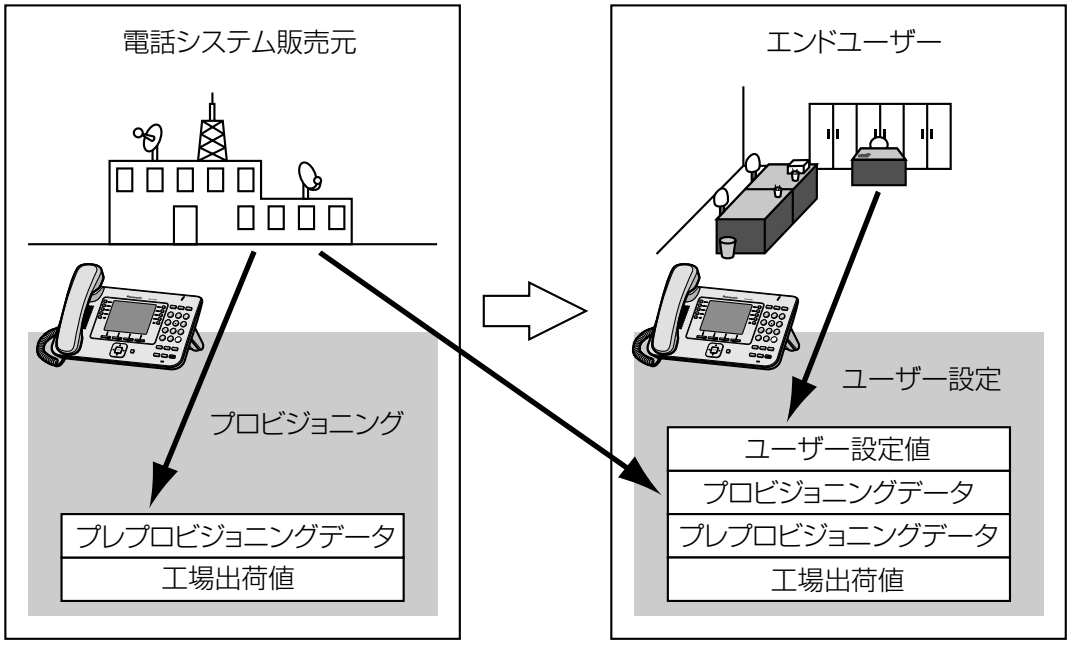
ステップ5
メッセージが表示されたら、本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
設定ファイルの設定により、本機は自動的に再起動する場合があります（☞ 187 ページ）。



2.6 プロビジョニング

2.6.1 プロビジョニングとは

プレプロビジョニングを実行したら（☞ 31 ページ）、プロビジョニングサーバーに置いてある設定ファイルを本機にダウンロードして、本機の設定を自動的に行うことができます。これを「プロビジョニング」といいます。



2.6.2 プロビジョニング用プロトコル

プロビジョニングはHTTP、HTTPS、FTPおよびTFTPを使用して行うことができます。使用できるプロトコルは、プロビジョニングの実行方法によって異なります。通常はHTTPを使用することを推奨します。

暗号化されていない設定ファイルを転送する場合は、HTTPSを使用することを推奨します。FTPは、使用するネットワークルーターやネットワークの状態によっては使用できない場合があります。

2.6.3 設定ファイル

ここでは、設定ファイルの仕様や使用方法の具体的な例について説明します。
設定ファイルとは、本機の動作に必要な各種設定が書き込まれたテキストファイルです。このファイルは通常、システム管理者が管理するサーバー上にあり、必要に応じて本機にダウンロードされます。初期値で運用できる設定については書き込む必要はありません。必要な場合のみパラメータを変更してください。
パラメータの設定方法と各種パラメータの説明については☞ 151 ページ

3種類の設定ファイルを使用する

本機は最大3つの設定ファイルをダウンロードできます。下記に3種類の設定ファイルを使用する例を示します。

種類	使用方法
マスターファイル	SIPサーバーのアドレスや、システム管理者が管理するDNSサーバーなど、すべての電話機に共通の設定を行います。すべての電話機がこの設定ファイルを使用します。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
プロダクトファイル	特定の機種に必要な設定を行います。同一機種のすべての電話機がこの設定ファイルを使用します。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/Config{MODEL}.cfg **お知らせ** • 設定ファイルを取得すると、「{MODEL}」は本機の機種名に置き換えられます。
スタンダードファイル	電話番号など、各電話機固有の設定を行います。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/Config{MAC}.cfg **お知らせ** • 設定ファイルを取得すると、「{MAC}」は各電話機のMACアドレスに置き換えられます。

状況に応じて、3種類の設定ファイルをすべて使用することも、スタンダードファイルのみを使用することもできます。

2.6.4 設定ファイルのダウンロード

Webプログラミングで設定ファイルをダウンロードする

Webプログラミングを使用して設定ファイルをダウンロードする手順を示します。

1 プロビジョニングサーバーのIPアドレス／FQDNとディレクトリに誤りがないことを確認し、設定ファイルをディレクトリに格納する（例：http://provisioning.example.com/Config_Sample.cfg）

2 本機のIPアドレスをパソコンのWebブラウザに入力する（☞ 61 ページ）

3 管理者でログインする（☞ 60 ページ）

4 **［保守］**タブ、**［プロビジョニング保守］**を順にクリックし、**［プロビジョニング］**で**［有効］**を選択する

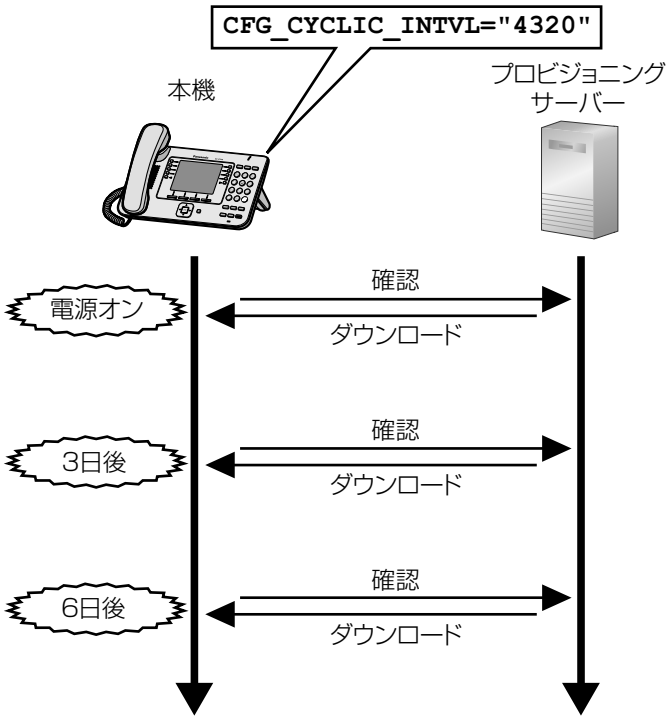
5 手順1で指定したURLを**［スタンダードファイルURL］**に入力する

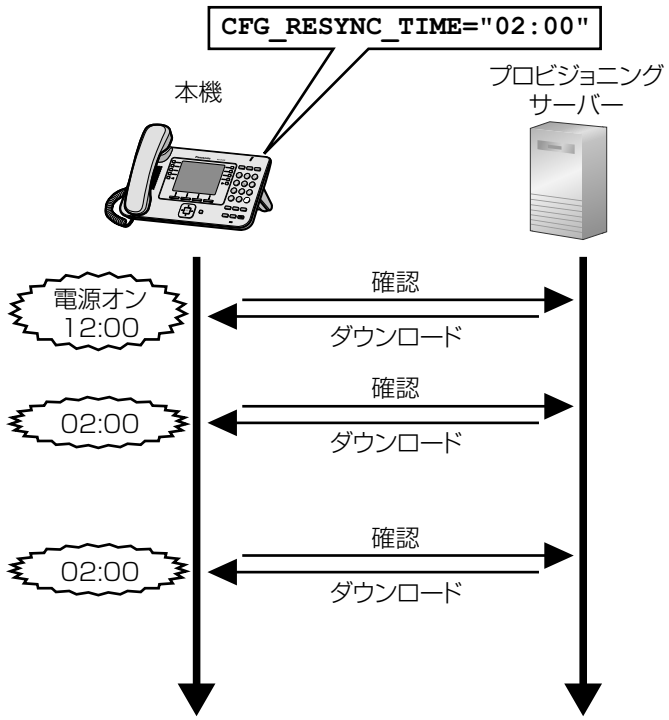
6 **［保存］**をクリックする

ダウンロードのタイミング

本機は、起動時または定期的に設定ファイルをダウンロードします。また、本機が設定ファイルをダウンロードしないように設定することもできます。
設定の詳細については☞ 142 ページおよび186 ページ

ダウンロードのタイミング	説明
起動時	設定ファイルは本機の起動時にダウンロードされます。

ダウンロードのタイミング	説明
定期的	設定ファイルは、分単位で設定した一定の間隔でダウンロードされます。 以下の例では、本機は3 日（4320 分)おきにプロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードするよう設定しています。  設定ファイルは、以下のように設定すると、定期的にダウンロードされます。 • **CFG_CYCLIC="Y"**という行を追加 – 「**CFG_CYCLIC_INTVL**」で間隔を指定（分単位） • Webプログラミング： – **［保守］→［プロビジョニング保守］**をクリックし、**［定期プロビジョニング］**で**［有効］**を選択 – **［定期プロビジョニング間隔］**に間隔（分単位）を入力 **お知らせ** • 本機では、最大28 日間（4 週間）の間隔を設定できます。

ダウンロードのタイミング	説明
指定した時刻	本機の電源を入れた後、設定ファイルは毎日指定した時刻にダウンロードされます。  設定ファイルは、以下のように設定すると、指定した時刻にダウンロードされます。 • 「**CFG_RESYNC_TIME**」で時刻を指定 **お知らせ** • 「**CFG_RESYNC_TIME**」に空の文字列以外の有効な値を設定した場合、本機は指定した時刻に設定ファイルをダウンロードします。「**CFG_CYCLIC**」、「**CFG_CYCLIC_INTVL**」および「**CFG_RTRY_INTVL**」の設定は無効になります。 • 時刻は、24時間形式（00:00～23:59）で指定します。 • ダウンロードを行うには、本機に日付と時刻の設定がされている必要があります。

ダウンロードのタイミング	説明
手動で実行	SIPサーバーからのEventヘッダーを含むNOTIFYメッセージを送信することによって、設定ファイルのダウンロードを指示することができます。 • 設定ファイル： – Eventヘッダーの文字列を「**CFG_RESYNC_FROM_SIP**」で指定 • Webプログラミング： – **［保守］→［プロビジョニング保守］**をクリックし、**［プロビジョニングSIPイベント名］**にEventヘッダーの文字列を入力 一般的に、Eventヘッダーの文字列には「check-sync」や「resync」があります。
なし（禁止）	設定ファイルのダウンロードによって本機の設定が変わってしまうことを避けたい場合、ダウンロードを禁止するように設定します。 次の動作が禁止されます。 – 起動時のプロビジョニング – 定期的なプロビジョニング – NOTIFYメッセージの送信によるプロビジョニング • 設定ファイル： – **PROVISION_ENABLE="N"**という行を追加 • Webプログラミング： – **［保守］→［プロビジョニング保守］**をクリックし、**［プロビジョニング］**で**［無効］**を選択 • プロビジョニングを再び有効にするには、以下のように設定します。 設定ファイル： – **PROVISION_ENABLE="Y"**という行を追加 Webプログラミング： – **［保守］→［プロビジョニング保守］**をクリックし、**［プロビジョニング］**で**［有効］**を選択

2.6.5 プロビジョニングサーバー設定例

ここでは、設定ファイルを使って本機を2台設定する場合の、本機とプロビジョニングサーバーの設定方法について説明します。この例では、スタンダードファイルとマスターファイルを使用します。

設定例

項目	説明／設定
プロビジョニングサーバーのFQDN	prov.example.com
本機のMACアドレス	• 0080F0111111 • 0080F0222222

項目	説明／設定
設定ファイルのURL	プレプロビジョニングまたはWebプログラミングにより、以下の2つの設定を行います。2台とも同じ設定にする必要があります。 • **CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://prov.example.com/Config{MAC}.cfg"** • **CFG_MASTER_FILE_PATH="http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg"**
設定ファイルのファイル名	HTTPルートディレクトリに下記の設定ファイルを置きます。 • 2台に共通の設定を記載（マスターファイル）： – ConfigCommon.cfg • 2台にそれぞれ固有の設定を記載（スタンダードファイル）： – Config0080F0111111.cfg – Config0080F0222222.cfg

プロビジョニングサーバーを設定する

1 本機をネットワークに接続し、電源を入れる

- MACアドレスが0080F0111111の本機は下記のURLにアクセスします。
  http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
  http://prov.example.com/Config0080F0111111.cfg
- MACアドレスが0080F0222222の本機は下記のURLにアクセスします。
  http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
  http://prov.example.com/Config0080F0222222.cfg

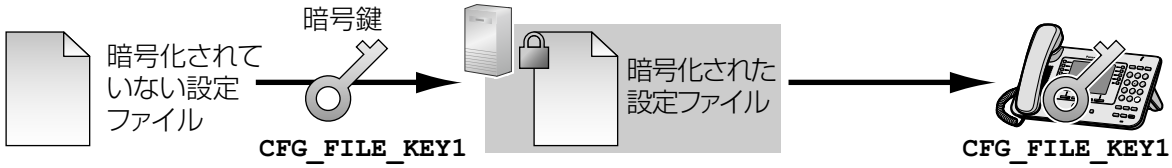
サーバーからプロビジョニングの実行を指示する

次の例では、プロビジョニングの実行を指示するために、サーバーから送信されるNOTIFYメッセージを示しています。「**CFG_RESYNC_FROM_SIP**」には、「check-sync」という文字列が指定されています。

```
NOTIFY sip:1234567890@sip.example.com SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP xxx.xxx.xxx.xxx:5060;branch=abcdef-ghijkl
From: sip:prov@sip.example.com
To: sip:1234567890@sip.example.com
Date: Thu, 1 Jan 2009 01:01:01 GMT
Call-ID: 123456-1234567912345678
CSeq: 1 NOTIFY
Contact: sip:xxx.xxx.xxx.xxx:5060
Event: check-sync
Content-Length: 0
```

2.6.6 暗号化

暗号化した設定ファイルを転送する方法



この方法を使用するには、設定ファイルを暗号化したり復号したりするための暗号鍵が必要です。暗号化には、各電話機に固有のプリセット暗号鍵やシステム管理者によって設定された暗号鍵などを使用します。本機は、暗号化された設定ファイルをダウンロードしたら、同じ暗号鍵を使用して設定ファイルを復号し、自動的に設定を行います。
設定ファイルを復号する際、本機は事前に登録された暗号鍵を使用します。本機は、ダウンロードした設定ファイルの拡張子を調べてファイルが暗号化されているかどうかを判断します。

設定ファイルの拡張子	復号に使用する設定ファイルのパラメータ
「.e1c」	**CFG_FILE_KEY1**
「.e2c」	**CFG_FILE_KEY2**
「.e3c」	**CFG_FILE_KEY3**
「.e1c」、「.e2c」、「.e3c」以外	暗号化されていない設定ファイルとして処理されます。

2.7 設定方法の優先度

同じ項目を、プロビジョニングやWebプログラミングなどいくつかの方法で設定することができます。ここでは、同じ項目を指定した場合にどの値が使用されるかについて説明します。
下記の表に、同じ項目を設定した場合の優先度を示します。

優先度	設定方法
高い ↕ 低い	Webプログラミングまたは本機を使用したプログラミングによる設定
	スタンダードファイルによるプロビジョニング
	プロダクトファイルによるプロビジョニング
	マスターファイルによるプロビジョニング
	設定ファイルによるプレプロビジョニング
	本機の工場出荷値

たとえば、マスターファイルとWebプログラミングを使って設定をした項目で異なる値が設定されている場合、Webプログラミングで指定した値が適用されます。
Webプログラミングと本機を使用したプログラミングで指定した値については、あとで設定した値が優先されます。

お願い

- 本機を異なる電話システムに接続する場合は、接続前に本機を初期化し、設定を工場出荷値に戻してください。
  本機を初期化するには☞ 44 ページ

第 3 章
本機を使用したプログラミング

この章では、本機から直接コマンドを入力して本機を設定する方法について説明します。

3.1 本機を使用したプログラミング

ここでは、本機から直接設定可能な機能について、「取扱説明書（操作編）」に記載されていない内容を紹介します。
コマンド入力には、本機のダイヤルキーとソフトボタンを使用します。
本機で実行できるその他の機能、設定内容、キー操作については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

3.1.1 直接コマンド

下記の表では、直接コマンドで設定可能な機能を示しています。ここで示すコマンドは、エンドユーザーは参照できません。

直接コマンド	機能	参照ページ
【#】【1】【3】【6】	本機の初期化[*1]	☞ 44 ページ
【#】【2】【8】【9】	電話帳の削除[*1]	☞ 45 ページ
【#】【5】【3】【4】	内蔵web	☞ 59 ページ
【#】【7】【3】【1】	端末番号の設定	☞ 45 ページ
【#】【7】【3】【9】	Web ID／パスワードの初期化[*1]	☞ 45 ページ

[*1] 本機のLCDには表示されません。

3.1.2 本機の初期化

本機を初期化して、設定内容を工場出荷値に戻します。本機を使用した初期化には以下の2通りがあります。

- **工場出荷設定**
  すべての設定を工場出荷値に戻します。また、本機に登録されている着信履歴や電話帳など、すべてのデータが消去されます。
- **IP初期設定**
  ネットワーク設定を工場出荷値に戻します。
  ネットワーク設定を変更した後にネットワークに接続できなくなった場合は、IP初期設定を実行して設定を工場出荷値に戻し、再度ネットワーク設定を行ってください。IP初期設定を実行しても電話帳などのデータは消去されません。

工場出荷設定を行うには

1 設定 を押す

2 **【#】【1】【3】【6】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「工場出荷設定」**を選択し、**【決定】**を押す

4 **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す

5 **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す

お願い

- 工場出荷設定を実行すると、本機は自動的に再起動します。工場出荷設定の実行前に設定内容を保存しておくことを推奨します。

IP初期設定を行うには

1 設定 を押す

2 **【#】【1】【3】【6】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「IP初期設定」**を選択し、**【決定】**を押す

4 **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す

5 **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す

3.1.3 電話帳の削除

本機に登録している電話帳の連絡先を全て削除することができます。

電話帳の連絡先を全て削除するには

1 設定 を押す

2 **【#】【2】【8】【9】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す

3.1.4 端末番号の設定

複数の電話機が同じルーターに同時にアクセスすると、エラーが発生することがあります。このようなエラーが発生しないようにするには、端末番号1～9を個々の電話機に割り当ててください。
ご使用中の電話機の端末番号は、**「Terminal 1」**～**「Terminal 9」**、**「自動」**から選択できます。初期設定は**「自動」**です。**「自動」**を選択すると、本機に固定の端末番号は割り当てられません。

本機に端末番号を割り当てるには

1 設定 を押す

2 **【#】【7】【3】【1】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して端末番号（**「自動」**、**「Terminal 1」**～**「Terminal 9」**）を選択し、**【決定】**を押す

3.1.5 Web ID／パスワードの初期化

Web ID／パスワードを初期化すると、ユーザーとシステム管理者がWebプログラミングへのアクセスで使用するIDとパスワードがすべて工場出荷値に戻ります（☞ 60 ページ）。この操作は、本機から実行できます。

Web ID／パスワードをリセットするには

1 設定 を押す

2 **【#】【7】【3】【9】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して、Web ID／パスワードの初期化で**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す
IDとパスワードはすべて初期化され、本機は再起動します。

お願い

- セキュリティ上の理由から、パスワードはすぐに再設定することを推奨します（☞ 84 ページまたは86 ページ）。

第 4 章
Webプログラミング

この章では、Webプログラミングで設定できる内容について説明します。

4.1 Webプログラミングの設定一覧

下記の表に、Webプログラミングで設定できる内容とアクセスレベルを示します。それぞれの設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

機器情報

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
バージョン情報	バージョン情報	モデル名	✓	✓	☞ 64 ページ
		運用中プログラム領域	✓	✓	☞ 64 ページ
		IPLバージョン	✓	✓	☞ 64 ページ
		ファームウェアバージョン	✓	✓	☞ 64 ページ
ネットワークステータス	ネットワークステータス	MACアドレス	✓	✓	☞ 65 ページ
		LANポートのリンク状態	✓	✓	☞ 65 ページ
		PCポートのリンク状態	✓	✓	☞ 65 ページ
		接続方式	✓	✓	☞ 65 ページ
		IPアドレス	✓	✓	☞ 65 ページ
		サブネットマスク	✓	✓	☞ 65 ページ
		デフォルトゲートウェイ	✓	✓	☞ 66 ページ
		DNSサーバー1	✓	✓	☞ 66 ページ
		DNSサーバー2	✓	✓	☞ 66 ページ
		IEEE802.1X状態（KX-UT248Nのみ）	✓	✓	☞ 66 ページ
VoIPステータス	VoIPステータス	回線番号	✓	✓	☞ 67 ページ
		電話番号	✓	✓	☞ 67 ページ
		VoIPステータス	✓	✓	☞ 67 ページ

*1 アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

ネットワーク設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
ネットワーク基本設定	接続方式	接続方式[*2]	✓[*3]	✓	☞ 69 ページ
	DHCP接続	ホスト名[*4]		✓	☞ 69 ページ
		DNSサーバー設定方式[*2]	✓[*3]	✓	☞ 69 ページ
	固定IP接続	IPアドレス[*2]	✓[*3]	✓	☞ 70 ページ
		サブネットマスク[*2]	✓[*3]	✓	☞ 70 ページ
		デフォルトゲートウェイ[*2]	✓[*3]	✓	☞ 71 ページ
		DNSサーバー1[*2]	✓[*3]	✓	☞ 71 ページ
		DNSサーバー2[*2]	✓[*3]	✓	☞ 71 ページ
イーサポート設定	リンク速度／デュプレックス	LANポート[*5]		✓	☞ 72 ページ
		PCポート[*5]		✓	☞ 73 ページ
	VLAN	VLAN[*2]		✓	☞ 73 ページ
		IP電話	–	–	–
		VLAN ID[*2]		✓	☞ 74 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 74 ページ
		PC	–	–	–
		VLAN ID[*2]		✓	☞ 74 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 74 ページ
IEEE802.1X設定（KX-UT248Nのみ）	IEEE802.1X設定	IEEE802.1X[*4]		✓	☞ 75 ページ
	IEEE802.1X認証	認証プロトコル[*4]		✓	☞ 76 ページ
		認証ID[*4]		✓	☞ 76 ページ
		認証パスワード[*4]		✓	☞ 76 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
HTTPクライアント設定	HTTPクライアント設定	HTTP バージョン[*4]		✓	☞ 77 ページ
		HTTPユーザーエージェント[*4]		✓	☞ 77 ページ
	HTTP認証	認証ID	✓	✓	☞ 78 ページ
		認証パスワード	✓	✓	☞ 78 ページ
	プロキシサーバー	プロキシサーバー		✓	☞ 78 ページ
		プロキシサーバーアドレス		✓	☞ 79 ページ
		プロキシサーバーポート		✓	☞ 79 ページ
グローバルアドレス検出	グローバルアドレス検出	検出方式		✓	☞ 79 ページ
		検出間隔		✓	☞ 80 ページ
	STUNサーバー	STUNサーバーアドレス[*4]		✓	☞ 80 ページ
		STUNサーバーポート[*4]		✓	☞ 80 ページ
静的NAPT設定	グローバルアドレス	グローバルアドレス		✓	☞ 81 ページ
	SIPポートマッピング	回線 1～回線 x		✓	☞ 82 ページ
	RTPポートマッピング	グローバルRTPポート 1～25		✓	☞ 82 ページ
XMLアプリケーション設定	XMLアプリケーション設定	XMLアプリケーションポート[*4]		✓	☞ 83 ページ
		XMLアプリケーション設定[*4]		✓	☞ 83 ページ
	XMLアプリケーション認証	認証ID[*4]		✓	☞ 83 ページ
		認証パスワード[*4]		✓	☞ 84 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
[*2] この設定は、他のプログラミング方法（本機を使用したプログラミングまたは設定ファイルでのプログラミング）でも行うことができます。
[*3] 設定メニューが表示されていても、システム管理者による許可がないユーザーは設定を変更できません。
[*4] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。
[*5] この設定は、本機を使用したプログラミングでも行うことができます。

システム設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
Web言語	Web言語	言語	✓	✓	☞ 84 ページ
管理者パスワード変更	管理者パスワード変更	現在のパスワード		✓	☞ 85 ページ
		新しいパスワード[*2]		✓	☞ 85 ページ
		パスワード確認[*2]		✓	☞ 85 ページ
ユーザーパスワード変更	ユーザーパスワード変更	現在のパスワード	✓	✓	☞ 86 ページ
		新しいパスワード[*2]	✓	✓	☞ 86 ページ
		パスワード確認[*2]	✓	✓	☞ 87 ページ
Webサーバー設定	Webサーバー設定	Webサーバーポート		✓	☞ 87 ページ
		ポートクローズ時間		✓	☞ 88 ページ
時刻同期設定	時刻同期	自動時刻同期	✓[*3]	✓	☞ 89 ページ
		同期間隔[*2]	✓[*3]	✓	☞ 89 ページ
	タイムサーバー	NTPサーバーアドレス[*2]	✓[*3]	✓	☞ 89 ページ
	タイムゾーン	タイムゾーン[*2]	✓[*3]	✓	☞ 89 ページ
	サマータイム	サマータイム[*2]	✓[*3]	✓	☞ 90 ページ
		サマータイムのオフセット[*2]	✓[*3]	✓	☞ 90 ページ
	サマータイムの開始規則	月[*2]	✓[*3]	✓	☞ 90 ページ
		週、曜日[*2]	✓[*3]	✓	☞ 91 ページ
		時刻[*2]	✓[*3]	✓	☞ 91 ページ
	サマータイムの終了規則	月[*2]	✓[*3]	✓	☞ 92 ページ
		週、曜日[*2]	✓[*3]	✓	☞ 92 ページ
		時刻[*2]	✓[*3]	✓	☞ 93 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。
[*3] 設定メニューが表示されていても、システム管理者による許可がないユーザーは設定を変更できません。

VoIP

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
SIP設定	SIP設定	SIPユーザーエージェント*2		✓	☞ 94 ページ
SIP設定 [回線1]～[回線 x]	電話番号	電話番号*2		✓	☞ 95 ページ
		SIP URI*2		✓	☞ 96 ページ
	SIPサーバー	レジストラサーバーアドレス*2		✓	☞ 96 ページ
		レジストラサーバーポート*2		✓	☞ 96 ページ
		プロキシサーバーアドレス*2		✓	☞ 96 ページ
		プロキシサーバーポート*2		✓	☞ 97 ページ
		プレゼンスサーバーアドレス*2		✓	☞ 97 ページ
		プレゼンスサーバーポート*2		✓	☞ 97 ページ
	アウトバウンドプロキシ	アウトバウンドプロキシサーバーアドレス*2		✓	☞ 97 ページ
		アウトバウンドプロキシサーバーポート*2		✓	☞ 98 ページ
	SIPサービスドメイン	サービスドメイン*2		✓	☞ 98 ページ
	SIPポート	SIPポート*2		✓	☞ 98 ページ
	SIP認証	認証ID*2		✓	☞ 99 ページ
		認証パスワード*2		✓	☞ 99 ページ
	DNS	DNS SRV*2		✓	☞ 99 ページ
		UDP用SRVプリフィックス*2		✓	☞ 100 ページ
		TCP用SRVプリフィックス*2		✓	☞ 100 ページ
	SIPトランスポートプロトコル	トランスポートプロトコル*2		✓	☞ 101 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	SIPタイマー	T1タイマー[*2]		✓	☞ 101 ページ
		T2タイマー[*2]		✓	☞ 101 ページ
		タイマーB[*2]		✓	☞ 102 ページ
		タイマーD[*2]		✓	☞ 102 ページ
		タイマーF[*2]		✓	☞ 102 ページ
		タイマーH[*2]		✓	☞ 102 ページ
		タイマーJ[*2]		✓	☞ 103 ページ
	QoS	DSCP （SIPパケット）[*2]		✓	☞ 103 ページ
	SIP拡張機能	100rel （RFC 3262）[*2]		✓	☞ 103 ページ
		セッションタイマー （RFC 4028）[*2]		✓	☞ 104 ページ
	NAT	キープアライブ間隔[*2]		✓	☞ 104 ページ
		Rport （RFC 3581）[*2]		✓	☞ 104 ページ
	セキュリティ	SIPソースアドレスフィルター[*2]		✓	☞ 104 ページ
VoIP設定	RTP設定	RTP送信間隔[*2]		✓	☞ 105 ページ
		RTPポートの最小値[*2]		✓	☞ 106 ページ
		RTPポートの最大値[*2]		✓	☞ 106 ページ
		DTMFペイロードタイプ[*2]		✓	☞ 107 ページ
VoIP設定 [回線1]～[回線 x]	QoS	DSCP （RTPパケット）[*2]		✓	☞ 108 ページ
		DSCP （RTCPパケット）		✓	☞ 108 ページ
	統計情報	RTCP送信[*2]		✓	☞ 109 ページ
		RTCP送信間隔[*2]		✓	☞ 109 ページ
	ジッタバッファ	最大遅延[*2]		✓	☞ 109 ページ
		最小遅延[*2]		✓	☞ 110 ページ
		初期遅延[*2]		✓	☞ 110 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	DTMF	DTMF方式[*2]		✓	☞ 110 ページ
		DTMFリレー[*2]		✓	☞ 111 ページ
	RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留	RFC 2543 保留 (c=0.0.0.0)[*2]		✓	☞ 111 ページ
	コーディック優先度	G722	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 111 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 112 ページ
		PCMA	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 112 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 112 ページ
		G726-32	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 112 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 113 ページ
		G729A	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 113 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 113 ページ
		PCMU	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 113 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 114 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

電話設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
電話機能設定	電話機能設定	ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信*2		✓	☞ 114 ページ
		会議サーバーURI*2		✓	☞ 115 ページ
		ダイヤル桁間タイマー*2		✓	☞ 115 ページ
		ダイヤルプランタイマー*2		✓	☞ 115 ページ
		国際番号*2		✓	☞ 116 ページ
		国番号*2		✓	☞ 116 ページ
		市内局番*2		✓	☞ 116 ページ
		通常使用する回線番号*2	✓	✓	☞ 116 ページ
		フラッシュ動作（切断&再捕捉）*2		✓	☞ 117 ページ
		フラッシュ再捕捉イベント*2		✓	☞ 117 ページ
		内線指定代理応答*2		✓	☞ 117 ページ
	着信拒否番号	1～30	✓	✓	☞ 118 ページ
電話機能設定 [回線 1]～[回線 x]	電話機能設定	ディスプレイネーム*2	✓	✓	☞ 119 ページ
		ボイスメールアクセス番号*2		✓	☞ 120 ページ
		シェアードコール*2		✓	☞ 120 ページ
		着信拒否／不在転送同期*2		✓	☞ 121 ページ
		リソースリストURI*2		✓	☞ 121 ページ
	番号計画	番号計画 （最大500文字）*2		✓	☞ 122 ページ
		番号計画不一致時に発信*2		✓	☞ 122 ページ
	発着信機能	発信者番号非通知	✓	✓	☞ 122 ページ
		非通知着信拒否	✓	✓	☞ 123 ページ
		着信拒否	✓	✓	☞ 123 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	不在転送	全着信	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 124 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 124 ページ
		話中	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 125 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 125 ページ
		不応答	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 126 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 126 ページ
		鳴動回数	✓	✓	☞ 127 ページ
機能ボタン設定（KX-UT136N/KX-UT248Nのみ）	機能ボタン設定	ボタン種別 （番号1～24）[*2]	✓	✓	☞ 127 ページ
		ボタン情報 （番号1～24）[*2]	✓	✓	☞ 128 ページ
		ボタン名 （番号1～24）[*2]	✓	✓	☞ 128 ページ
トーン設定	発信音	使用周波数[*2]		✓	☞ 129 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 130 ページ
	話中音	使用周波数[*2]		✓	☞ 130 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 130 ページ
	着信音	使用周波数[*2]		✓	☞ 131 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 131 ページ
	スタッター音	使用周波数[*2]		✓	☞ 131 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 132 ページ
	リオーダー音	使用周波数[*2]		✓	☞ 132 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 132 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
電話設定	電話設定	ボタン確認音[*2]	✓	✓	☞ 133 ページ
		内線暗証番号[*2]	✓	✓	☞ 133 ページ
		発信番号を照合する下限桁数[*2]		✓	☞ 134 ページ
		発信番号を照合する上限桁数[*2]		✓	☞ 134 ページ
電話帳インポート	電話帳インポート	インポートファイル名	✓	✓	☞ 135 ページ
電話帳エクスポート	電話帳エクスポート	–	✓	✓	☞ 135 ページ
XMLアプリケーション設定	アプリケーション起動用URL	URL[*2]		✓	☞ 136 ページ
	アプリケーション初期用URL	URL[*2]		✓	☞ 137 ページ
	着信用URL	URL[*2]		✓	☞ 137 ページ
	通話中用URL	URL[*2]		✓	☞ 137 ページ
	発信用URL	URL[*2]		✓	☞ 138 ページ
	通話履歴用URL	URL[*2]		✓	☞ 138 ページ
	アイドル用URL	URL[*2]		✓	☞ 138 ページ
	ネットワーク電話帳用URL	URL[*2]		✓	☞ 138 ページ
	ネットワーク電話帳認証	認証ID[*2]		✓	☞ 139 ページ
		認証パスワード[*2]		✓	☞ 139 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

保守

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
ファームウェア保守	ファームウェア保守	自動バージョンアップ[*2]		✓	☞ 140 ページ
		ファームウェア更新方法[*2]		✓	☞ 140 ページ
		ファームウェアファイルURL[*2]		✓	☞ 141 ページ
ローカルバージョンアップ	ローカルバージョンアップ	暗号		✓	☞ 141 ページ
		インポートファイル名		✓	☞ 141 ページ
プロビジョニング保守	プロビジョニング保守	プロビジョニング[*2]		✓	☞ 142 ページ
		スタンダードファイルURL[*2]		✓	☞ 143 ページ
		プロダクトファイルURL[*2]		✓	☞ 143 ページ
		マスターファイルURL[*2]		✓	☞ 143 ページ
		定期プロビジョニング[*2]		✓	☞ 144 ページ
		定期プロビジョニング間隔[*2]		✓	☞ 144 ページ
		プロビジョニングSIPイベント名[*2]		✓	☞ 144 ページ
マネジメントサーバー設定	マネジメントサーバー設定	マネジメントサーバーURL[*2]		✓	☞ 145 ページ
	マネジメントサーバー認証	認証ID[*2]		✓	☞ 145 ページ
		認証パスワード[*2]		✓	☞ 145 ページ
設定値の初期化	Web登録情報初期化	–		✓	☞ 146 ページ
再起動	再起動	–		✓	☞ 146 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

4.2 Webプログラミングの概要

4.2.1 Webプログラミングのパスワード

Webプログラミングを行うには、ログインアカウントが必要です。アカウントには2種類あり、それぞれアクセス権が異なります。

- **ユーザー**：エンドユーザーが使用するアカウントです。ユーザーは、本機固有の設定を変更できます。
- **管理者**：管理者がシステム設定の管理に使用するアカウントです。管理者は、ユーザーアカウントで変更可能な設定に加えて、ネットワーク設定を含むすべての設定を変更できます。

各アカウントには、異なるパスワードが割り当てられます。
アカウントとパスワードの詳細については☞ 60 ページ

お願い

- パスワードは厳重に管理し、定期的に変更してください。

4.2.2 Webプログラミングにアクセスする前に

使用環境について

本機は、下記の仕様に対応しています。

HTTPバージョン	HTTP/1.0（RFC 1945）、HTTP/1.1（RFC 2616）
認証方式	Digest（またはBasic）

Webプログラミングは下記の環境で正常に動作します。

オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® XPまたはWindows 7
Webブラウザ	Windows Internet Explorer® 7またはInternet Explorer 8

Webポートについて

Webプログラミングにアクセスするには、あらかじめ本機のWebポートを開いておく必要があります。

本機から設定を行う

本機のWebポートを開くには

1 設定 を押す

2 **【#】【5】【3】【4】**を押す

3 **【▲】**または**【▼】**を押して**「内蔵web」**で**「オープン」**を選択し、**【決定】**を押す

本機のWebポートを閉じるには

1 設定 を押す

2 【#】【5】【3】【4】を押す

3 【▲】または【▼】を押して「内蔵web」で「クローズ」を選択し、【決定】を押す

Webプログラミングから設定を行う

本機のWebポートを閉じるには

1. Webプログラミングで、［Webポートクローズ］をクリックする
2. ［OK］をクリックする

お知らせ

- 本機のWebポートは、下記の条件で自動的に閉じます。
  - Webプログラミングで設定した［ポートクローズ時間］の時間が経過した場合（☞ 88 ページ）
  - ログインに3回連続で失敗した場合
- 設定ファイルのプログラミングでWebポートを開いたままに設定できます（☞ 207 ページ）が、許可されていないユーザーから本機にアクセスされる可能性があることに注意してください。

アクセス権限について（IDとパスワード）

Webプログラミングには、ユーザーと管理者というアクセス権が異なる2つのアカウントがあります。各アカウントには、Webプログラミングにログインする際に必要な固有のIDとパスワードが設定されています。

アカウント	対象ユーザー	ID（工場出荷値）	パスワード（工場出荷値）	パスワードの制限
ユーザー	エンドユーザー	user	空白（なし）	• ユーザーでログインした場合、ユーザーアカウントのパスワードを変更できます（☞ 84 ページ）。 • パスワードは6～16文字のAS - CII文字（大／小文字が区別される）で設定できます（☞ 63 ページ）。

アカウント	対象ユーザー	ID（工場出荷値）	パスワード（工場出荷値）	パスワードの制限
管理者	システム管理者	admin	adminpass	• 管理者でログインした場合、ユーザーと管理者の両方のアカウントのパスワードを変更できます（☞ 84 ページ）。 • パスワードは6～16文字のAS - CII文字（大／小文字が区別される）で設定できます（☞ 63 ページ）。

お願い

- Webプログラミングに複数のアカウントで同時にログインすることはできません。同じアカウントを使用しても、複数のユーザーが同時にログインすることはできません。
- ユーザーアカウントのパスワードは変更する必要があります。
- IDは設定ファイルのプログラミングによって変更できます（☞ 175 ページ）。
- 本機でWeb ID／パスワードの初期化を実行すると、アカウントのIDとパスワードを工場出荷値に戻すことができます（☞ 45 ページ）。

4.2.3 Webプログラミングへのアクセス（ログイン）

Webプログラミングにアクセスするには

1 Webブラウザを開き、ブラウザのアドレスフィールドに「http://」と、本機のIPアドレスを入力します。

お知らせ

- 本機のIPアドレスを確認するには、本機で下記の手順を実行します。
  1. 設定 を押す
  2. **【▲】**または**【▼】**を押して**「インフォメーション表示」**を選択し、**【決定】**を押す
  3. **【▲】**または**【▼】**を押して**「IPアドレス」**を選択する
  4. **【戻る】**を2回押す

2 認証するために、ID（ユーザー名）とパスワードを入力して、**【OK】**をクリックする

お願い

- ユーザーアカウントの工場出荷値のIDは「user」、パスワードは空白です。IDは、設定ファイルのプログラミングで変更することができます。
- ユーザーアカウントでWebプログラミングに初めてログインしたとき、**【ユーザーパスワード変更】**画面（☞ 86 ページ）が表示されます。新しいパスワードを入力し、パスワード認証を再度実行して、Webプログラミングにログインします。
- 管理者アカウントの工場出荷値のIDは「admin」、パスワードは「adminpass」です。IDは、設定ファイルのプログラミングで変更することができます。

3 Webプログラミングウィンドウが表示されたら、本機に必要な設定を行う

4 **［Webポートクローズ］**をクリックして、Webプログラミングからログアウトする

ウィンドウコントロール

Webプログラミングウィンドウには、ナビゲートや設定用のさまざまなコントロールがあります。下記に、**［ネットワーク基本設定］**画面に表示されるコントロールの例を示します。

お知らせ

- 本書では、KX-UT136NまたはKX-UT248NのWebプログラミングの画面を使用しています。実際に表示される画面と機種名が異なる場合があります。

❶ タブ

タブは、設定項目を分類する最上位のカテゴリーです。タブをクリックすると、対応するメニュー項目と、最初のメニュー項目の設定画面が表示されます。管理者アカウントでは6つのタブ、ユーザーアカウントでは4つのタブが表示されます。

アカウントの種類の詳細については☞ 60 ページ

❷ メニュー

選択したタブのサブカテゴリーが表示されます。

❸ 設定画面

メニューをクリックすると、対応する設定画面が表示され、実際の設定値がセクションに分かれて表示されます。詳細については、4.3 機器情報（☞ 64 ページ）から4.8.6 再起動（☞ 146 ページ）までを参照してください。

❹ ボタン

Webプログラミングには、下記の標準のボタンが表示されます。

ボタン	機能
Webポートクローズ	本機のWebポートを閉じ、確認メッセージが表示されたあとにWebプログラミングからログアウトします。

ボタン	機能
登録	変更を適用してメッセージを表示します（☞ 147 ページ）。 **お知らせ** • 設定を変更した場合は、各タブで**［登録］**ボタンを押してください。
キャンセル	変更を破棄します。現在の画面上の設定が、変更前の値に戻ります。
再表示	画面に表示されているステータス情報を更新します。このボタンは、**［ネットワークステータス］**および**［VoIPステータス］**画面の右上に表示されます。

文字を入力する

Webプログラミングで名前、メッセージ、パスワードなどのテキスト項目を指定する場合、下記の表に示すASCII文字（背景が白色）を使用できます。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	

ただし、特定の種類のフィールドには、下記の追加の制限があります。

- 数値フィールド
  - 数字以外は入力できません。
  - フィールドを空白にすることはできません。
- ［IPアドレス］フィールド
  - ドット付き10進数表記でIPアドレスを入力できます。
  - 無効なIPアドレス（「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.0.0.1」など）は入力できません。
- ［FQDN］フィールド
  - このフィールドには、「"」、「&」、「'」、「<」、「>」、または末尾の空白を含めることができません。
  - ドット付き10進数表記でIPアドレスを入力できます。
  - 無効なIPアドレス（「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.0.0.1」など）は入力できません。
- ［認証 ID］／［認証パスワード］フィールド
  - このフィールドには、「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、または空白を含めることができません。
  - ユーザーおよび管理者アカウントのパスワードの長さは、6～16文字にする必要があります。
- ［ディスプレイネーム］フィールド（☞ 119 ページ）

– このフィールドにのみUnicode文字を入力できます。

4.3 機器情報

ここでは、**[機器情報]** タブに含まれる設定について説明します。

4.3.1 バージョン情報

この画面では、現在のバージョンの情報（機種名やファームウェアバージョンなど）が表示されます。

4.3.1.1 バージョン情報

モデル名

説明	本機の機種番号を表示します（参照のみ）。

運用中プログラム領域

説明	現在稼働しているファームウェアのストレージ領域を表示します（参照のみ）。

IPLバージョン

説明	本機の起動時に稼働するIPL（Initial Program Load）のバージョンを表示します（参照のみ）。

ファームウェアバージョン

説明	本機に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します（参照のみ）。

4.3.2 ネットワークステータス

この画面では、本機の現在のネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、LANポートの状態など）が表示されます。

[再表示] をクリックすると、画面が更新されます。

4.3.2.1 ネットワークステータス

MACアドレス

説明	本機のMACアドレスを表示します（参照のみ）。

LANポートのリンク状態

説明	LANポートの現在の接続状態を表示します（参照のみ）。

PCポートのリンク状態

説明	PCポートの現在の接続状態を表示します（参照のみ）。

接続方式

説明	本機のIPアドレスの割り振り方法が、自動（DHCP接続）か手動（固定IP接続）かを表示します（参照のみ）。

IPアドレス

説明	本機に現在割り振られているIPアドレスを表示します（参照のみ）。

サブネットマスク

説明	本機で指定されているサブネットマスクを表示します（参照のみ）。

デフォルトゲートウェイ

説明	ネットワークで指定されているデフォルトゲートウェイのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • デフォルトゲートウェイのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

DNSサーバー1

説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • プライマリDNSサーバーのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

DNSサーバー2

説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • セカンダリDNSサーバーのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

IEEE802.1X状態（KX-UT248Nのみ）

説明	IEEE802.1X設定の状態を表示します（参照のみ）。
設定値	• 認証中 • 認証成功 • 条件付成功 • タイムアウト失敗 • 失敗 • 停止中 • 機能OFF

4.3.3 VoIPステータス

この画面では、VoIPの現在の状態が電話回線ごとに表示されます。

[再表示] をクリックすると、画面が更新されます。

4.3.3.1 VoIPステータス

回線番号

説明	電話番号が割り当てられている回線番号を表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • 使用できる回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。 回線1～回線2（KX-UT123N） 回線1～回線4（KX-UT136N） 回線1～回線6（KX-UT248N）

電話番号

説明	現在割り当てられている電話番号を表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • 電話回線のリースが開始されていない場合または電話機の設定が完了していない場合、このフィールドは空白になります。

VoIPステータス

説明	各回線の現在のVoIPの状態を表示します（参照のみ）。

設定値	• 登録：本機はSIPサーバーに登録済みであり、回線は使用可能です。 • 登録中：本機はSIPサーバーに登録中であり、回線は使用できません。 • 空白：回線のリースが開始されていない、本機の設定が完了していない、または、SIP認証に失敗しています。 **お知らせ** • 本機を起動するとすぐに回線の電話番号が表示されますが、SIPサーバーに登録中の場合は回線の状態が表示されないことがあります。30～60秒待ってから**［再表示］**をクリックすると、更新されたステータス情報が表示されます。

4.4 ネットワーク設定

ここでは、**［ネットワーク設定］**タブに含まれる設定について説明します。

4.4.1 ネットワーク基本設定

この画面では、基本的なネットワーク設定（DHCPサーバーの使用、本機のIPアドレスなど）を変更できます。

お知らせ

- この画面で変更した内容は、**［登録］**をクリックした後「完了」というメッセージが表示された時点で有効になります。この画面の設定を変更すると、本機のIPアドレスが変更されることがあり、その結果Webプログラミングでの操作を続行できなくなります。Webプログラミングによる設定を続行するには、本機に新しく割り振られたIPアドレスを本機の設定メニューで確認した後、Webプログラミングに再度ログインしてください。また、Webプログラミングにアクセスするパソコンの IPアドレスが変更された場合は、本機の**「内蔵web」**で**「クローズ」**を選択し、Webポートを一度閉じてください（☞ 60 ページ）。

4.4.1.1 接続方式

接続方式

説明	IPアドレスの割り振り方法として自動（DHCP接続）または手動（固定IP接続）のいずれかを選択します。
設定値	• DHCP接続 • 固定IP接続
初期値	DHCP接続
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	CONNECTION_TYPE（☞ 198 ページ）

4.4.1.2 DHCP接続

ホスト名

説明	DHCPサーバーに送信する本機のホスト名を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]** が **[DHCP接続]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大63文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。
初期値	{MODEL}
設定ファイルプログラミングによる設定	HOST_NAME（☞ 199 ページ）

DNSサーバー設定方式

説明	DNSサーバーのアドレスを自動で取得するか、手動で設定するかを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]** が **[DHCP接続]** に設定されている場合のみ行うことができます。

設定値	• 自動 • 手動 – DNSサーバー1 – DNSサーバー2 **お知らせ** • **［手動］**を選択する場合、プライマリDNSサーバーのIPアドレスと、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを手動で指定してください。
初期値	自動
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	DHCP_DNS_ENABLE（☞ 199 ページ）

4.4.1.3 固定IP接続

IPアドレス

説明	本機のIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	STATIC_IP_ADDRESS（☞ 200 ページ）

サブネットマスク

説明	本機のサブネットマスクを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）

設定ファイルプログラミングによる設定	STATIC_SUBNET（☞ 200 ページ）

デフォルトゲートウェイ

説明	本機が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	STATIC_GATEWAY（☞ 201 ページ）

DNSサーバー1

説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_DNS1_ADDR（☞ 201 ページ）

DNSサーバー2

説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし

本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_DNS2_ADDR（☞ 202 ページ）

4.4.2 イーサポート設定

この画面では、イーサネットポートの接続モードとVLAN設定を変更できます。

お知らせ

- 画面の設定を変更してから**【登録】**をクリックすると、「完了」というメッセージが表示され、本機は自動的に再起動します。「完了」が表示された時点で通話中だった場合は、待機状態に戻った後に再起動します。
- 設定に誤りがあると、ネットワーク障害が発生する可能性があります。この場合、Webプログラミングにアクセスできなくなります。再度アクセスするには、本機で通信速度／通信方式設定を修正するか、IP初期設定を実行する必要があります。IP初期設定の詳細については☞ 44 ページ

4.4.2.1 リンク速度／デュプレックス

LANポート

説明	LANポートの接続モード（リンク速度／デュプレックスモード）を選択します。

設定値	• オートネゴシエーション • 100M全二重 • 100M半二重 • 10M全二重 • 10M半二重 **お知らせ** • KX-UT248Nはギガビットイーサネットに対応しています。ギガビットイーサネットに対応したネットワークに接続する場合は、**[オートネゴシエーション]**を選択してください。
初期値	オートネゴシエーション

PCポート

説明	PCポートの接続モード（リンク速度／デュプレックスモード）を選択します。
設定値	• オートネゴシエーション • 100M全二重 • 100M半二重 • 10M全二重 • 10M半二重 **お知らせ** • KX-UT248Nはギガビットイーサネットに対応しています。ギガビットイーサネットに対応したネットワークに接続する場合は、**[オートネゴシエーション]**を選択してください。
初期値	オートネゴシエーション

4.4.2.2 VLAN

VLAN

説明	VLAN機能を使って安全なVoIP通信を行うかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定は、**[IEEE802.1X]** が **[有効]** に設定されている場合は設定できません（KX-UT248Nのみ）。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ENABLE（☞ 203 ページ）

IP電話（VLAN ID）

説明	本機のVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[IEEE802.1X]**が**[有効]**に設定されている場合は設定できません（KX-UT248Nのみ）。
設定値	1～4094
初期値	2
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ID_IP_PHONE（☞ 204 ページ）

IP電話（優先度）

説明	本機の優先度を示す数値を選択します。 **お知らせ** • この設定は、**[IEEE802.1X]**が**[有効]**に設定されている場合は設定できません（KX-UT248Nのみ）。
設定値	0～7
初期値	7
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_PRI_IP_PHONE（☞ 204 ページ）

PC（VLAN ID）

説明	PCポートのVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[IEEE802.1X]**が**[有効]**に設定されている場合は設定できません（KX-UT248Nのみ）。
設定値	1～4094
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ID_PC（☞ 204 ページ）

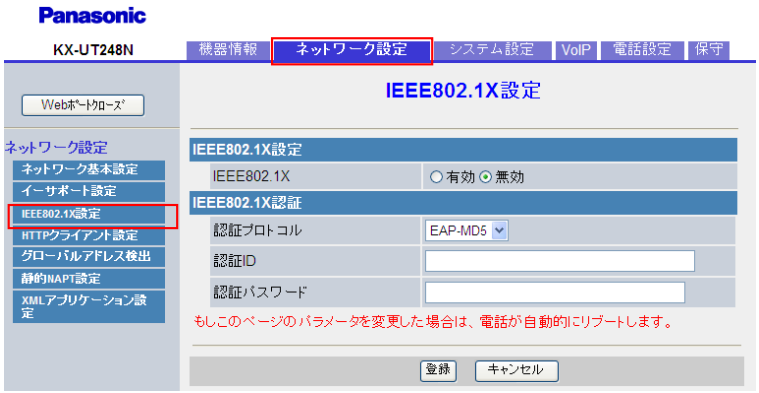
PC（優先度）

説明	PCポートの優先度を示す数値を選択します。 **お知らせ** • この設定は、**[IEEE802.1X]**が**[有効]**に設定されている場合は設定できません（KX-UT248Nのみ）。

設定値	0～7
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_PRI_PC（☞ 205 ページ）

4.4.3 IEEE802.1X設定（KX-UT248Nのみ）

この画面ではIEEE802.1Xネットワークプロトコルに関する設定を変更できます。



4.4.3.1 IEEE802.1X設定

IEEE802.1X

説明	IEEE802.1Xプロトコルを使用するかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定は、**[VLAN]** が **[有効]** に設定されている場合は設定できません。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	IEEE8021X_ENABLE（☞ 205 ページ）

4.4.3.2 IEEE802.1X認証

認証プロトコル

説明	IEEE802.1Xプロトコルで使用する認証方式を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[VLAN]** が **[有効]** に設定されている場合は設定できません。
設定値	• EAP-MD5 • PEAP
初期値	EAP-MD5
設定ファイルプログラミングによる設定	IEEE8021X_AUTH_PRTCL（☞ 206 ページ）

認証ID

説明	IEEE802.1X認証に必要な認証IDを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[VLAN]** が **[有効]** に設定されている場合は設定できません。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	IEEE8021X_USER_ID（☞ 206 ページ）

認証パスワード

説明	IEEE802.1X認証に必要な認証パスワードを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[VLAN]** が **[有効]** に設定されている場合は設定できません。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	IEEE8021X_USER_PASS（☞ 206 ページ）

4.4.4 HTTPクライアント設定

この画面では、本機のHTTPクライアント設定を変更できます。この設定に基づいて、使用している電話システムのHTTPサーバーへのアクセスと設定ファイルのダウンロードが行われます。

4.4.4.1 HTTPクライアント設定

HTTP バージョン

説明	HTTP通信で使用するHTTPプロトコルのバージョンを選択します。
設定値	• HTTP/1.0 • HTTP/1.1 **お知らせ** • 本機では、**[HTTP/1.0]** を選択することを推奨します。HTTP/1.0を使用するとサーバーの稼働に問題がある場合は、**[HTTP/1.1]** を選択してください。
初期値	HTTP/1.0
設定ファイルプログラミングによる設定	HTTP_VER（☞ 207 ページ）

HTTPユーザーエージェント

説明	HTTPリクエストのヘッダーでユーザーエージェントとして送信する文字列を指定します。

設定値	最大40文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このフィールドに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このフィールドに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
設定ファイルプログラミングによる設定	HTTP_USER_AGENT（☞ 207 ページ）

4.4.4.2 HTTP認証

認証ID

説明	ユーザーアカウントのIDを指定します。指定したIDは、ユーザーアクセスレベルでWebプログラミングにアクセスする際に入力が必要になります。
設定値	最大127文字
初期値	なし

認証パスワード

説明	ユーザーアカウントのパスワードを指定します。指定したパスワードは、ユーザーアクセスレベルでWebプログラミングにアクセスする際に入力が必要になります。
設定値	最大127文字
初期値	なし

4.4.4.3 プロキシサーバー

プロキシサーバー

説明	プロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効

初期値	無効

プロキシサーバーアドレス

説明	プロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字 **お知らせ** • **［プロキシサーバー］**が**［有効］**に設定されている場合、このフィールドへの入力は必要です。
初期値	なし

プロキシサーバーポート

説明	プロキシサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	8080

4.4.5 グローバルアドレス検出

この画面では、グローバルアドレスの検出機能の設定とSTUNサーバーの設定を行います。本機が接続されているネットワークのグローバルIPアドレスは、定期的に検出されます。グローバルIPアドレスを変更すると、新しいアドレスがSIPサーバーに登録されます。

お知らせ

- 本機がインターネットに直結している場合（グローバルIPアドレスが固定の場合）は、グローバルアドレス検出を設定する必要はありません。

4.4.5.1 グローバルアドレス検出

検出方式

説明	グローバルIPアドレスの検出方法を選択します。

設定値	• STUN • SIP
初期値	STUN

検出間隔

説明	グローバルIPアドレスを検出する間隔を秒単位で指定します。
設定値	0、10～65535（0：無効） **お知らせ** • **[検出方式]** が **[SIP]** に設定されている場合、「0」を指定すると検出は無効になり、「0」以外の値を指定すると有効になります。
初期値	0

4.4.5.2 STUNサーバー

STUNサーバーアドレス

説明	STUNサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	STUN_SERV_ADDR（☞ 210 ページ）

STUNサーバーポート

説明	STUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478
設定ファイルプログラミングによる設定	STUN_SERV_PORT（☞ 210 ページ）

4.4.6 静的NAPT設定

この画面では、NAPT（Network Address Port Translation）の設定を行います。NAT/NAPTでプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換するルーターの背後に本機が接続されている場合、一部のSIPサーバーでは、ルーターがVoIPパケットをブロックしてしまう可能性があります。この問題が発生しないようにするには、本画面の設定が必要です。

設定の詳細については☞ 26 ページ

4.4.6.1 グローバルアドレス

グローバルアドレス

説明	ネットワークのグローバルIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • **[回線 1]** ～ **[回線 x]** のいずれかが **[有効]** に設定されている場合、またはポート番号が **[グローバルRTPポート 1～25]** で指定されている場合、このフィールドに値を入力する必要があります。 • 使用可能な回線番号とチャネル番号は、使用している電話機の種類によって異なります。 回線番号 – KX-UT123N: 1～2 – KX-UT136N: 1～4 – KX-UT248N: 1～6 チャネル番号 – KX-UT123N: 1～3 – KX-UT136N／KX-UT248N: 1～25 • グローバルIPアドレスは、SIPメッセージとRTPパケットで反映されます。
設定値	最大15文字
初期値	なし

4.4.6.2 SIPポートマッピング

回線 1～回線 x

説明	NATトラバーサル機能を有効にするかどうかを回線ごとに選択します。 **お知らせ** • 使用できる回線番号は、使用している電話機の機種によって異なります。 – KX-UT123N: 1～2 – KX-UT136N: 1～4 – KX-UT248N: 1～6
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

4.4.6.3 RTPポートマッピング

グローバルRTPポート 1～25

説明	音声通信に使用する外部RTPポート番号をチャネルごとに指定します。 **お知らせ** • 使用できるチャネル番号は、使用している電話機の機種によって異なります。 – KX-UT123N: 1～3 – KX-UT136N／KX-UT248N: 1～25
設定値	0、1024～49150（偶数のみ、0：無効） **お知らせ** • 各チャネルに固有のポート番号を設定する必要があり、ポート番号はすべて偶数にする必要があります。 • ここでは、**[SIPポート]**（☞ 98 ページ）で各回線に指定したポート番号と同じ番号は指定できません。送信元ポート番号が奇数の場合、**[SIPポート]**で指定したポート番号よりも1小さいポート番号も指定できません。 • チャネルは、有効または無効のどちらかに設定する必要があります。
初期値	0

4.4.7 XMLアプリケーション設定

この画面では、XMLアプリケーションの設定を行います。

4.4.7.1 XMLアプリケーション設定

XMLアプリケーションポート

説明	XMLアプリケーションデータの受信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	6666
設定ファイルプログラミングによる設定	XML_HTTPD_PORT（☞ 233 ページ）

XMLアプリケーション設定

説明	XMLアプリケーション機能を有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_ENABLE（☞ 234 ページ）

4.4.7.2 XMLアプリケーション認証

認証ID

説明	XMLアプリケーションサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）

初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_USERID（☞ 234 ページ）

認証パスワード

説明	XMLアプリケーションサーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_USERPASS（☞ 234 ページ）

4.5 システム設定

ここでは、**[システム設定]** タブに含まれる設定について説明します。

4.5.1 Web言語

この画面では、Webプログラミングで使用する言語を選択します。本機で選択できる言語は日本語のみです。

4.5.1.1 Web言語

言語

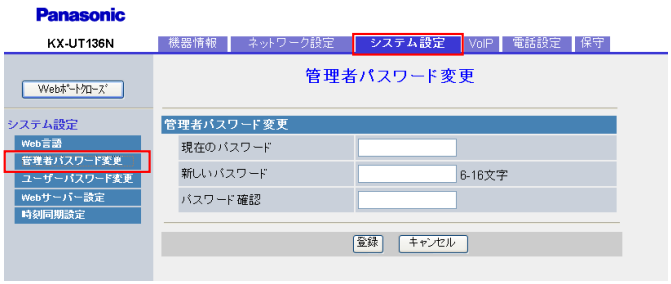
説明	Webプログラミングで使用する言語を選択します。
設定値	日本語
初期値	日本語

4.5.2 管理者パスワード変更

この画面では、Webプログラミングへのログイン時に、管理者アカウントの認証で使用するパスワードを変更できます。

お知らせ

- セキュリティ上の理由から、パスワードとして入力された文字は特殊文字でマスクされます。この特殊文字は、Webブラウザによって異なります。
- 管理者パスワードを変更すると、次回、Webプログラミングにアクセスしたときに認証用のダイアログボックスが表示されます。ログインに2回続けて失敗すると、エラー（「401 Unauthorized」）になります。ただし、これはパスワード変更後の最初のログイン試行時のみであり、それ以外の場合は3回ログインに失敗するとエラーが発生します。



4.5.2.1 管理者パスワード変更

現在のパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、管理者アカウントの認証で使用する現在のパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	adminpass
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 175 ページ）

新しいパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に管理者アカウントの認証で使用する新しいパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 175 ページ）

パスワード確認

説明	確認として、**[新しいパスワード]** に入力したパスワードと同じパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）

初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 175 ページ）

4.5.3 ユーザーパスワード変更

この画面では、Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用するパスワードを変更できます。

お知らせ

- セキュリティ上の理由から、パスワードとして入力された文字は特殊文字でマスクされます。この特殊文字は、Webブラウザによって異なります。
- ユーザーパスワードを変更すると、次回、Webプログラミングにアクセスしたときに認証用のダイアログボックスが表示されます。ログインに2回続けて失敗すると、エラー（「401 Unauthorized」）になります。ただし、これはパスワード変更後の最初のログイン試行時のみであり、それ以外の場合は3回ログインに失敗するとエラーが発生します。

4.5.3.1 ユーザーパスワード変更

現在のパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用する現在のパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 176 ページ）

新しいパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用する新しいパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）

初期値	なし **お知らせ** • Webプログラミングへの初回ログイン時、認証ダイアログボックスで**［OK］**をクリックすると**［ユーザーパスワード変更］**画面が開くので、パスワードを設定してください。
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 176 ページ）

パスワード確認

説明	確認として、**［新しいパスワード］**に入力したパスワードと同じパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 176 ページ）

4.5.4 Webサーバー設定

この画面では、Webサーバー設定を変更できます。

4.5.4.1 Webサーバー設定

Webサーバーポート

説明	Webサーバーが使用するポート番号を指定します。
設定値	80、1024～49151 **お知らせ** • **［SIPポート］**（☞ 98 ページ）で各回線に指定したポート番号と同じ番号は指定できません。

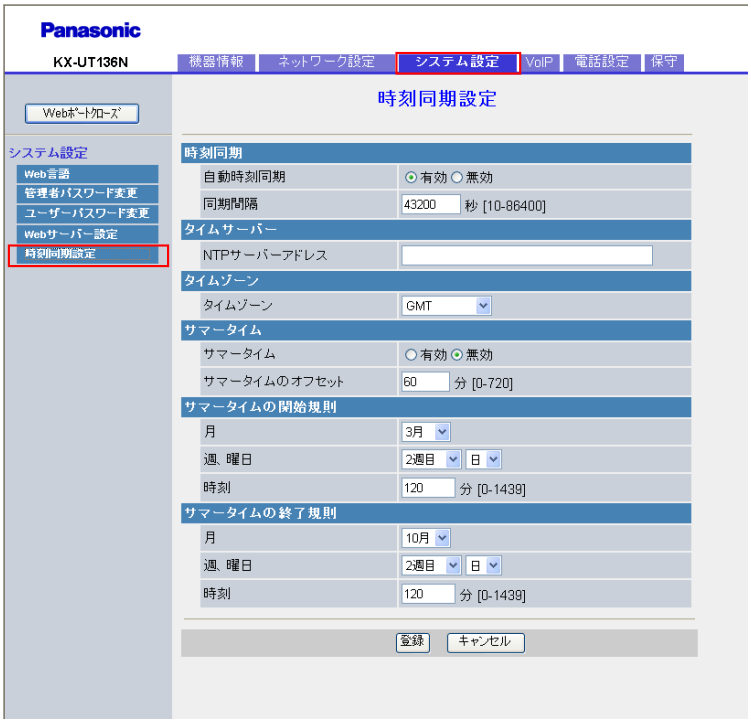
初期値	80 **お知らせ** • ポート番号の初期値を「80」以外の値（「8080」など）に変更する場合、Webプログラミングにアクセスするurlを次の形式で入力してください。 「http://192.168.0.100:8080/」 （192.168.0.100：本機のIPアドレス）

ポートクローズ時間

説明	本機とパソコン間で通信が発生していない場合にWebポートを開いた状態にしておく時間の長さを分単位で指定します。通信がない状態で指定の時間が経過した時点で、Webポートは自動的に閉じます。タブ、メニュー項目、**[登録]** ボタンのクリック、アプリケーションの再読み込み、F5キーを押すなどの操作によって、通信は検出されます。
設定値	1～1440
初期値	30

4.5.5 時刻同期設定

この画面では、NTPサーバーを使った時刻の自動調節の設定と、サマータイムの設定を行います。



4.5.5.1 時刻同期

自動時刻同期

説明	NTPサーバーが提供する時間情報に基づいて、本機の時刻を自動調整するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • NTPサーバーのアドレス設定が無効である場合、**[有効]** を選択しても、自動調整は正しく機能しません。
初期値	有効

同期間隔

説明	NTPサーバーと同期する間隔を秒単位で指定します。
設定値	10～86400
初期値	43200
設定ファイルプログラミングによる設定	TIME_QUERY_INTVL（☞ 210 ページ）

4.5.5.2 タイムサーバー

NTPサーバーアドレス

説明	NTPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	NTP_ADDR（☞ 209 ページ）

4.5.5.3 タイムゾーン

タイムゾーン

説明	タイムゾーンを指定します。
設定値	GMT -12:00～GMT +13:00
初期値	GMT
設定ファイルプログラミングによる設定	TIME_ZONE（☞ 176 ページ）

4.5.5.4 サマータイム

サマータイム

説明	サマータイムを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_ENABLE（☞ 177 ページ）

サマータイムのオフセット

説明	**［サマータイム］**が**［有効］**に設定されている場合に、時刻をずらす長さを分単位で指定します。
設定値	0～720
初期値	60
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_OFFSET（☞ 177 ページ）

4.5.5.5 サマータイムの開始規則

月

説明	サマータイムを開始する月を選択します。
設定値	• 1月 • 2月 • 3月 • 4月 • 5月 • 6月 • 7月 • 8月 • 9月 • 10月 • 11月 • 12月
初期値	3月

設定ファイルプログラミングによる設定	DST_START_MONTH（☞ 178 ページ）

週、曜日

次の2つの設定を使って、サマータイムを開始する日を指定します。たとえば、第2日曜日を指定するには、**[2週目]** と **[日]** を選択します。

説明	サマータイムを開始する週を選択します。
設定値	• 1週目 • 2週目 • 3週目 • 4週目 • 最終週
初期値	2週目
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_START_ORDINAL_DAY（☞ 178 ページ）

説明	サマータイムを開始する曜日を選択します。
設定値	• 日 • 月 • 火 • 水 • 木 • 金 • 土
初期値	日
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_START_DAY_OF_WEEK（☞ 179 ページ）

時刻

説明	サマータイムの開始時刻を分単位で午前0:00以降の時刻で指定します。
設定値	0～1439
初期値	120
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_START_TIME（☞ 179 ページ）

4.5.5.6 サマータイムの終了規則

月

説明	サマータイムを終了する月を選択します。
設定値	• 1月 • 2月 • 3月 • 4月 • 5月 • 6月 • 7月 • 8月 • 9月 • 10月 • 11月 • 12月
初期値	10月
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_STOP_MONTH（☞ 180 ページ）

週、曜日

次の2つの設定を使って、サマータイムを終了する日を指定します。たとえば、第2日曜日を指定するには、**[2週目]** と **[日]** を選択します。

説明	サマータイムを終了する週を選択します。
設定値	• 1週目 • 2週目 • 3週目 • 4週目 • 最終週
初期値	2週目
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_STOP_ORDINAL_DAY（☞ 180 ページ）

説明	サマータイムを終了する曜日を選択します。

設定値	• 日 • 月 • 火 • 水 • 木 • 金 • 土
初期値	日
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_STOP_DAY_OF_WEEK（☞ 180 ページ）

時刻

説明	サマータイムの終了時刻を分単位で午前0:00以降の時刻で指定します。
設定値	0～1439
初期値	120
設定ファイルプログラミングによる設定	DST_STOP_TIME（☞ 181 ページ）

4.6 VoIP

ここでは、**[VoIP]** タブに含まれる設定について説明します。

4.6.1 SIP設定

この画面では、すべての回線に共通のSIP設定を変更できます。

4.6.1.1 SIP設定

SIPユーザーエージェント

説明	SIPメッセージの「User-Agent」ヘッダーで送信する文字列を指定します。
設定値	最大40文字 **お知らせ** • 空の文字列は使用できません。 • このフィールドに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このフィールドに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_USER_AGENT（☞ 253 ページ）

4.6.2 SIP設定 [回線 1]～[回線 x]

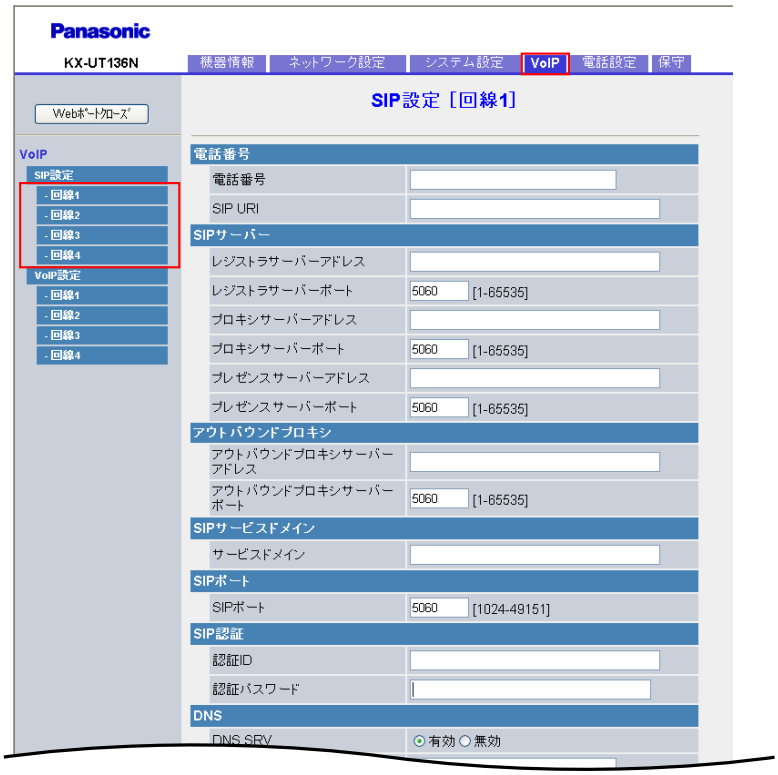
この画面では、SIP設定を回線ごとに変更できます。
使用可能な回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。

- KX-UT123N：1～2
- KX-UT136N：1～4
- KX-UT248N：1～6

お知らせ

- KX-UT136NまたはKX-UT248Nに複数の電話番号を登録する場合は、DN（内線）が設定されたフレキシブルボタンを設定する必要があります。

フレキシブルボタンの詳細については☞ 127 ページ



4.6.2.1 電話番号

電話番号

説明	SIP登録サーバーにユーザーIDとして登録する電話番号を指定します。 **お知らせ** • 電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合は、**[SIP URI]**の設定が必要です。
設定値	最大32文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	PHONE_NUMBER_n（☞ 253 ページ）

SIP URI

説明	SIP登録サーバーに登録する固有のIDを指定します。 IDは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。 **お知らせ** • この設定が必要になるのは、電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合です。 • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_URI_n（☞ 254 ページ）

4.6.2.2 SIPサーバー

レジストラサーバーアドレス

説明	SIP登録サーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_RGSTR_ADDR_n（☞ 256 ページ）

レジストラサーバーポート

説明	SIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_RGSTR_PORT_n（☞ 257 ページ）

プロキシサーバーアドレス

説明	SIPプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし

設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRXY_ADDR_n（☞ 256 ページ）

プロキシサーバーポート

説明	SIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRXY_PORT_n（☞ 256 ページ）

プレゼンスサーバーアドレス

説明	SIPプレゼンスサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRSNC_ADDR_n（☞ 264 ページ）

プレゼンスサーバーポート

説明	SIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRSNC_PORT_n（☞ 265 ページ）

4.6.2.3 アウトバウンドプロキシ

アウトバウンドプロキシサーバーアドレス

説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_OUTPROXY_ADDR_n（☞ 270 ページ）

アウトバウンドプロキシサーバーポート

説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_OUTPROXY_PORT_n（☞ 270 ページ）

4.6.2.4 SIPサービスドメイン

サービスドメイン

説明	ドメイン名を指定します。ドメイン名とは、SIP URIの「@」記号以降の部分です。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SVCDOMAIN_n（☞ 257 ページ）

4.6.2.5 SIPポート

SIPポート

説明	本機がSIP通信に使用する送信元ポート番号を指定します。
設定値	1024～49151 **お知らせ** • **[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 82 ページ）で指定したポート番号は指定できません（設定済みの場合）。また、**[グローバルRTPポート 1～25]**で指定したポート番号よりも1大きいポート番号も指定できません。 • 使用できるチャネル番号は、使用している電話機の機種によって異なります。 • それぞれの回線に固有のSIPポート番号を指定する必要があります。 • **[Webサーバーポート]**（☞ 87 ページ）で指定したポート番号は指定できません。

初期値	5060（回線1） 5070（回線2） 5080（回線3） 5090（回線4） 5100（回線5） 5110（回線6）
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SRC_PORT_n（☞ 255 ページ）

4.6.2.6 SIP認証

認証ID

説明	SIPサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_AUTHID_n（☞ 255 ページ）

認証パスワード

説明	SIPサーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PASS_n（☞ 255 ページ）

4.6.2.7 DNS

DNS SRV

説明	SRVレコードを使ってドメイン名をIPアドレスに変換するようDNSサーバーに要求するかどうかを選択します。

設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップを行います。**[無効]** を選択すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップは行いません。
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_DNSSRV_ENA_n（☞ 262 ページ）

UDP用SRVプリフィックス

説明	UDPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DNS SRV]** が **[有効]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._udp.
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_UDP_SRV_PREFIX_n（☞ 262 ページ）

TCP用SRVプリフィックス

説明	TCPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DNS SRV]** が **[有効]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._tcp.
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TCP_SRV_PREFIX_n（☞ 263 ページ）

4.6.2.8 SIPトランスポートプロトコル

トランスポートプロトコル

説明	SIPパケットの送信に使用するトランスポート層プロトコルを選択します。
設定値	• UDP • TCP
初期値	UDP
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TRANSPORT_n（☞ 271 ページ）

4.6.2.9 SIPタイマー

T1タイマー

説明	SIPメッセージの転送間隔の初期値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 250 • 500 • 1000 • 2000 • 4000
初期値	500
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_T1_n（☞ 260 ページ）

T2タイマー

説明	SIPメッセージの最大転送間隔を秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 2 • 4 • 8 • 16 • 32
初期値	4
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_T2_n（☞ 260 ページ）

タイマーB

説明	SIPタイマーB（INVITEトランザクションタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_B_n（☞ 273 ページ）

タイマーD

説明	SIPタイマーD（応答の再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_D_n（☞ 273 ページ）

タイマーF

説明	SIPタイマーF（INVITEトランザクション以外のタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_F_n（☞ 274 ページ）

タイマーH

説明	SIPタイマーHの値（ACKの受け取り待機時間）をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_H_n（☞ 274 ページ）

タイマーJ

説明	SIPタイマーJの値（INVITE以外のリクエスト再送信待機時間）をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_J_n（☞ 274 ページ）

4.6.2.10 QoS

DSCP （SIPパケット）

説明	SIPパケットに適用されるDSCP（Differentiated Services Code Point）値を選択します。
設定値	0～63
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	DSCP_SIP_n（☞ 258 ページ）

4.6.2.11 SIP拡張機能

100rel （RFC 3262）

説明	INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーにオプションタグ100relを追加するかどうかを選択します。詳細については、RFC 3262を参照してください。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、Reliability of Provisional Responses機能が有効になります。オプションタグ100relは、INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーと、「1xx」暫定応答メッセージの「Require」ヘッダーに追加されます。**[無効]** を選択した場合、オプションタグ100relは使用されません。
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_100REL_ENABLE_n（☞ 263 ページ）

セッションタイマー （RFC 4028）

説明	繰り返しリクエストを送っても応答がない場合に、本機がSIPセッションを切断するまでに待機する時間の長さを、秒単位で指定します。詳細については、RFC 4028を参照してください。
設定値	0、60～65535（0：無効）
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SESSION_TIME_n（☞ 258 ページ）

4.6.2.12 NAT

キープアライブ間隔

説明	NATのバインド情報を保持するために本機にキープアライブパケットを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［トランスポートプロトコル］**が**［UDP］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0、10～300（0：無効）
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	PORT_PUNCH_INTVL_n（☞ 266 ページ）

Rport （RFC 3581）

説明	「via」ヘッダーに「rport」パラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_ADD_RPORT_n（☞ 267 ページ）

4.6.2.13 セキュリティ

SIPソースアドレスフィルター

説明	SIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）でSSAF（SIP Source Address Filter）を有効にするかどうかを指定します。

設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]**を選択すると、本機はSIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）に保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージのみを受信し、他のアドレスからのSIPメッセージは受信しません。ただし、**[アウトバウンドプロキシサーバーアドレス]**（☞ 97 ページ）が指定されている場合、SIPアウトバウンドプロキシサーバーに保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージも受信します。
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_DETECT_SSAF_n（☞ 272 ページ）

4.6.3 VoIP設定

この画面では、すべての回線に共通のVoIP設定を変更できます。

4.6.3.1 RTP設定

RTP送信間隔

説明	RTPパケットの転送間隔をミリ秒単位で選択します。
設定値	• 20 • 30 • 40
初期値	20
設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PTIME（☞ 242 ページ）

RTPポートの最小値

説明	本機がRTPパケット用に使用する最小ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号が**[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 82 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、対応する外部RTPポートが有効になります。 • 使用できるチャネル番号は、使用している電話機の機種によって異なります。
設定値	1024～48750（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は、「**[RTPポートの最大値]** －400」以下でなければなりません。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 x チャネル数 x 2 x 10 (端末数)
初期値	16000
設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PORT_MIN（☞ 241 ページ）

RTPポートの最大値

説明	本機がRTPパケット用に使用する最大ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号が**[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 82 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、対応する外部RTPポートが有効になります。 • 使用できるチャネル番号は、使用している電話機の機種によって異なります。
設定値	1424～49150（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は、「**[RTPポートの最小値]** +400」以上でなければなりません。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 x チャネル数 x 2 x 10 (端末数)
初期値	20000

設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PORT_MAX（☞ 241 ページ）

DTMFペイロードタイプ

説明	トーン信号のRFC 2833ペイロードタイプを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DTMF方式]**が**[アウトバンド（RFC 2833）]**に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	96～127
初期値	101
設定ファイルプログラミングによる設定	TELEVENT_PAYLOAD（☞ 245 ページ）

4.6.4 VoIP設定 [回線 1]～[回線 x]

この画面では、VoIP設定を回線ごとに変更できます。
使用可能な回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。

- KX-UT123N：1～2
- KX-UT136N：1～4
- KX-UT248N：1～6

4.6.4.1 QoS

DSCP （RTPパケット）

説明	RTPパケットに適用されるDSCPレベルを選択します。
設定値	0～63
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	DSCP_RTP_n（☞ 239 ページ）

DSCP （RTCPパケット）

説明	RTCPパケットに適用されるDiffServのDSCPレベルを選択します。
設定値	0～63

初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	DSCP_RTCP_n（☞ 239 ページ）

4.6.4.2 統計情報

RTCP送信

説明	RTCP（Real-Time Transport Control Protocol）を有効にするか無効にするかを選択します。詳細については、RFC 3550を参照してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	RTCP_ENABLE_n（☞ 242 ページ）

RTCP送信間隔

説明	RTCPパケットの間隔を秒単位で指定します。
設定値	5～65535
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	RTCP_INTVL_n（☞ 239 ページ）

4.6.4.3 ジッタバッファ

最大遅延

説明	ジッタバッファの最大遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	3～50（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［初期遅延］**以上である必要があります。 – **［最小遅延］**以上である必要があります。 – **［初期遅延］**は**［最小遅延］**以上である必要があります。
初期値	20（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	MAX_DELAY_n（☞ 240 ページ）

最小遅延

説明	ジッタバッファの最小遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1または2（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［初期遅延］**以下である必要があります。 – **［最大遅延］**以下である必要があります。 – **［最大遅延］**は**［初期遅延］**以上である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	MIN_DELAY_n（☞ 240 ページ）

初期遅延

説明	ジッタバッファの初期遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1～7（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［最小遅延］**以上である必要があります。 – **［最大遅延］**以下である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	NOM_DELAY_n（☞ 240 ページ）

4.6.4.4 DTMF

DTMF方式

説明	トーン信号の転送方法を選択します。
設定値	• アウトバンド（RFC 2833） • インバンド **お知らせ** • **［アウトバンド（RFC 2833）］**を選択すると、トーン信号はRFC 2833に従い、SDP（Session Description Protocol）を使用して送信されます。**［インバンド］**を選択すると、トーン信号はRTPストリーム内にエンコードされます。
初期値	アウトバンド（RFC 2833）

設定ファイルプログラミングによる設定	OUTBANDDTMF_n（☞ 243 ページ）

DTMFリレー

説明	トーン信号をSIP INFOメッセージで送信するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、トーン信号はSIP INFOメッセージで送信されます。**[無効]** を選択すると、**[DTMF方式]** で設定した方式が使用されます。
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	DTMF_RELAY_n（☞ 244 ページ）

4.6.4.5 RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留

RFC 2543 保留 (c=0.0.0.0)

説明	回線でRFC 2543の通話保留機能を有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、通話を保留するために再INVITEメッセージを送信するときに「c=0.0.0.0」構文がSDPで設定されます。**[無効]** を選択すると、「c=x.x.x.x」構文がSDPで設定されます。
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	RFC2543_HOLD_ENABLE_n（☞ 245 ページ）

4.6.4.6 コーディック優先度

G722（設定）

説明	音声データ通信でG.722コーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効

初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 237 ページ）

G722（優先度）

説明	G.722コーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 238 ページ）

PCMA（設定）

説明	音声データ通信でPCMAコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 237 ページ）

PCMA（優先度）

説明	PCMAコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 238 ページ）

G726-32（設定）

説明	音声データ通信でG.726-32コーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効

設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 237 ページ）

G726-32（優先度）

説明	G.726-32コーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 238 ページ）

G729A（設定）

説明	音声データ通信でG.729Aコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 237 ページ）

G729A（優先度）

説明	G.729Aコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 238 ページ）

PCMU（設定）

説明	音声データ通信でPCMUコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 237 ページ）

PCMU（優先度）

説明	PCMUコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 238 ページ）

4.7 電話設定

ここでは、**[電話設定]** タブに含まれる設定について説明します。

4.7.1 電話機能設定

この画面では、すべての回線に共通の各種通話機能を設定します。

4.7.1.1 電話機能設定

ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信

説明	SUBSCRIBEリクエストをボイスメールサーバーに送信するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。

設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	VM_SUBSCRIBE_ENABLE（☞ 212 ページ）

会議サーバーURI

説明	会議サーバーのURIを指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:conference@exam - ple.com）。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「conference」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	CONFERENCE_SERVER_URI（☞ 212 ページ）

ダイヤル桁間タイマー

説明	発信操作時、次の番号を入力するまでの時間を秒単位で指定します。キー入力後、この時間が経過すると、発信します。
設定値	1～15
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	INTDIGIT_TIM（☞ 213 ページ）

ダイヤルプランタイマー

説明	ダイヤルプランの中に「T」または「t」の文字列がある場合のタイマーを秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	MACRODIGIT_TIM（☞ 213 ページ）

国際番号

説明	かかってきた国際電話の番号の先頭に「+」記号が入っている場合に「+」記号の箇所に表示する番号を指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	INTERNATIONAL_ACCESS_CODE（☞ 213 ページ）

国番号

説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルする場合に比較目的で使用する国／地域の電話コードを指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	COUNTRY_CALLING_CODE（☞ 214 ページ）

市内局番

説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルするとき、国コードが一致した場合は国コードを削除して国内アクセスコードを追加します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	NATIONAL_ACCESS_CODE（☞ 214 ページ）

通常使用する回線番号

説明	ダイヤル操作で回線が指定されていない場合に、発信に使用する回線を指定します。 **お知らせ** • 使用できる回線番号は、使用している電話機の機種によって異なります。
設定値	1～2（KX-UT123N） 1～4（KX-UT136N） 1～6（KX-UT248N）
初期値	1

設定ファイルプログラミングによる設定	DEFAULT_LINE_SELECT（☞ 214 ページ）

フラッシュ動作（切断＆再捕捉）

説明	通話時のフックボタンの機能を選択します。
設定値	• 切断 • 再捕捉
初期値	切断
設定ファイルプログラミングによる設定	FLASH_RECALL_TERMINATE（☞ 250 ページ）

フラッシュ再捕捉イベント

説明	フックフラッシュイベント送信時に送信する信号の種類を指定します。
設定値	• Signal • flashhook
初期値	Signal
設定ファイルプログラミングによる設定	FLASHHOOK_CONTENT_TYPE（☞ 250 ページ）

内線指定代理応答

説明	BLF（内線状態表示）ボタンとして設定している内線に着信があった場合に、その着信に代理応答するための特番を指定します。
設定値	最大4文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT（☞ 215 ページ）

4.7.1.2 着信拒否番号

1～30

説明	着信拒否する電話番号を30件まで指定します。 **お知らせ** • この設定は、本機を使用したプログラミングでも行うことができます。Webプログラミングと本機を使用したプログラミングで同じ設定を変更すると、Webプログラミングでの設定によって本機を使用したプログラミングの設定が上書きされます。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • 間を空けて指定しても（フィールド1、5、30など）、連続したフィールド（フィールド1、2、3）に保存されます。 • 0～9、*、#、または+以外の番号が含まれる電話番号は、着信拒否できない場合があります。
初期値	なし

4.7.2 電話機能設定 [回線 1]～[回線 x]

この画面では、各種通話機能を回線ごとに設定できます。
使用可能な回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。

- KX-UT123N：1～2
- KX-UT136N：1～4
- KX-UT248N：1～6

4.7.2.1 電話機能設定

ディスプレイネーム

説明	電話をかけるときに相手の電話機に発信者として表示する名前を指定します。
設定値	最大24文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	DISPLAY_NAME_n（☞ 246 ページ）

ボイスメールアクセス番号

説明	ボイスメールサーバーにアクセスするために使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	最大32文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	VM_NUMBER_n（☞ 246 ページ）

シェアードコール

説明	SIPサーバーの共用回線機能を有効にするかどうかを選択します。共用回線は、1回線を複数の電話機で共有する機能です。 **お知らせ** • **［シェアードコール］**と**［着信拒否／不在転送同期］**の両方を同時に**［有効］**に設定することはできません。 • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。
設定値	• 有効（共用回線として使用します） • 無効（通常回線として使用します） **お知らせ** • **［有効］**を選択した場合、SIPサーバーは、共用回線の信号送出方法で回線を制御します。**［無効］**を選択した場合、SIPサーバーは、標準の信号送出方法で回線を制御します。
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SHARED_CALL_ENABLE_n（☞ 247 ページ）

着信拒否／不在転送同期

説明	Webプログラミングまたは本機を使用したプログラミングで行った不在転送と不在設定の設定を、ポータルサーバーと本機で同期するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがこの機能をサポートしていない場合、**[有効]**を選択しても正しく動作しないことがあります。 • **[シェアードコール]**と**[着信拒否／不在転送同期]**の両方を**[有効]**に設定することはできません。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n（☞ 248 ページ）

リソースリストURI

説明	リソースリストのURI（Uniform Resource Identifier）文字列を指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。詳細については、RFC 4662を参照してください。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • フレキシブルボタンにBLF（内線状態表示）機能を設定している場合は、お使いのSIPサーバーによっては本設定を行う必要があります。 フレキシブルボタンの詳細については☞ 288 ページ
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	RESOURCELIST_URI_n（☞ 249 ページ）

4.7.2.2 番号計画

番号計画 （最大500文字）

説明	ダイヤル可能な番号や発信時の処理方法を制御するダイヤル形式（電話番号など）を指定します。ダイヤルプランの詳細については ☞ 285 ページ
設定値	最大500文字 **お知らせ** • 入力文字数が500文字を超えるとエラーが発生し、前に入力されていた値が有効になります。
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_PLAN_n（☞ 247 ページ）

番号計画不一致時に発信

説明	ダイヤルした番号が、**[番号計画]** で指定されているダイヤル形式のいずれとも一致しない場合に、その番号に発信するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定されているダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。**[無効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定されているダイヤル形式のいずれかと一致しない場合には発信しません。
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n（☞ 247 ページ）

4.7.2.3 発着信機能

発信者番号非通知

説明	発信時に、電話番号を非通知にするかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。

設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

非通知着信拒否

説明	発信者の番号が非表示の着信を拒否するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

着信拒否

説明	不在設定機能を有効にするかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[無効]**を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、本機は着信を受けることはできません。 • **[着信拒否／不在転送同期]**を**[有効]**に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

4.7.2.4 不在転送

全着信 (不在転送)

説明	すべての着信を指定の電話番号に転送するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]** を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、本機は着信を受けることはできません。 • **[有効]** を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっていると、**[無効]** を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。 • Webプログラミング（☞ 121 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 248 ページ）で行う不在設定と不在転送の設定を同期することができます。 • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

全着信 (転送先電話番号)

説明	すべての着信の転送先となる電話番号を指定します。 **お知らせ** • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[全着信（不在転送)]** が **[有効]** に設定されている場合、このフィールドへの入力は必要です。
初期値	なし

話中 (不在転送)

説明	回線が使用中の場合に、着信を指定の電話番号に転送するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]** を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、本機は着信を受けることはできません。 • **[有効]** を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっている場合、**[無効]** を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。 • Webプログラミング（☞ 121 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 248 ページ）で行う不在設定と不在転送の設定を同期することができます。 • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

話中 (転送先電話番号)

説明	回線が使用中の場合に、着信の転送先となる電話番号を指定します。 **お知らせ** • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[話中 (不在転送)]** が **[有効]** に設定されている場合、このフィールドへの入力は必須です。
初期値	なし

不応答 (不在転送)

説明	着信音が指定の回数鳴った時点で電話に出なかった場合に、着信を指定の電話番号に転送するかどうかを指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]** を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、本機は着信を受けることはできません。 • **[有効]** を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっていると、**[無効]** を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。 • Webプログラミング（☞ 121 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 248 ページ）で行う不在設定と不在転送の設定を同期することができます。 • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

不応答 (転送先電話番号)

説明	着信音が指定の回数だけ鳴った時点で電話に出なかった場合に、着信の転送先となる電話番号を指定します。 **お知らせ** • **[着信拒否／不在転送同期]** を **[有効]** に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[不応答（不在転送)]** が **[有効]** に設定されている場合、このフィールドへの入力は必須です。
初期値	なし

不応答（鳴動回数）

説明	通話を転送するまでに、着信音を鳴らす回数を指定します。 **お知らせ** • **［着信拒否／不在転送同期］**を**［有効］**に設定した状態でこの設定を変更すると、変更内容はすぐには画面に反映されません。変更内容を確認するには、画面を更新してください。
設定値	0、2～20（0：着信音なし）
初期値	3

4.7.3 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）

この画面では、フレキシブルボタンに各種機能を設定します。
フレキシブルボタンの詳細については☞ 288 ページ

4.7.3.1 機能ボタン設定

ボタン種別（番号1～24）

説明	フレキシブルボタンに割り当てる機能を選択します。

設定値	• 内線ボタン • ワンタッチキー • ヘッドセット • BLF • ACD • ライン • コールパーク **お知らせ** • 「**LINEKEY_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合は、「ライン」は表示されません。 • 「**CALLPARK_AREAKEY_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合は、「コールパーク」は表示されません。
初期値	内線ボタン
設定ファイルプログラミングによる設定	FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx（☞ 232 ページ）

ボタン情報（番号1～24）

説明	フレキシブルボタンに割り当てる機能に必要な値を指定します。
設定値	最大32文字
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx（☞ 232 ページ）

ボタン名（番号1～24）

説明	フレキシブルボタンを押したときに画面に表示するメッセージを指定します。
設定値	最大10文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。 • KX-UT248Nでは、ここで設定されたボタン名が画面上部にも表示されます。この場合、全角で最大5文字（または半角で最大10文字）まで表示可能です。
初期値	KX-UT136N： なし KX-UT248N： 番号1：1、番号2：2、番号3：3...番号24：24

設定ファイルプログラミングによる設定	FLEX_BUTTON_LABELx（☞ 233 ページ）

4.7.4 トーン設定

この画面では、トーン信号の周波数とパターンをトーンごとに設定します。

4.7.4.1 発信音

使用周波数

説明	発信音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音） **お知らせ** • たとえば「350,440」と指定すると、350 Hzと440 Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
初期値	350,440
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE1_FRQ（☞ 218 ページ）

オン／オフ周期

説明	発信音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 発信音は、最初の値で指定された時間だけ停止した後、2番目の時間だけ鳴り、3番目の時間だけ停止、4番目の時間だけ鳴る、と続きます。パターンの最後に到達すると、最初から同じパターンが繰り返されます。たとえば、「100,100,100.0」と指定した場合、100ミリ秒間停止、100ミリ秒間鳴り、100ミリ秒間停止、連続音となります。 • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,0
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE1_TIMING（☞ 219 ページ）

4.7.4.2 話中音

使用周波数

説明	話中音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
設定ファイルプログラミングによる設定	BUSY_TONE_FRQ（☞ 221 ページ）

オン／オフ周期

説明	話中音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。

設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,500,440
設定ファイルプログラミングによる設定	BUSY_TONE_TIMING（☞ 222 ページ）

4.7.4.3 着信音

使用周波数

説明	呼び出し音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	440,480
設定ファイルプログラミングによる設定	RINGBACK_TONE_FRQ（☞ 223 ページ）

オン／オフ周期

説明	呼び出し音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,2000,3940
設定ファイルプログラミングによる設定	RINGBACK_TONE_TIMING（☞ 224 ページ）

4.7.4.4 スタッター音

使用周波数

説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音４（スタッター式発信音）の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）

初期値	350,440
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE4_FRQ（☞ 220 ページ）

オン／オフ周期

説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音4（スタッター式発信音）のパターンを、最大22個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、560ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	560,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,0
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE4_TIMING（☞ 221 ページ）

4.7.4.5 リオーダー音

使用周波数

説明	規制音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
設定ファイルプログラミングによる設定	REORDER_TONE_FRQ（☞ 222 ページ）

オン／オフ周期

説明	規制音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。

設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,250,190
設定ファイルプログラミングによる設定	REORDER_TONE_TIMING（☞ 223 ページ）

4.7.5 電話設定

4.7.5.1 電話設定

この画面では、電話機の各種設定を行います。

ボタン確認音

説明	キーを押したときに音を鳴らすかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	KEY_PAD_TONE（☞ 218 ページ）

内線暗証番号

説明	内線暗証番号を指定します。内線暗証番号は通話履歴と電話帳へのアクセスをロックするために使用します。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
設定値	最大10桁

初期値	0000000000
設定ファイルプログラミングによる設定	EXTENSION_PIN（☞ 230 ページ）

発信番号を照合する下限桁数

説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最小桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと**[発信番号を照合する上限桁数]**の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	7
設定ファイルプログラミングによる設定	NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT（☞ 229 ページ）

発信番号を照合する上限桁数

説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最大桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと**[発信番号を照合する下限桁数]**の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	10
設定ファイルプログラミングによる設定	NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT（☞ 229 ページ）

4.7.6 電話帳インポート

この画面では、電話帳データをパソコンから指定の電話機にインポートします（☞ 280 ページ）。

お知らせ

- インポートする電話機の電話帳に氏名と電話番号が同じ連絡先がすでに存在する場合、その連絡先は追加されません。

- 電話帳データのインポートを開始すると、**[ファイル処理中]**画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。ただし、一部のWebブラウザでは画面は自動的に更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に**[ここ]**をクリックすると、インポートが正しく実行されます。

4.7.6.1 電話帳インポート

インポートファイル名

説明	パソコンからインポートするTSV（タブ区切り形式）ファイルのパスを指定します。
設定値	制限なし **お知らせ** • フィールドエントリの長さには制限はありません。ただし、パスの長さは256文字未満にすることを推奨します。これよりも長いパスを指定すると、データ転送に時間がかかり、内部エラーが発生する場合があります。
初期値	なし

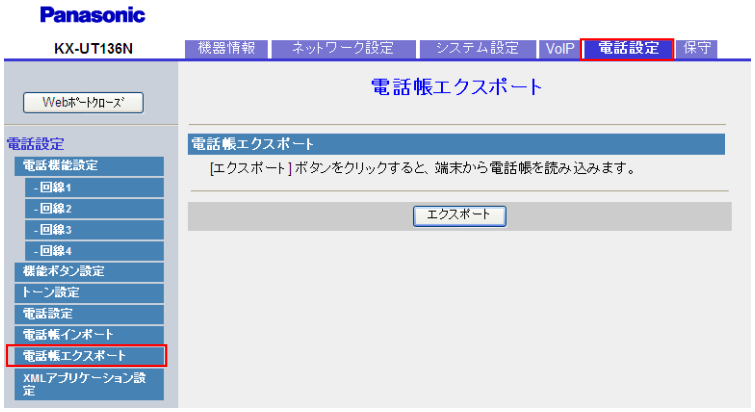
4.7.7 電話帳エクスポート

この画面では、電話機に保存されている電話帳データをTSV形式のファイルとしてパソコンに保存します（☞ 280 ページ）。

お知らせ

- 電話帳データのエクスポートを開始すると、**[ファイル処理中]**画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。メッセージの**[ここ]**をクリックすると、**[電話帳エクスポート]**画面が再度開きます。クリックしないと、エクスポートが完了した後も**[ファイル処理中]**画面は開いたままになります。一部のWebブラウザでは画面は自動的に更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に**[ここ]**をクリックすると、エクスポートが正しく実行されます。
- Webブラウザのセキュリティ設定によっては、エクスポート中にポップアップメニューがブロックされることがあります。**ポップアップブロック**設定が有効になっていると、セキュリティの警告ウィ

ンドウが開き、エクスポートが正しく実行されない可能性があります。この場合、エクスポートを再度実行するか、Webブラウザの**ポップアップブロック**機能を無効にしてください。



4.7.8 XMLアプリケーション設定

この画面では、XMLアプリケーション機能に使用する各種URLの設定を行います。

4.7.8.1 アプリケーション起動用URL

URL

説明	本機を起動したときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字

初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_START_URL（☞ 234 ページ）

4.7.8.2 アプリケーション初期用URL

URL

説明	本機の設定メニューからXMLアプリケーションを起動したときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_INITIAL_URL（☞ 235 ページ）

4.7.8.3 着信用URL

URL

説明	電話を受けたときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_INCOMING_URL（☞ 235 ページ）

4.7.8.4 通話中用URL

URL

説明	通話中にXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_TALKING_URL（☞ 235 ページ）

4.7.8.5 発信用URL

URL

説明	電話をかけるときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_MAKECALL_URL（☞ 235 ページ）

4.7.8.6 通話履歴用URL

URL

説明	通話履歴を確認するときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_CALLLOG_URL（☞ 236 ページ）

4.7.8.7 アイドル用URL

URL

説明	待機中にXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_IDLING_URL（☞ 236 ページ）

4.7.8.8 ネットワーク電話帳用URL

URL

説明	電話帳を確認するときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	なし

設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_LDAP_URL（☞ 236 ページ）

4.7.8.9 ネットワーク電話帳認証

認証ID

説明	ネットワーク電話帳サーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_LDAP_USERID（☞ 236 ページ）

認証パスワード

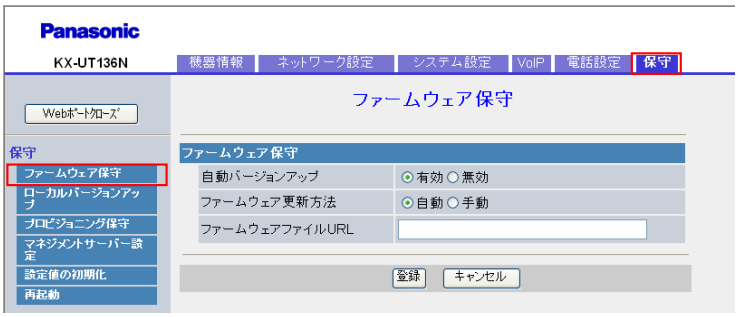
説明	ネットワーク電話帳サーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	XMLAPP_LDAP_USERPASS（☞ 237 ページ）

4.8 保守

ここでは、**[保守]** タブに含まれる設定について説明します。

4.8.1 ファームウェア保守

この画面では、ファームウェアのアップデートを自動または手動で行います。



4.8.1.1 ファームウェア保守

自動バージョンアップ

説明	本機が新しいバージョンのファームウェアを検出したときに、ファームウェアのアップデートを実行するかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定を変更すると、本機の再起動が必要になることがあります。 • ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）は、この設定に関係なく実行できます。 • TR-069を使用したファームウェアのアップデートは、この設定に関係なく実行できます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	FIRM_UPGRADE_ENABLE（☞ 184 ページ）

ファームウェア更新方法

説明	新しいファームウェアバージョンが検出されたときに、確認メッセージを表示してからファームウェアのアップデートを実行する方法（手動）と、メッセージを表示しないで実行する方法（自動）のいずれかを選択します。 **お知らせ** • この設定は、**[自動バージョンアップ]** が **[有効]** に設定されている場合に有効となります。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	• 自動 • 手動
初期値	自動
設定ファイルプログラミングによる設定	FIRM_UPGRADE_AUTO（☞ 185 ページ）

ファームウェアファイルURL

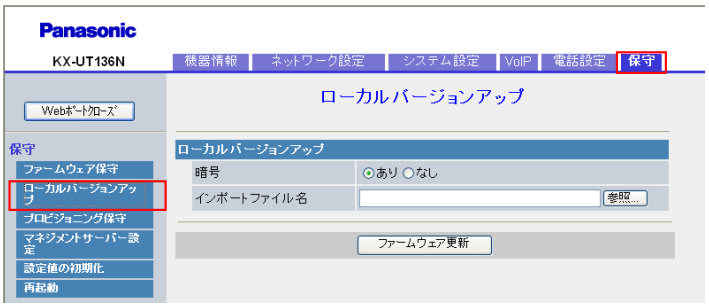
説明	ファームウェアファイルが格納されているURLを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[自動バージョンアップ]** が **[有効]** に設定されている場合に有効となります。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	最大500文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	FIRM_FILE_PATH（☞ 185 ページ）

4.8.2 ローカルバージョンアップ

この画面では、**[ファームウェア更新]** をクリックすると、本機のファームウェアをパソコンから手動でアップデートできます。

お知らせ

- ファームウェアのアップデートが完了すると、本機は自動的に再起動します。



4.8.2.1 ローカルバージョンアップ

暗号

説明	ファームウェアファイルを暗号化するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効

インポートファイル名

説明	インポートするファームウェアファイルのパスを指定します。

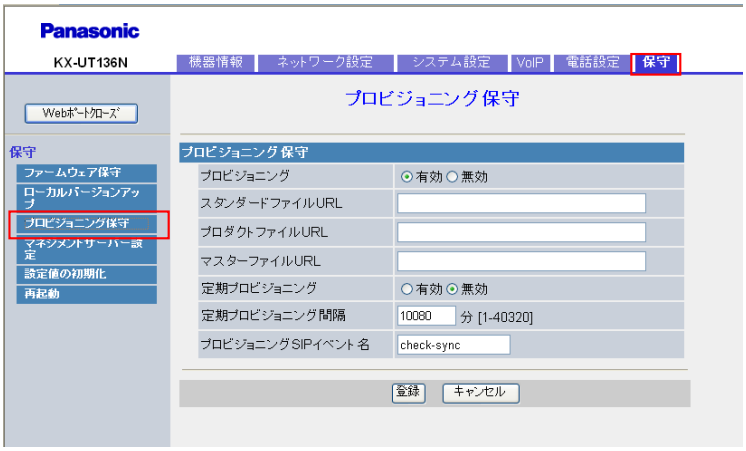
設定値	制限なし **お知らせ** • フィールドエントリの長さには制限はありません。ただし、パスの長さは256文字未満にすることを推奨します。これよりも長いパスを指定すると、データ転送に時間がかかり、内部エラーが発生する場合があります。
初期値	なし

4.8.3 プロビジョニング保守

この画面では、使用している電話システムのプロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードするためのプロビジョニング設定を変更できます。

お知らせ

- 電話機1台あたり設定ファイルを3つまで指定できます。
  プロビジョニングの詳細については☞ 34 ページ



4.8.3.1 プロビジョニング保守

プロビジョニング

説明	指定されているURLから設定ファイルをダウンロードして本機に設定するかどうかを指定します。 **お知らせ** • TR-069を使用した設定ファイルのダウンロードは、この設定に関係なく実行できます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効

設定ファイルプログラミングによる設定	PROVISION_ENABLE（☞ 187 ページ）

スタンダードファイルURL

説明	スタンダードファイルのURLを指定します。このファイルは、電話機ごとに異なる設定が必要な場合に使用します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字
初期値	http://provisioning.e-connecting.net/redirect/conf/{mac}.cfg
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_STANDARD_FILE_PATH（☞ 187 ページ）

プロダクトファイルURL

説明	同じ機種の電話機に同一の設定をする場合に使用するプロダクトファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_PRODUCT_FILE_PATH（☞ 188 ページ）

マスターファイルURL

説明	すべての電話機で同じ設定が必要な場合に使用されるマスターファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_MASTER_FILE_PATH（☞ 189 ページ）

定期プロビジョニング

説明	本機が設定ファイルの更新を定期的に確認するかどうかを指定します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_CYCLIC（☞ 192 ページ）

定期プロビジョニング間隔

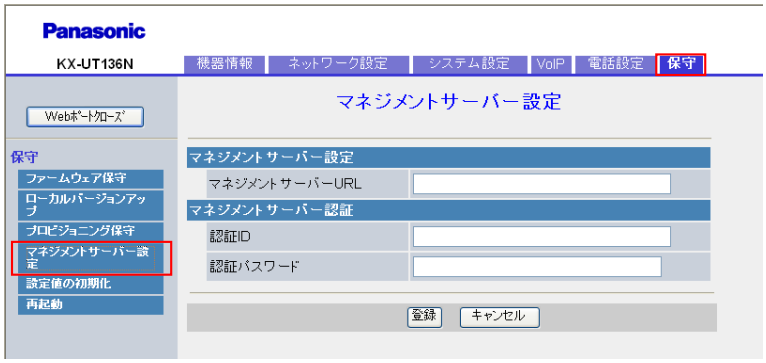
説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する間隔を分単位で指定します。
設定値	1～40320
初期値	10080
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_CYCLIC_INTVL（☞ 192 ページ）

プロビジョニングSIPイベント名

説明	SIPサーバーから本機に送信される「Event」ヘッダーの値を指定します。これにより、本機はプロビジョニングサーバー上の設定ファイルにアクセスします。
設定値	最大15文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	check-sync
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_RESYNC_FROM_SIP（☞ 193 ページ）

4.8.4 マネジメントサーバー設定

この画面では、マネジメントサーバーの設定を行います。



4.8.4.1 マネジメントサーバー設定

マネジメントサーバーURL

説明	TR-069を使用する場合のACS（Auto Configuration Server［自動設定サーバー］）のURLを指定します。 **お知らせ** • 本設定はRFC3986で定義されている有効なHTTPまたはHTTPS URLの形式で指定してください。
設定値	最大256文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	ACS_URL（☞ 193 ページ）

4.8.4.2 マネジメントサーバー認証

認証ID

説明	TR-069を使用する場合のACSのユーザーIDを指定します。
設定値	最大255文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	ACS_USER_ID（☞ 194 ページ）

認証パスワード

説明	TR-069を使用する場合のACSのユーザーパスワードを指定します。

設定値	最大255文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	ACS_PASS（☞ 194 ページ）

4.8.5 設定値の初期化

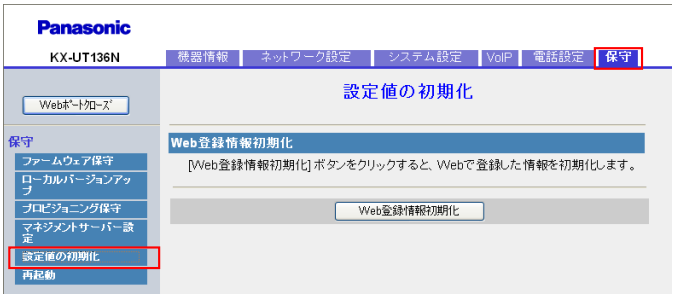
この画面では、**[Web登録情報初期化]** をクリックすることにより、Webプログラミングで行った変更内容を初期値に戻します。このボタンをクリックすると、設定の初期化を確認するダイアログボックスが表示されます。初期化するには **[OK]**、キャンセルするには **[キャンセル]** をクリックしてください。
初期化の詳細については☞ 298 ページ

お願い

- Web登録情報初期化を実行すると、本機は自動的に再起動します。Web登録情報初期化の実行前に設定内容を保存しておくことを推奨します。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングで行った設定は初期化されません。
- 本機を使用したプログラミングでのみ行った設定は初期化されません。ただし、本機を使用したプログラミングとWebプログラミングの両方で行える設定はリセットされます。
- 管理者アカウントの初期パスワードを変更した後で設定を初期化すると、次回のWebプログラミングへのアクセス時に認証ダイアログボックスが表示されます。

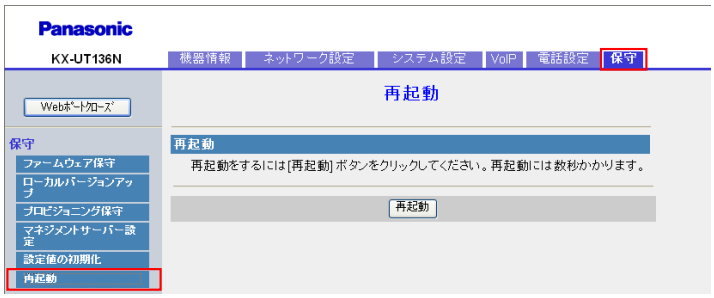


4.8.6 再起動

この画面では、**[再起動]** をクリックすると本機は再起動します。このボタンをクリックすると、本機の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。再起動するには **[OK]**、キャンセルするには **[キャンセル]** をクリックしてください。

お知らせ

- 本機が通話中の場合でも、本機は再起動します。



4.9 メッセージについて

現在の設定画面で設定を変更したあとに［登録］をクリックすると、画面の左上に下記のいずれかのメッセージが表示されます。

メッセージ	説明	該当画面
完了	本機への設定が正常に完了しました。	4.7.7 電話帳エクスポート（☞ 135 ページ）を除くすべての画面
失敗 （パラメータエラー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 一部の指定値が範囲外または無効です。	すべての画面
失敗 （メモリアクセスエラー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • データの読み取りまたは書き込み中にフラッシュメモリーへのアクセスエラーが発生しました。	すべての画面
失敗 （転送失敗）*1	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • データ送信中にネットワークエラーが発生しました。	すべての画面

メッセージ	説明	該当画面
失敗 （ビジー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 本機のフラッシュメモリーにアクセスする操作が実行中です。	すべての画面
	• 本機が通話中または切断中に電話帳データをインポート／エクスポートしようとしました。 • 電話帳データを転送中に本機に着信がありました。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ） 4.7.7 電話帳エクスポート（☞ 135 ページ）
	• 本機が通話中にファームウェアをアップデートしました。	4.8.2 ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）
失敗 （キャンセル）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 電話帳データを転送中に、本機でIP初期設定が実行されました。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ） 4.7.7 電話帳エクスポート（☞ 135 ページ）
	• ファームウェアファイルを転送中に、本機でIP初期設定が実行されました。	4.8.2 ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）
	• 電話帳データを転送中に、本機との接続が切断されました。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ） 4.7.7 電話帳エクスポート（☞ 135 ページ）
失敗 （無効ファイル）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • インポートしたUTF-16テキストファイルに無効なBOM（Byte-order Mark）が含まれています。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ）
	• ファームウェアファイルが壊れているか無効です。	4.8.2 ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）
失敗 （ファイルサイズエラー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • インポートした電話帳データのサイズが大きすぎます。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ）
	• ファームウェアファイルのサイズが不足しています。	4.8.2 ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）

メッセージ	説明	該当画面
メモリオーバー	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 電話帳データをインポートしようとしましたが、連絡先の合計数が最大値（500）を超えています。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ）
対象データなし	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • インポートした電話帳ファイルに、有効な連絡先が含まれていません。	4.7.6 電話帳インポート（☞ 134 ページ）
	• 本機からエクスポートする電話帳データに、連絡先が登録されていません。	4.7.7 電話帳エクスポート（☞ 135 ページ）

*1 Webブラウザによっては「失敗 （転送失敗）」が表示されない場合があります。

お願い

- ブラウザの**［戻る］**ボタンを押したり、新しいウィンドウで画面を開いたりしないでください。**［登録］**をクリックしたときに、エラー（「403 Forbidden」）が表示されます。

第５章
設定ファイルのプログラミング

この章では、設定ファイルで指定できる設定パラメータについて説明します。

5.1 設定ファイルのパラメータリスト

下記の表に、設定ファイルのプログラミングで指定できるすべてのパラメータを示します。それぞれのパラメータの詳細については、表に示す参照ページをご覧ください。

システム設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
アカウント設定	ADMIN_ID	☞ 175 ページ
	ADMIN_PASS*1	☞ 175 ページ
	USER_ID	☞ 176 ページ
	USER_PASS*1	☞ 176 ページ
時刻設定	TIME_ZONE*1	☞ 176 ページ
	DST_ENABLE*1	☞ 177 ページ
	DST_OFFSET*1	☞ 177 ページ
	DST_START_MONTH*1	☞ 178 ページ
	DST_START_ORDINAL_DAY*1	☞ 178 ページ
	DST_START_DAY_OF_WEEK*1	☞ 179 ページ
	DST_START_TIME*1	☞ 179 ページ
	DST_STOP_MONTH*1	☞ 180 ページ
	DST_STOP_ORDINAL_DAY*1	☞ 180 ページ
	DST_STOP_DAY_OF_WEEK*1	☞ 180 ページ
	DST_STOP_TIME*1	☞ 181 ページ
	LOCAL_TIME_ZONE_POSIX	☞ 181 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
Syslog設定	SYSLOG_EVENT_SIP	☞ 182 ページ
	SYSLOG_EVENT_CFG	☞ 183 ページ
	SYSLOG_EVENT_VOIP	☞ 183 ページ
	SYSLOG_EVENT_TEL	☞ 183 ページ
	SYSLOG_ADDR	☞ 183 ページ
	SYSLOG_PORT	☞ 183 ページ
	SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_n	☞ 184 ページ
ファームウェアアップデート設定	FIRM_UPGRADE_ENABLE*1	☞ 184 ページ
	FIRM_VERSION	☞ 184 ページ
	FIRM_UPGRADE_AUTO*1	☞ 185 ページ
	FIRM_FILE_PATH*1	☞ 185 ページ
プロビジョニング設定	OPTION66_ENABLE	☞ 186 ページ
	OPTION66_REBOOT	☞ 187 ページ
	PROVISION_ENABLE*1	☞ 187 ページ
	CFG_STANDARD_FILE_PATH*1	☞ 187 ページ
	CFG_PRODUCT_FILE_PATH*1	☞ 188 ページ
	CFG_MASTER_FILE_PATH*1	☞ 189 ページ
	CFG_FILE_KEY1	☞ 190 ページ
	CFG_FILE_KEY2	☞ 191 ページ
	CFG_FILE_KEY3	☞ 191 ページ
	CFG_FILE_KEY_LENGTH	☞ 191 ページ
	CFG_CYCLIC*1	☞ 192 ページ
	CFG_CYCLIC_INTVL*1	☞ 192 ページ
	CFG_RTRY_INTVL	☞ 192 ページ
	CFG_RESYNC_TIME	☞ 193 ページ
	CFG_RESYNC_FROM_SIP*1	☞ 193 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
マネジメントサーバー設定	**ACS_URL**[*1]	☞ 193 ページ
	ACS_USER_ID[*1]	☞ 194 ページ
	ACS_PASS[*1]	☞ 194 ページ
	PERIODIC_INFORM_ENABLE	☞ 194 ページ
	PERIODIC_INFORM_INTERVAL	☞ 194 ページ
	PERIODIC_INFORM_TIME	☞ 195 ページ
	CON_REQ_USER_ID	☞ 195 ページ
	CON_REQ_PASS	☞ 195 ページ
	ANNEX_G_STUN_ENABLE	☞ 196 ページ
	ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR	☞ 196 ページ
	ANNEX_G_STUN_SERV_PORT	☞ 196 ページ
	ANNEX_G_STUN_USER_ID	☞ 197 ページ
	ANNEX_G_STUN_PASS	☞ 197 ページ
	ANNEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE	☞ 197 ページ
	ANNEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE	☞ 198 ページ
	UDP_CON_REQ_ADDR_NOTIFY_LIMIT	☞ 198 ページ

[*1] この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

ネットワーク設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
IP設定	CONNECTION_TYPE*1	☞ 198 ページ
	HOST_NAME*2	☞ 199 ページ
	DHCP_DNS_ENABLE*1	☞ 199 ページ
	STATIC_IP_ADDRESS*1	☞ 200 ページ
	STATIC_SUBNET*1	☞ 200 ページ
	STATIC_GATEWAY*1	☞ 201 ページ
	USER_DNS1_ADDR*1	☞ 201 ページ
	USER_DNS2_ADDR*1	☞ 202 ページ
DNS設定	DNS_QRY_PRLL	☞ 202 ページ
	DNS_PRIORITY	☞ 202 ページ
	DNS1_ADDR	☞ 203 ページ
	DNS2_ADDR	☞ 203 ページ
イーサポート設定	VLAN_ENABLE*1	☞ 203 ページ
	VLAN_ID_IP_PHONE*1	☞ 204 ページ
	VLAN_PRI_IP_PHONE*1	☞ 204 ページ
	VLAN_ID_PC*1	☞ 204 ページ
	VLAN_PRI_PC*1	☞ 205 ページ
IEEE802.1X設定 (KX-UT248Nのみ)	IEEE8021X_ENABLE*2	☞ 205 ページ
	IEEE8021X_AUTH_PRTCL*2	☞ 206 ページ
	IEEE8021X_USER_ID*2	☞ 206 ページ
	IEEE8021X_USER_PASS*2	☞ 206 ページ
HTTP設定	HTTPD_PORTOPEN_AUTO	☞ 207 ページ
	HTTP_VER*2	☞ 207 ページ
	HTTP_USER_AGENT*2	☞ 207 ページ
	HTTP_SSL_VERIFY	☞ 208 ページ
	CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH	☞ 208 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
時刻同期設定	**NTP_ADDR**[*2]	☞ 209 ページ
	TIME_SYNC_INTVL	☞ 209 ページ
	TIME_QUERY_INTVL[*2]	☞ 210 ページ
STUN設定	**STUN_SERV_ADDR**[*2]	☞ 210 ページ
	STUN_SERV_PORT[*2]	☞ 210 ページ
	STUN_2NDSERV_ADDR	☞ 210 ページ
	STUN_2NDSERV_PORT	☞ 211 ページ
各種ネットワーク設定	**NW_SETTING_ENABLE**	☞ 211 ページ
	CUSTOM_WEB_PAGE	☞ 211 ページ

[*1] この設定は、他のプログラミング方法（本機を使用したプログラミングまたはWebプログラミング）でも行うことができます。
[*2] この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

電話設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
呼制御設定	VM_SUBSCRIBE_ENABLE[*1]	☞ 212 ページ
	CONFERENCE_SERVER_URI[*1]	☞ 212 ページ
	FIRSTDIGIT_TIM	☞ 213 ページ
	INTDIGIT_TIM[*1]	☞ 213 ページ
	MACRODIGIT_TIM[*1]	☞ 213 ページ
	INTERNATIONAL_ACCESS_CODE[*1]	☞ 213 ページ
	COUNTRY_CALLING_CODE[*1]	☞ 214 ページ
	NATIONAL_ACCESS_CODE[*1]	☞ 214 ページ
	DEFAULT_LINE_SELECT[*1]	☞ 214 ページ
	DATA_LINE_MODE	☞ 214 ページ
	NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT[*1]	☞ 215 ページ
	TALK_PACKAGE	☞ 215 ページ
	HOLD_PACKAGE	☞ 215 ページ
	HOLD_RECALL_TIM	☞ 216 ページ
	AUTO_ANS_RING_TIM	☞ 216 ページ
	RINGING_OFF_SETTING_ENABLE	☞ 216 ページ
	AUTO_CALL_HOLD	☞ 216 ページ
	REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE	☞ 216 ページ
	ONHOOK_TRANSFER_ENABLE	☞ 217 ページ
	DISCONNECTION_MODE	☞ 217 ページ
	TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET	☞ 217 ページ
	TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE	☞ 217 ページ
	KEY_PAD_TONE[*1]	☞ 218 ページ
音質設定	DIAL_TONE1_FRQ[*1]	☞ 218 ページ
	DIAL_TONE1_GAIN	☞ 218 ページ
	DIAL_TONE1_RPT	☞ 218 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	DIAL_TONE1_TIMING[*1]	☞ 219 ページ
	DIAL_TONE2_FRQ	☞ 219 ページ
	DIAL_TONE2_GAIN	☞ 219 ページ
	DIAL_TONE2_RPT	☞ 219 ページ
	DIAL_TONE2_TIMING	☞ 220 ページ
	DIAL_TONE4_FRQ[*1]	☞ 220 ページ
	DIAL_TONE4_GAIN	☞ 220 ページ
	DIAL_TONE4_RPT	☞ 221 ページ
	DIAL_TONE4_TIMING[*1]	☞ 221 ページ
	BUSY_TONE_FRQ[*1]	☞ 221 ページ
	BUSY_TONE_GAIN	☞ 221 ページ
	BUSY_TONE_RPT	☞ 222 ページ
	BUSY_TONE_TIMING[*1]	☞ 222 ページ
	REORDER_TONE_FRQ[*1]	☞ 222 ページ
	REORDER_TONE_GAIN	☞ 223 ページ
	REORDER_TONE_RPT	☞ 223 ページ
	REORDER_TONE_TIMING[*1]	☞ 223 ページ
	RINGBACK_TONE_FRQ[*1]	☞ 223 ページ
	RINGBACK_TONE_GAIN	☞ 224 ページ
	RINGBACK_TONE_RPT	☞ 224 ページ
	RINGBACK_TONE_TIMING[*1]	☞ 224 ページ
	HOLD_ALARM_FRQ	☞ 224 ページ
	HOLD_ALARM_GAIN	☞ 225 ページ
	HOLD_ALARM_RPT	☞ 225 ページ
	HOLD_ALARM_TIMING	☞ 225 ページ
	CW_TONE1_FRQ	☞ 225 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	CW_TONE1_GAIN	☞ 226 ページ
	CW_TONE1_RPT	☞ 226 ページ
	CW_TONE1_TIMING	☞ 226 ページ
	HOLD_TONE_FRQ	☞ 226 ページ
	HOLD_TONE_GAIN	☞ 226 ページ
	HOLD_TONE_RPT	☞ 227 ページ
	HOLD_TONE_TIMING	☞ 227 ページ
	BELL_CORE_PATTERN1_TIMING	☞ 227 ページ
	BELL_CORE_PATTERN2_TIMING	☞ 228 ページ
	BELL_CORE_PATTERN3_TIMING	☞ 228 ページ
	BELL_CORE_PATTERN4_TIMING	☞ 228 ページ
	BELL_CORE_PATTERN5_TIMING	☞ 228 ページ
電話設定	**DISPLAY_NAME_REPLACE**	☞ 229 ページ
	NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT[*1]	☞ 229 ページ
	NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT[*1]	☞ 229 ページ
	EXTENSION_PIN[*1]	☞ 230 ページ
	POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE	☞ 230 ページ
各種電話設定	**ADJDATA_GAIN**	☞ 230 ページ
機能ボタン設定 （KX-UT136N／ KX-UT248Nのみ）	**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**[*1]	☞ 232 ページ
	FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx[*1]	☞ 232 ページ
	FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx[*1]	☞ 232 ページ
	FLEX_BUTTON_LABELx[*1]	☞ 233 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
XMLアプリケーション設定	**XML_HTTPD_PORT**[*1]	☞ 233 ページ
	XMLAPP_ENABLE[*1]	☞ 234 ページ
	XMLAPP_USERID[*1]	☞ 234 ページ
	XMLAPP_USERPASS[*1]	☞ 234 ページ
	XMLAPP_START_URL[*1]	☞ 234 ページ
	XMLAPP_INITIAL_URL[*1]	☞ 235 ページ
	XMLAPP_INCOMING_URL[*1]	☞ 235 ページ
	XMLAPP_TALKING_URL[*1]	☞ 235 ページ
	XMLAPP_MAKECALL_URL[*1]	☞ 235 ページ
	XMLAPP_CALLLOG_URL[*1]	☞ 236 ページ
	XMLAPP_IDLING_URL[*1]	☞ 236 ページ
	XMLAPP_LDAP_URL[*1]	☞ 236 ページ
	XMLAPP_LDAP_USERID[*1]	☞ 236 ページ
	XMLAPP_LDAP_USERPASS[*1]	☞ 237 ページ

[*1] この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

VoIP設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
コーデック設定	**CODEC_G711_REQ**	☞ 237 ページ
	CODEC_G729_PARAM	☞ 237 ページ
	CODEC_ENABLEx_n[*1]	☞ 237 ページ
	CODEC_PRIORITYx_n[*1]	☞ 238 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
RTP設定	**DSCP_RTP_n**[*1]	☞ 239 ページ
	DSCP_RTCP_n[*1]	☞ 239 ページ
	RTCP_INTVL_n[*1]	☞ 239 ページ
	MAX_DELAY_n[*1]	☞ 240 ページ
	MIN_DELAY_n[*1]	☞ 240 ページ
	NOM_DELAY_n[*1]	☞ 240 ページ
	RTP_PORT_MIN[*1]	☞ 241 ページ
	RTP_PORT_MAX[*1]	☞ 241 ページ
	RTP_PTIME[*1]	☞ 242 ページ
	RTCP_ENABLE_n[*1]	☞ 242 ページ
	RTCP_SEND_BY_SDP_n	☞ 243 ページ
	RTP_CLOSE_ENABLE_n	☞ 243 ページ
各種VoIP設定	**OUTBANDDTMF_n**[*1]	☞ 243 ページ
	DTMF_RELAY_n[*1]	☞ 244 ページ
	OUTBANDDTMF_VOL	☞ 244 ページ
	INBANDDTMF_VOL	☞ 244 ページ
	TELEVENT_PAYLOAD[*1]	☞ 245 ページ
	RFC2543_HOLD_ENABLE_n[*1]	☞ 245 ページ
	DTMF_SIGNAL_LEN	☞ 245 ページ
	DTMF_INTDIGIT_TIM	☞ 246 ページ

[*1] この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

回線設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
呼制御設定	DISPLAY_NAME_n*1	☞ 246 ページ
	VM_NUMBER_n*1	☞ 246 ページ
	DIAL_PLAN_n*1	☞ 247 ページ
	DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n*1	☞ 247 ページ
	SHARED_CALL_ENABLE_n*1	☞ 247 ページ
	FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n*1	☞ 248 ページ
	RESOURCELIST_URI_n*1	☞ 249 ページ
	CW_ENABLE_n	☞ 249 ページ
	RETURN_VOL_SET_DEFAULT_ENABLE	☞ 249 ページ
	FLASH_RECALL_TERMINATE*1	☞ 250 ページ
	FLASHHOOK_CONTENT_TYPE*1	☞ 250 ページ
	VOICE_MESSAGE_AVAILABLE	☞ 250 ページ
	HOLD_SOUND_PATH_n	☞ 250 ページ
	CALLPARK_KEY_ENABLE	☞ 251 ページ
	CALLPARK_AREAKEY_ENABLE	☞ 251 ページ
	CALLPARK_METHOD	☞ 251 ページ
	NUM_PLAN_PARKING	☞ 252 ページ
	NUM_PLAN_PARK_AREA	☞ 252 ページ
	LINEKEY_ENABLE	☞ 252 ページ
	DDI_ICD_GROUP_DISPLAY	☞ 252 ページ
SIP設定	SIP_USER_AGENT*1	☞ 253 ページ
	PHONE_NUMBER_n*1	☞ 253 ページ
	SIP_URI_n*1	☞ 254 ページ
	LINE_ENABLE_n	☞ 254 ページ
	PROFILE_ENABLEn	☞ 254 ページ
	SIP_AUTHID_n*1	☞ 255 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	SIP_PASS_n[*1]	☞ 255 ページ
	SIP_SRC_PORT_n[*1]	☞ 255 ページ
	SIP_PRXY_ADDR_n[*1]	☞ 256 ページ
	SIP_PRXY_PORT_n[*1]	☞ 256 ページ
	SIP_RGSTR_ADDR_n[*1]	☞ 256 ページ
	SIP_RGSTR_PORT_n[*1]	☞ 257 ページ
	SIP_SVCDOMAIN_n[*1]	☞ 257 ページ
	REG_EXPIRE_TIME_n	☞ 257 ページ
	REG_INTERVAL_RATE_n	☞ 257 ページ
	SIP_SESSION_TIME_n[*1]	☞ 258 ページ
	SIP_SESSION_METHOD_n	☞ 258 ページ
	DSCP_SIP_n[*1]	☞ 258 ページ
	SIP_2NDPROXY_ADDR_n	☞ 259 ページ
	SIP_2NDPROXY_PORT_n	☞ 259 ページ
	SIP_2NDRGSTR_ADDR_n	☞ 259 ページ
	SIP_2NDRGSTR_PORT_n	☞ 260 ページ
	SIP_TIMER_T1_n[*1]	☞ 260 ページ
	SIP_TIMER_T2_n[*1]	☞ 260 ページ
	SIP_TIMER_T4_n	☞ 261 ページ
	SIP_FOVR_NORSP_n	☞ 261 ページ
	SIP_FOVR_MAX_n	☞ 261 ページ
	SIP_REFRESHER_n	☞ 262 ページ
	SIP_DNSSRV_ENA_n[*1]	☞ 262 ページ
	SIP_UDP_SRV_PREFIX_n[*1]	☞ 262 ページ
	SIP_TCP_SRV_PREFIX_n[*1]	☞ 263 ページ
	SIP_100REL_ENABLE_n[*1]	☞ 263 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	SIP_INVITE_EXPIRE_n	☞ 264 ページ
	SIP_18X_RTX_INTVL_n	☞ 264 ページ
	SIP_PRSNC_ADDR_n[*1]	☞ 264 ページ
	SIP_PRSNC_PORT_n[*1]	☞ 265 ページ
	SIP_2NDPRSNC_ADDR_n	☞ 265 ページ
	SIP_2NDPRSNC_PORT_n	☞ 265 ページ
	USE_DEL_REG_OPEN_n	☞ 266 ページ
	USE_DEL_REG_CLOSE_n	☞ 266 ページ
	PORT_PUNCH_INTVL_n[*1]	☞ 266 ページ
	SIP_ADD_RPORT_n[*1]	☞ 267 ページ
	SIP_REQURI_PORT_n	☞ 267 ページ
	SIP_SUBS_EXPIRE_n	☞ 268 ページ
	SUB_RTX_INTVL_n	☞ 268 ページ
	REG_RTX_INTVL_n	☞ 268 ページ
	SIP_P_PREFERRED_ID_n	☞ 268 ページ
	SIP_PRIVACY_n	☞ 269 ページ
	ADD_USER_PHONE_n	☞ 269 ページ
	SDP_USER_ID_n	☞ 269 ページ
	SUB_INTERVAL_RATE_n	☞ 270 ページ
	SIP_OUTPROXY_ADDR_n[*1]	☞ 270 ページ
	SIP_OUTPROXY_PORT_n[*1]	☞ 270 ページ
	SIP_TRANSPORT_n[*1]	☞ 271 ページ
	SIP_ANM_DISPNAME_n	☞ 271 ページ
	SIP_ANM_USERNAME_n	☞ 271 ページ
	SIP_ANM_HOSTNAME_n	☞ 272 ページ
	SIP_DETECT_SSAF_n[*1]	☞ 272 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	SIP_RCV_DET_HEADER_n	☞ 272 ページ
	SIP_CONTACT_ON_ACK_n	☞ 273 ページ
	SIP_TIMER_B_n*1	☞ 273 ページ
	SIP_TIMER_D_n*1	☞ 273 ページ
	SIP_TIMER_F_n*1	☞ 274 ページ
	SIP_TIMER_H_n*1	☞ 274 ページ
	SIP_TIMER_J_n*1	☞ 274 ページ
	ADD_TRANSPORT_UDP_n	☞ 275 ページ
	ADD_EXPIRES_HEADER_n	☞ 275 ページ
	SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n	☞ 275 ページ
	SIP_ADD_DIVERSION_n	☞ 276 ページ
	SIP_RESPONSE_CODE_DND	☞ 276 ページ
	SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT	☞ 276 ページ

*1　この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

5.2 設定ファイルの概要

5.2.1 設定ファイルの仕様

設定ファイルの仕様は以下のとおりです。

ファイル形式

設定ファイルはプレーンテキスト形式（UTF-8）です。

ファイルサイズ

設定ファイルのサイズは最大120 KBです。複数の設定ファイルを使用する場合は合計で120 KB以下にしてください。

設定ファイルのフォーマット

設定ファイルの各行には、下記の条件があります。

- それぞれの行は「<CR><LF>」で終わる必要があります。
- 1行の長さは「<CR><LF>」を含め最大で537バイトです。
- 以下の行は無視されます。
  - 上限の537バイトを超える行

  - 空白行
  - コメント行（「**#**」で始まる行）

- 設定ファイルの最初の行は、以下の指定文字列（44バイト）で始まるコメント行にする必要があります。
  # Panasonic SIP Phone Standard Format File #
  この文字列を16進数で記述すると以下のようになります。
  23 20 50 61 6E 61 73 6F 6E 69 63 20 53 49 50 20
  50 68 6F 6E 65 20 53 74 61 6E 64 61 72 64 20 46
  6F 72 6D 61 74 20 46 69 6C 65 20 23
- この指定文字列が誤って変更されないように、設定ファイルを以下のコメント行で始めることを推奨します。
  # Panasonic SIP Phone Standard Format File # DO NOT CHANGE THIS LINE!
- 設定ファイルの最後の行は空白行にする必要があります。
- パラメータ行はそれぞれXXX="yyy"という形式で書き込みます（XXX：パラメータ名、yyy：パラメータ値）。値は二重引用符（"）で囲む必要があります。
- 1つのパラメータ行を複数の行に分けて書き込むことはできません。設定ファイルの解析でエラーとなり、プロビジョニングが失敗します。

設定パラメータ

- 本機では複数の電話回線を使用できます。一部のパラメータ値は回線ごとに指定する必要があります。回線1のパラメータを指定するにはパラメータ名にあとに「**_1**」、回線2のパラメータを指定するには「**_2**」、というように接尾辞を付け加えて指定します。
  ボイスメールサーバーにアクセスする電話回線（電話番号）を設定する場合：
  「**VM_NUMBER_1**」：回線1用
  「**VM_NUMBER_2**」：回線2用...
  「**VM_NUMBER_6**」：回線6用

  お知らせ
  - 使用可能な回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。
    - KX-UT123N: 1～2
    - KX-UT136N: 1～4
    - KX-UT248N: 1～6
- パラメータ名の長さは最大で32文字です。
- パラメータ値の長さは二重引用符を除いて最大で500文字です。
- 行の中で空白文字を使うことはできません。ただし、値に空白文字が含まれる場合は例外です。
  例：
  DISPLAY_NAME_1="John Smith"（有効）
  DISPLAY_NAME_1 = "John Smith"（無効）
- 一部のパラメータ値では、「**""**」を指定して空のパラメータ値を設定できます。
  例：
  NTP_ADDR=""
- パラメータには順序はありません。
- 設定ファイル内で同じパラメータを2回以上指定した場合、最初の値が使用されます。

- ユーザーが指定可能なすべての設定は、設定ファイルで指定することができます。すでに適切な値になっているパラメータについては、設定する必要はありません。必要な場合のみパラメータを変更してください。

5.2.2 設定ファイルのパラメータ

5.5 システム設定以降の表で、設定ファイルに書き込める各パラメータについて説明します。表では、それぞれのパラメータのパラメータ名（表のタイトル）、値の形式、説明、指定できる値の範囲、初期値、本機を使用したプログラミング、およびWebプログラミングの参照情報を示します。

パラメータ名

システムであらかじめ決まっているパラメータ名です。この名前は変更できません。

お知らせ

- 特定のパラメータ名は、最後に「**_n**」が付きます。これは、回線ごとに設定可能なことを示します。使用可能な回線番号は、使用している電話機の種類によって異なります。
  - KX-UT123N: 1～2
  - KX-UT136N: 1～4
  - KX-UT248N: 1～6

設定値の形式

パラメータ値は整数型、ブーリアン型、またはテキスト型のいずれかになります。一部のパラメータは、複合形式の値（「カンマ区切りの整数」や「カンマ区切りの文字列」など）になります。

- **整数型**：数値。数字の文字列を使って記述します。前に「-」（マイナス）を付けることもできます。空の文字列は使用できません。
- **ブーリアン型**：「**Y**」または「**N**」
- **テキスト型**：英数字の文字列
  （使用できる文字の詳細については☞ 168 ページ）
- **カンマ区切りの整数**：カンマ区切りの複数の整数
  空白文字は使用できません。
- **カンマ区切りの文字列**：カンマ区切りの複数の文字列
  空白文字は使用できません。

説明

パラメータの詳しい説明です。

設定値

パラメータで許可されている値の範囲です。

初期値

パラメータの初期値（工場出荷値）です。

本機を使用したプログラミングによる設定

本機を使用したプログラミングで該当するパラメータの参照ページです。

Webプログラミングによる設定

Webプログラミングで該当するパラメータの参照ページです。

5.2.3 テキスト型に使用できる文字

「設定値」に条件についての記載がない限り、パラメータ値にはASCII文字のみを使用できます。一部のパラメータ値にはUnicode文字も使用できます。
下記の表に、使用できるASCII文字を示します。背景が白い箇所の文字を使用できます。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	

5.3 設定ファイルの例

5.3.1 コーデック設定の例

コーデック優先度を（1）G.729A、（2）G.726-32、（3）PCMU、（4）G.722に設定する場合

```
## Codec Settings
# Enable G722
CODEC_ENABLE0_1="Y"
CODEC_PRIORITY0_1="4"
# Disable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="N"
# Enable G726-32K
CODEC_ENABLE2_1="Y"
CODEC_PRIORITY2_1="2"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Enable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="Y"
CODEC_PRIORITY4_1="3"
```

ナローバンドコーデック（PCMA、G.726-32、またはG.729A）を設定する場合

```
## Codec Settings
# Disable G722
CODEC_ENABLE0_1="N"
# Enable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="Y"
CODEC_PRIORITY1_1="1"
# Enable G726-32K
CODEC_ENABLE2_1="Y"
CODEC_PRIORITY2_1="1"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Disable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="N"
```

G.729Aコーデックのみを設定する場合

```
## Codec Settings
# Disable G722
CODEC_ENABLE0_1="N"
# Disable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="N"
# Disable G726-32K
CODEC_ENABLE2_1="N"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Disable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="N"
# Do not set PCMU
CODEC_G711_REQ="0"
```

5.3.2 誤った記述の例

次に、誤った記述を含む設定ファイルの例を示します。

❶ 先頭行の記述に誤りがあります。設定ファイルは、先頭に「**# Panasonic SIP Phone Standard Format File #**」という文字列が必要です。

❷ コメント行が行の途中から始まっています。

❸ 設定行内に空白文字が挿入されています。

❹ 設定可能な範囲内で値が指定されていません。

誤った設定ファイルの例

```
# This is a simplified sample configuration file. ❶

############################################################
# Configuration Setting #
############################################################

CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://config.example.com/0123456789AB.cfg"
                                        # URL of this configuration file

############################################################
# SIP Settings #
# Suffix "_1" indicates this parameter is for "line 1". #
############################################################

SIP_RGSTR_ADDR_1="registrar.example.com" # IP Address or FQDN of SIP registrar server ❷
SIP_PRXY_ADDR_1="proxy.example.com"      # IP Address or FQDN of proxy server

# Enables DNS SRV lookup
SIP_DNSSRV_ENA_1="Y"

# ID, password for SIP authentication
SIP_AUTHID_1 = "SIP_User"
SIP_PASS_1 = "SIP_Password"                                    ❸

# Some Timer Settings #
# Expiration time of SIP registration; "1 hour"
REG_EXPIRE_TIME_1="3600"
# Disables SIP Session Timer (RFC 4028)
SIP_SESSION_TIME_1="0"


# DTMF will be sent through SDP, according to RFC 2833
OUTBANDDTMF_1="Y"

############################################################
# Call Control Settings #
############################################################

# Enables subscription to the Voice Mail server
VM_SUBSCRIBE_ENABLE="y"
                    ❹
# Shared Call Settings
SHARED_CALL_ENABLE_1="Y"

# Disables Do Not Disturb, Call Forward synchronization.
FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_1="N"
```

5.4 TR-069を使用した設定ファイルの設定

TR-069（Technical Report 069）はCWMP (CPE [Customer Premises Equipment] WAN Management Protocol)の技術仕様を使用して端末のリモート管理を行うプロトコルです。各端末は、ACS（Auto Configuration Server［自動設定サーバー］）を介して自動的に設定を行うことができます。
TR-069を使用した設定の詳細については☞ 145 ページまたは 193 ページ

お願い

- TR-069を使用して設定する設定項目は、スタンダードファイルでも設定することができます。両方の設定方法を使用する場合は、設定内容が重複しないようにしてください。

TR-069を使用した設定

要件	パラメータ名		参照ページ
	TR-069パラメータ	設定ファイルパラメータ	
TR-106	Device.Time.NTPServer1	**NTP_ADDR**	☞ 209 ページ
TR-106	Device.Time.LocalTimeZone	**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**	☞ 181 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.URL	**ACS_URL**	☞ 193 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.Username	**ACS_USER_ID**	☞ 194 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.Password	**ACS_PASS**	☞ 194 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.PeriodicInformEnable	**PERIODIC_INFORM_ENABLE**	☞ 194 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.PeriodicInformInterval	**PERIODIC_INFORM_INTERVAL**	☞ 194 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.PeriodicInformTime	**PERIODIC_INFORM_TIME**	☞ 195 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.ConnectionRequestUsername	**CON_REQ_USER_ID**	☞ 195 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.ConnectionRequestPassword	**CON_REQ_PASS**	☞ 195 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.STUNEnable	**ANNEX_G_STUN_ENABLE**	☞ 196 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.STUNServerAddress	**ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR**	☞ 196 ページ
TR-106	Device.ManagementServer.STUNServerPort	**ANNEX_G_STUN_SERV_PORT**	☞ 196 ページ

要件	パラメータ名		参照ページ
	TR-069パラメータ	設定ファイルパラメータ	
TR-106	Device.ManagementServ - er.STUNUsername	**ANNEX_G_STUN_USER_ID**	☞ 197 ページ
TR-106	Device.ManagementServ - er.STUNPassword	**ANNEX_G_STUN_PASS**	☞ 197 ページ
TR-106	Device.ManagementServ - er.STUNMaximumKeepAlivePer - iod	**AN-NEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE**	☞ 197 ページ
TR-106	Device.ManagementServ - er.STUNMinimumKeepAlivePer - iod	**AN-NEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE**	☞ 198 ページ
TR-106	Device.ManagementServ - er.UDPConnectionRequestAd - dressNotificationLimit	**UDP_CON_REQ_ADDR_NOTI-FY_LIMIT**	☞ 198 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.Line.1.Codec.List. 1.PacketizationPeriod	**RTP_PTIME**	☞ 242 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.Codec.List. {x}.Enable	**CODEC_ENABLEx_n**	☞ 237 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.Codec.List. {x}.Priority	**CODEC_PRIORITYx_n**	☞ 238 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.RTP.RTCP.TxRepea - tInterval	**RTCP_INTVL_n**	☞ 239 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.RTP.LocalPortMin	**RTP_PORT_MIN**	☞ 241 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.RTP.LocalPortMax	**RTP_PORT_MAX**	☞ 241 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.RTP.DSCPMark	**DSCP_RTP_n**	☞ 239 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.RTP.RTCP.Enable	**RTCP_ENABLE_n**	☞ 242 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Enable	**PROFILE_ENABLEn**	☞ 254 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.DTMFMethod	**OUTBANDDTMF_n**	☞ 243 ページ
		DTMF_RELAY_n	☞ 244 ページ

要件	パラメータ名		参照ページ
	TR-069パラメータ	設定ファイルパラメータ	
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.DigitMap	**DIAL_PLAN_n**	☞ 247 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.RTP.TelephoneEvent - PayloadType	**TELEVENT_PAYLOAD**	☞ 245 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.SIP.AuthUser - Name	**SIP_AUTHID_n**	☞ 255 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.SIP.Auth - Password	**SIP_PASS_n**	☞ 255 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.SIP.URI	**SIP_URI_n**	☞ 254 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.ProxyServer	**SIP_PRXY_ADDR_n**	☞ 256 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.ProxyServerPort	**SIP_PRXY_PORT_n**	☞ 256 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.RegistrarServer	**SIP_RGSTR_ADDR_n**	☞ 256 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.RegistrarServer - Port	**SIP_RGSTR_PORT_n**	☞ 257 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.UserAgentDo - main	**SIP_SVCDOMAIN_n**	☞ 257 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.UserAgentPort	**SIP_SRC_PORT_n**	☞ 255 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.RegisterExpires	**REG_EXPIRE_TIME_n**	☞ 257 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.DSCPMark	**DSCP_SIP_n**	☞ 258 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerT1	**SIP_TIMER_T1_n**	☞ 260 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerT2	**SIP_TIMER_T2_n**	☞ 260 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerT4	**SIP_TIMER_T4_n**	☞ 261 ページ

要件	パラメータ名		参照ページ
	TR-069パラメータ	設定ファイルパラメータ	
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerB	**SIP_TIMER_B_n**	☞ 273 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerD	**SIP_TIMER_D_n**	☞ 273 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerF	**SIP_TIMER_F_n**	☞ 274 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerH	**SIP_TIMER_H_n**	☞ 274 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.TimerJ	**SIP_TIMER_J_n**	☞ 274 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.InviteExpires	**SIP_INVITE_EXPIRE_n**	☞ 264 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.EventSubscribe. {i}.Notifier	**SIP_PRSNC_ADDR_n**	☞ 264 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.EventSubscribe. {i}.NotifierPort	**SIP_PRSNC_PORT_n**	☞ 265 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.EventSubscribe. {i}.ExpireTime	**SUB_RTX_INTVL_n**	☞ 268 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.RegisterRetryIn - terval	**REG_RTX_INTVL_n**	☞ 268 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.OutboundProxy	**SIP_OUTPROXY_ADDR_n**	☞ 270 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.OutboundProxy - Port	**SIP_OUTPROXY_PORT_n**	☞ 270 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.SIP.ProxyServer - Transport	**SIP_TRANSPORT_n**	☞ 271 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.Directory - Number	**PHONE_NUMBER_n**	☞ 253 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.CallingFea - tures.CallerIDName	**DISPLAY_NAME_n**	☞ 246 ページ

要件	パラメータ名		参照ページ
	TR-069パラメータ	設定ファイルパラメータ	
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.CallingFea - tures.CallWaitingEnable	**CW_ENABLE_n**	☞ 249 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.{n}.Line.1.Enable	**LINE_ENABLE_n**	☞ 254 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.ButtonMap.Button. {x}.FacilityAction	**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**	☞ 232 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.ButtonMap.Button. {x}.FacilityActionArgument	**FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx**	☞ 232 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.ButtonMap.Button. {x}.QuickDialNumber	**FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx**	☞ 232 ページ
TR-104	Device.VoiceService.1.Voice - Profile.1.ButtonMap.Button. {x}.ButtonMessage	**FLEX_BUTTON_LABELx**	☞ 233 ページ

5.5 システム設定

5.5.1 アカウント設定

ADMIN_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	管理者アカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するアカウントIDを指定します。
設定値	最大16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く） **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	admin

ADMIN_PASS

設定値の形式	テキスト型

説明	管理者アカウントでwebプログラミングにアクセスする際に使用するパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	adminpass
Webプログラミングによる設定	• 現在のパスワード（☞ 85 ページ） • 新しいパスワード（☞ 85 ページ） • パスワード確認（☞ 85 ページ）

USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	ユーザーアカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するアカウントIDを指定します。
設定値	最大16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く） **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	user

USER_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	ユーザーアカウントでwebプログラミングにアクセスする際に使用するパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列（Webプログラミングへの初回アクセス時まで有効）
Webプログラミングによる設定	• 現在のパスワード（☞ 86 ページ） • 新しいパスワード（☞ 86 ページ） • パスワード確認（☞ 87 ページ）

5.5.2 時刻設定

TIME_ZONE

設定値の形式	整数型
説明	UTC（GMT）からのローカル標準時のオフセットを分単位で指定します。

設定値	-720～780 **お知らせ** • 以下に示す値のみを指定できます。 -720 (GMT -12:00)、-660 (GMT -11:00)、-600 (GMT -10:00)、-540 (GMT -09:00)、-480 (GMT -08:00)、-420 (GMT -07:00)、-360 (GMT -06:00)、-300 (GMT -05:00)、-240 (GMT -04:00)、-210 (GMT -03:30)、-180 (GMT -03:00)、-120 (GMT -02:00)、-60 (GMT -01:00)、0 (GMT)、60 (GMT +01:00)、120 (GMT +02:00)、180 (GMT +03:00)、210 (GMT +03:30)、240 (GMT +04:00)、270 (GMT +04:30)、300 (GMT +05:00)、330 (GMT +05:30)、345 (GMT +05:45)、360 (GMT +06:00)、390 (GMT +06:30)、420 (GMT +07:00)、480 (GMT +08:00)、540 (GMT +09:00)、570 (GMT +09:30)、600 (GMT +10:00)、660 (GMT +11:00)、720 (GMT +12:00)、780 (GMT +13:00) • グリニッジ（0 [GMT]）より西の地域では、負の値を指定します。たとえば、ニューヨーク（米国）の場合、「-300」（GMTより5時間遅れの東部標準時）になります。 • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
初期値	0
Webプログラミングによる設定	タイムゾーン（☞ 89 ページ）

DST_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	サマータイムを有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	• **Y**（サマータイムを有効にします） • **N**（サマータイムを無効にします）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	サマータイム（☞ 90 ページ）

DST_OFFSET

設定値の形式	整数型

説明	「**DST_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合、時刻をずらす長さを分単位で指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	0～720 **お知らせ** • 通常、このパラメータは「60」に設定します。
初期値	60
Webプログラミングによる設定	サマータイムのオフセット（☞ 90 ページ）

DST_START_MONTH

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムを開始する月を指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	1～12
初期値	3
Webプログラミングによる設定	月（☞ 90 ページ）

DST_START_ORDINAL_DAY

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムを開始する週を指定します。開始日は「**DST_START_DAY_OF_WEEK**」で指定します。たとえば、第2日曜日を指定するには、このパラメータを「2」、次に説明するパラメータを「0」に設定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。

設定値	1～5 – 1：1週目 – 2：2週目 – 3：3週目 – 4：4週目 – 5：最終週
初期値	2
Webプログラミングによる設定	週、曜日（☞ 91 ページ）

DST_START_DAY_OF_WEEK

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムを開始する曜日を指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	0～6 – 0: 日曜日 – 1: 月曜日 – 2: 火曜日 – 3: 水曜日 – 4: 木曜日 – 5: 金曜日 – 6: 土曜日
初期値	0
Webプログラミングによる設定	週、曜日（☞ 91 ページ）

DST_START_TIME

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムの開始時刻を分単位で午前0:00以降の時刻で指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	0～1439
初期値	120

Webプログラミングによる設定	時刻（☞ 91 ページ）

DST_STOP_MONTH

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムを終了する月を指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	1～12
初期値	10
Webプログラミングによる設定	月（☞ 92 ページ）

DST_STOP_ORDINAL_DAY

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムを終了する週を指定します。終了日は「**DST_STOP_DAY_OF_WEEK**」で指定します。たとえば、第2日曜日を指定するには、このパラメータを「2」、次に説明するパラメータを「0」に設定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	1～5 – 1：1週目 – 2：2週目 – 3：3週目 – 4：4週目 – 5：最終週
初期値	2
Webプログラミングによる設定	週、曜日（☞ 92 ページ）

DST_STOP_DAY_OF_WEEK

設定値の形式	整数型

説明	サマータイムを終了する曜日を指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	0～6 – 0: 日曜日 – 1: 月曜日 – 2: 火曜日 – 3: 水曜日 – 4: 木曜日 – 5: 金曜日 – 6: 土曜日
初期値	0
Webプログラミングによる設定	週、曜日（☞ 92 ページ）

DST_STOP_TIME

設定値の形式	整数型
説明	サマータイムの終了時刻を分単位で午前0:00以降の時刻で指定します。 **お知らせ** • 「**LOCAL_TIME_ZONE_POSIX**」パラメータが指定されている場合、このパラメータは無効になります。
設定値	0～1439
初期値	120
Webプログラミングによる設定	時刻（☞ 93 ページ）

LOCAL_TIME_ZONE_POSIX

設定値の形式	テキスト型

説明	IEEE 1003.1（POSIX）準拠のローカルタイムゾーンを指定します（例：「EST+5:00:00EDT +4:00:00,M4.1.0/2:00:00,M10.5.0/2:00:00」）。 **お知らせ** • このパラメータを指定すると、次のパラメータは無効になり、このパラメータに基づいて処理が実行されます。 – **TIME_ZONE** – **DST_ENABLE** – **DST_OFFSET** – **DST_START_MONTH** – **DST_START_ORDINAL_DAY** – **DST_START_DAY_OF_WEEK** – **DST_START_TIME** – **DST_STOP_MONTH** – **DST_STOP_ORDINAL_DAY** – **DST_STOP_DAY_OF_WEEK** – **DST_STOP_TIME**
設定値	最大70文字
初期値	空の文字列

5.5.3 Syslog設定

SYSLOG_EVENT_SIP

設定値の形式	整数型
説明	どのSIP関連のsyslogイベントをsyslogサーバーに送信するか指定します。 **お知らせ** • イベントのレベルが設定値以上であれば、ログがsyslogサーバーに送信されます。
設定値	0～6 – 0：ログは送信されません – 1：緊急（最高値） – 2：アラート – 3：重要 – 4：エラー – 5：警告 – 6：情報（最低値）
初期値	0

SYSLOG_EVENT_CFG

設定値の形式	整数型
説明	設定に関するsyslogイベントのしきい値を指定します。
設定値	0～6
初期値	0

SYSLOG_EVENT_VOIP

設定値の形式	整数型
説明	VoIP操作に関するsyslogイベントのしきい値を指定します。
設定値	0～6
初期値	0

SYSLOG_EVENT_TEL

設定値の形式	整数型
説明	電話機能に関するsyslogイベントのしきい値を指定します。 **お知らせ** • この設定は現在のバージョンには適用されません。値1～6を指定してもログはsyslogサーバーに送信されません。
設定値	0～6
初期値	0

SYSLOG_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	syslogサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレスまたはFQDN）
初期値	空の文字列

SYSLOG_PORT

設定値の形式	整数型
説明	syslogサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	514

SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_n

パラメータ名の例	**SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_1**, **SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_2**, ..., **SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTPパケットのサマリー情報をsyslogサーバーに送信する間隔を秒単位で指定します。
設定値	0、5～65535（0：情報は送信されません）
初期値	20

5.5.4 ファームウェアアップデート設定

FIRM_UPGRADE_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機が新しいバージョンのファームウェアを検出したときにファームウェアのアップデートを実行するかどうか指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。 • ローカルバージョンアップ（☞ 141 ページ）は、この設定に関係なく実行できます。 • TR-069を使用したファームウェアアップデートは、この設定に関係なく実行できます。
設定値	• **Y**（ファームウェアのアップデートを有効にします） • **N**（ファームウェアのアップデートを無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	自動バージョンアップ（☞ 140 ページ）

FIRM_VERSION

設定値の形式	テキスト型
説明	本機のファームウェアバージョンを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	00.000～15.999
初期値	空の文字列

FIRM_UPGRADE_AUTO

設定値の形式	ブーリアン型
説明	新しいファームウェアバージョンが検出されたときに、確認メッセージを表示してからファームウェアのアップデートを実行する方法（手動）と、メッセージを表示しないで実行する方法（自動）のいずれかを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**FIRM_UPGRADE_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合に有効となります。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	• **Y**（ファームウェアの自動アップデートを有効にします） • **N**（ファームウェアの自動アップデートを無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	ファームウェア更新方法（☞ 140 ページ）

FIRM_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	ファームウェアファイルが置いてあるURLを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**FIRM_UPGRADE_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合に有効となります。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <scheme>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<scheme>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、「**FIRM_VERSION**」に置き換えられます。このルールは「**SIP_USER_AGENT**」など他のパラメータと異なることに注意してください。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	ファームウェアファイルURL（☞ 141 ページ）

5.5.5 プロビジョニング設定

OPTION66_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機がDHCPサーバーからTFTPサーバーのアドレスまたはFQDNを取得するためにオプション66を使用するかどうかを指定します。 **お知らせ** • 本機は、オプション66で指定したTFTPサーバー（IPアドレス、またはFQDN）から設定ファイルのダウンロードを行います。
設定値	• **Y**（オプション66を有効にします） • **N**（オプション66を無効にします）
初期値	**Y**

OPTION66_REBOOT

設定値の形式	ブーリアン型
説明	DHCPサーバーのオプション66を使ったプレプロビジョニングの完了後、本機を自動的に再起動するかどうかを指定します。プレプロビジョニングの詳細については☞ 32 ページ。
設定値	• **Y**（自動的に再起動します） • **N**（自動的に再起動しません）
初期値	**N**

PROVISION_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	指定されているURLから設定ファイルをダウンロードして本機に設定するかどうかを指定します。 **お知らせ** • TR-069を使用した設定ファイルのダウンロードは、この設定に関係なく実行できます。
設定値	• **Y**（設定ファイルのダウンロードを有効にします） • **N**（設定ファイルのダウンロードを無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	プロビジョニング（☞142 ページ）

CFG_STANDARD_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	スタンダードファイルのURLを指定します。電話機ごとに異なる設定を行うような場合に使用します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <scheme>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<scheme>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「Config{mac}.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://host/dir/Config{mac}.cfg"**になります。
初期値	http://provisioning.e-connecting.net/redirect/conf/{mac}.cfg
Webプログラミングによる設定	スタンダードファイルURL（☞ 143 ページ）

CFG_PRODUCT_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	同じ機種の電話機に同一の設定をする場合に使用するプロダクトファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <scheme>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<scheme>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「{MODEL}.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_PRODUCT_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_PRODUCT_FILE_PATH="http://host/dir/{MODEL}.cfg"**になります。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プロダクトファイルURL（☞ 143 ページ）

CFG_MASTER_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	すべての電話機で同じ設定が必要な場合に使用されるマスターファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <scheme>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<scheme>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「sip.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_MASTER_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_MASTER_FILE_PATH="http://host/dir/sip.cfg"**になります。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	マスターファイルURL（☞ 143 ページ）

CFG_FILE_KEY1

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、拡張子が「.e1c」の設定ファイルを復号するために使用されます。

設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	各電話機に固有のプリセット値が設定されています。

CFG_FILE_KEY2

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、拡張子が「.e2c」の設定ファイルを復号するために使用されます。
設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	空の文字列

CFG_FILE_KEY3

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、拡張子が「.e3c」の設定ファイルを復号するために使用されます。
設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	空の文字列

CFG_FILE_KEY_LENGTH

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルを復号する際に使用する鍵長をビット単位で指定します。

設定値	• 128 • 192 • 256
初期値	128

CFG_CYCLIC

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機が設定ファイルの更新を定期的に確認するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（設定ファイルの定期的な同期を有効にします） • **N**（設定ファイルの定期的な同期を無効にします）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	定期プロビジョニング（☞ 144 ページ）

CFG_CYCLIC_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する間隔を分単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**CFG_CYCLIC**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	1～40320
初期値	10080
Webプログラミングによる設定	定期プロビジョニング間隔（☞ 144 ページ）

CFG_RTRY_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する際にエラーが発生した場合、再び確認するまでの間隔を分単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**CFG_CYCLIC**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	1～1440
初期値	30

CFG_RESYNC_TIME

設定値の形式	テキスト型
説明	本機が設定ファイルの更新を確認するUTC時刻（時間:分）を指定します。
設定値	00:00～23:59 **お知らせ** • この設定に有効な時刻を設定した場合、本機は指定時刻に設定ファイルをダウンロードします。「**CFG_CYCLIC**」、「**CFG_CYCLIC_INTVL**」および「**CFG_RTRY_INTVL**」の設定は無効になります。 • この設定値が空の文字列の場合、設定ファイルはダウンロードされません。
初期値	空の文字列

CFG_RESYNC_FROM_SIP

設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーから本機に送信される「Event」ヘッダーの値を指定します。「Event」ヘッダーが、設定した値と同じNOTIFYを受信すると、本機はプロビジョニングサーバー上の設定ファイルにアクセスします。
設定値	最大１５文字 **お知らせ** • 空の文字列は設定できません。
初期値	check-sync
Webプログラミングによる設定	プロビジョニングSIPイベント名（☞ 144 ページ）

5.5.6 マネジメントサーバー設定

ACS_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	TR-069を使用する場合の、ACS（Auto Configuration Server［自動設定サーバー］）のURLを指定します。 **お知らせ** • 本設定はRFC3986で定義されている有効なHTTPまたはHTTPS URLの形式で指定してください。
設定値	最大256文字

初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	マネジメントサーバーURL（☞ 145 ページ）

ACS_USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	TR-069を使用する場合の、ACSのユーザーIDを指定します。
設定値	最大255文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 145 ページ）

ACS_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	TR-069を使用する場合の、ACSのパスワードを指定します。
設定値	最大255文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 145 ページ）

PERIODIC_INFORM_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	CPE（Customer Premises Equipment）がACSに対して定期的にInformメソッドを送信するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**N**

PERIODIC_INFORM_INTERVAL

設定値の形式	整数型
説明	定期的にInformメソッドを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**PERIODIC_INFORM_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	30～2419200

初期値	86400

PERIODIC_INFORM_TIME

設定値の形式	テキスト型
説明	Informメソッドの定期的な呼び出しを開始する基準時刻（UTC）を指定します。 **お知らせ** • Informメソッドの呼び出しは、この基準時刻に「**PERIODIC_INFORM_INTERVAL**」の整数倍を加減した時刻に行われます。この「**PERIODIC_INFORM_TIME**」パラメータは、Informメソッドの定期呼び出しの「周期」を指定するものであり、実際の開始時刻は、現在より前または後の時刻に自由に設定できます。 たとえば、「**PERIODIC_INFORM_INTERVAL**」を86400（1日）、「**PERIODIC_INFORM_TIME**」を午前零時に設定した場合、Informメソッドの定期呼び出しは、毎日午前零時に発生します。 • 時刻を「unknown time」に設定すると、「0001-01-01T00:00:00Z」を基準に、「**PERIODIC_INFORM_INTERVAL**」間隔でInformメソッドの定期呼出を行います。 NTPサーバから現在時刻を取得できない場合、Informメソッドの呼び出しは、「**PERIODIC_INFORM_TIME**」パラメータを「unknown time」に設定した場合と同じになります。 • UTC以外のタイムゾーンはサポートされていません。
設定値	4～32文字
初期値	0001-01-01T00:00:00Z（unknown time）

CON_REQ_USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	ACSがCPEへの接続要求を行う際、ACSの認証に使用するユーザー名を指定します。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列

CON_REQ_PASS

設定値の形式	テキスト型

説明	ACSがCPEへの接続要求を行う際、ACSの認証に使用するパスワードを指定します。 **お知らせ** • 「**CON_REQ_USER_ID**」が指定されている場合、このフィールドには値の入力が必要です。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列

ANNEX_G_STUN_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	CPEがSTUNを使用するかどうかを指定します。この設定は、UDP接続要求を許可するためにACSと関連付けられたSTUNを使用する場合のみ適応されます。
設定値	• **Y** (有効) • **N** (無効)
初期値	**N**

ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	CPEがバインド要求を送信するためのSTUNサーバーのホスト名またはIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**ANNEX_G_STUN_ENABLE** 」が「 **Y**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • このパラメータに空の文字列を設定し、「**ANNEX_G_STUN_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合は、CPEはACS URLのホスト部から抜き出したACSのアドレスを使用します。
設定値	最大256文字
初期値	空の文字列

ANNEX_G_STUN_SERV_PORT

設定値の形式	整数型

説明	CPEがバインド要求を送信するためのSTUNサーバーのポート番号を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**ANNEX_G_STUN_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	1～65535
初期値	3478

ANNEX_G_STUN_USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	STUNサーバーがメッセージの整合性を要求した場合に、バインド要求に使用されるSTUNユーザー名を指定します。 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合は、CPEはメッセージの整合性が確認されたSTUNバインド要求を送信しません。
設定値	最大２５６文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列

ANNEX_G_STUN_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	STUNサーバーがメッセージの整合性を要求した場合に、バインド要求のメッセージの整合性の計算に使用されるSTUNパスワードを指定します。読み込み時は、実際の設定に関わらずこのパラメータは空の文字列を返します。
設定値	最大２５６文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列

ANNEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE

設定値の形式	整数型

説明	ゲートウェイのバインドを維持するためにCPEがバインド要求を送信する最大時間を秒単位で指定します。この設定は、UDP接続要求を行うアドレスとポートから送信されるバインド要求に適応されます。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**ANNEX_G_STUN_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	1～3600
初期値	300

ANNEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE

設定値の形式	整数型
説明	ゲートウェイのバインドを維持するためにCPEがバインド要求を送信する最小時間を秒単位で指定します。この設定は、UDP接続要求を行うアドレスとポートから送信され「BINDING-CHANGE」属性を含まないバインド要求にのみ適応されます。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**ANNEX_G_STUN_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	1～3600
初期値	30

UDP_CON_REQ_ADDR_NOTIFY_LIMIT

設定値の形式	整数型
説明	Active Notificationが有効な場合に、「UDPConnectionReques - tAddress」の変化を通知する最小時間を秒単位で指定します。
設定値	0～65535
初期値	0

5.6 ネットワーク設定

5.6.1 IP設定

CONNECTION_TYPE

設定値の形式	整数型

説明	IPアドレスの割り振り方法として自動（DHCP接続）または手動（固定IPアドレス接続）のいずれかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	• 1（DHCP接続） • 0（固定IPアドレス接続）
初期値	1
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	接続方式（☞ 69 ページ）

HOST_NAME

設定値の形式	テキスト型
説明	DHCPサーバーに送信する本機のホスト名を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「1」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大63文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。
初期値	{MODEL}
Webプログラミングによる設定	ホスト名（☞ 69 ページ）

DHCP_DNS_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	DNSサーバーのアドレスを自動で取得するか、手動で設定するかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「1」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。

設定値	• **Y**（「**USER_DNS1_ADDR**」、または「**USER_DNS1_ADDR**」および「**USER_DNS2_ADDR**」を使用） • **N**（DNSサーバーのアドレスを自動取得）
初期値	**N**
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	DNSサーバー設定方式（☞ 69 ページ）

STATIC_IP_ADDRESS

設定値の形式	テキスト型
説明	本機のIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「0」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • このパラメータを指定する場合は、「**STATIC_SUBNET**」も設定ファイル内で指定する必要があります。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	IPアドレス（☞ 70 ページ）

STATIC_SUBNET

設定値の形式	テキスト型
説明	本機のサブネットマスクを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「0」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • このパラメータを指定する場合は、「**STATIC_IP_ADDRESS**」も設定ファイル内で指定する必要があります。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	サブネットマスク（☞ 70 ページ）

STATIC_GATEWAY

設定値の形式	テキスト型
説明	本機が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「0」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • このパラメータを指定する場合は、「**STATIC_IP_ADDRESS**」と「**STATIC_SUBNET**」も設定ファイル内で指定する必要があります。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	デフォルトゲートウェイ（☞ 71 ページ）

USER_DNS1_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「0」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	DNSサーバー1（☞ 71 ページ）

USER_DNS2_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**CONNECTION_TYPE**」が「0」に設定され、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 24 ページ）
Webプログラミングによる設定	DNSサーバー2（☞ 71 ページ）

5.6.2 DNS設定

DNS_QRY_PRLL

設定値の形式	ブーリアン型
説明	DNSの問い合わせ方法として、並列または順次のいずれかを指定します。
設定値	• **Y**（並列） • **N**（順次） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、本機はDNSの問い合わせをすべて同時に送信します。本機は最初のDNS応答を受け取り、使用します。 • 「**N**」に設定すると、本機はDNSの問い合わせを順次送信します。 本機はDNSサーバーに対して、事前に定義された時間だけ（5秒）、最も高い優先度でリクエストを送信します。この時間が経過すると、本機は2番目の優先度でDNSサーバーにリクエストを送信します。
初期値	**Y**

DNS_PRIORITY

設定値の形式	ブーリアン型
説明	DNSサーバーの優先度を指定します。

設定値	• **Y**（「**DNS1_ADDR**」と「**DNS2_ADDR**」に最も高い優先度が割り当てられます） • **N**（「**DNS1_ADDR**」と「**DNS2_ADDR**」には優先度が割り当てられません） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、「**DNS1_ADDR**」と「**DNS2_ADDR**」で指定したDNSサーバーに対して最初に問い合わせが実行されます。この問い合わせが失敗すると、ユーザーが自動または手動で設定したDNSサーバーに対して問い合わせが実行されます。 • 「**N**」に設定すると、ユーザーが自動または手動で設定したDNSサーバーに対して最初に問い合わせが実行されます。この問い合わせが失敗すると、「**DNS1_ADDR**」と「**DNS2_ADDR**」で指定したDNSサーバーに対して問い合わせが実行されます。
初期値	**N**

DNS1_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

DNS2_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

5.6.3 イーサポート設定

VLAN_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	VLAN機能を使ってVoIP通信を行うかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」と「**IEEE8021X_ENABLE**（KX-UT248Nのみ）」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。

設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	VLAN（☞ 73 ページ）

VLAN_ID_IP_PHONE

設定値の形式	整数型
説明	本機のVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」と「**IEEE8021X_ENABLE**（KX-UT248Nのみ）」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	1～4094
初期値	2
Webプログラミングによる設定	IP電話 (VLAN ID)（☞ 74 ページ）

VLAN_PRI_IP_PHONE

設定値の形式	整数型
説明	本機の優先度を示す数値を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」と「**IEEE8021X_ENABLE**（KX-UT248Nのみ）」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0～7
初期値	7
Webプログラミングによる設定	IP電話 (優先度)（☞ 74 ページ）

VLAN_ID_PC

設定値の形式	整数型

説明	PCポートのVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」と「**IEEE8021X_ENABLE**（KX-UT248Nのみ）」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	1～4094
初期値	1
Webプログラミングによる設定	PC（VLAN ID）（☞ 74 ページ）

VLAN_PRI_PC

設定値の形式	整数型
説明	PCポートの優先度を示す数値を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」と「**IEEE8021X_ENABLE**（KX-UT248Nのみ）」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0～7
初期値	0
Webプログラミングによる設定	PC（優先度）（☞ 74 ページ）

5.6.4 IEEE802.1X設定（KX-UT248Nのみ）

IEEE8021X_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	IEEE802.1Xプロトコルを使用するかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定は、「**VLAN_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合にのみ有効となります。
設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	IEEE802.1X（☞ 75 ページ）

IEEE8021X_AUTH_PRTCL

設定値の形式	整数型
説明	IEEE802.1Xプロトコルで使用する認証方式を指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**VLAN_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合にのみ有効となります。
設定値	• 1（**PEAP**） • 0（**EAP-MD5**）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	認証プロトコル（☞ 76 ページ）

IEEE8021X_USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	IEEE802.1X認証に必要な認証IDを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**VLAN_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合にのみ有効となります。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 76 ページ）

IEEE8021X_USER_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	IEEE802.1X認証に必要な認証パスワードを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**VLAN_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合にのみ有効となります。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 76 ページ）

5.6.5 HTTP設定

HTTPD_PORTOPEN_AUTO

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機のWebポートを常に開いた状態にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（Webポートを常に開きます） • **N**（Webポートを閉じます。本機を使用したプログラミングにより、一時的に開くことは可能です） **お願い** • 「**Y**」に設定する場合は、Webプログラミングからの不正アクセスが発生する可能性があることを理解したうえで設定を行ってください。さらに、外部ネットワークへの接続やWebプログラミングへのログインで使用されるすべてのパスワードを対象に、完全なセキュリティ措置を講じてください。
初期値	**N**

HTTP_VER

設定値の形式	整数型
説明	HTTP通信で使用するHTTPプロトコルのバージョンを指定します。
設定値	• 1（HTTP 1.0を使用します） • 0（HTTP 1.1を使用します） **お知らせ** • 「1」を指定することを奨励します。HTTP 1.0を使用するとHTTPサーバーの稼働に問題がある場合は、「0」を指定してください。
初期値	1
Webプログラミングによる設定	HTTP バージョン（☞ 77 ページ）

HTTP_USER_AGENT

設定値の形式	テキスト型
説明	HTTPリクエストのヘッダーでユーザーエージェントとして送信する文字列を指定します。

設定値	最大40文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このパラメータに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このパラメータに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
Webプログラミングによる設定	HTTPユーザーエージェント（☞ 77 ページ）

HTTP_SSL_VERIFY

設定値の形式	整数型
説明	ルート証明書の検証を行うかどうかを指定します。
設定値	• 0（ルート証明書の検証を行いません） • 1（ルート証明書の簡易検証を行います） • 2（ルート証明書の厳密な検証を行います） **お知らせ** • 「0」に設定すると、ルート証明書の検証は無効になります。 • 「1」に設定すると、ルート証明書の検証は有効になります。この場合の検証項目には、日付、証明書のチェーン、ルート証明書の確認が含まれます。 • 「2」に設定した場合、厳密な検証が有効になります。この場合、「1」に設定したときの検証項目に加えて、サーバー名が検証の対象になります。 • 本機が現在時刻を取得していない場合、この設定に関係なく、検証は行われません。検証を行うためには、NTPサーバーを設定しておく必要があります。
初期値	0

CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH

設定値の形式	テキスト型

説明	ルート証明書のURIを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更すると、本機の再起動が必要になることがあります。
設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <scheme>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<scheme>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。
初期値	空の文字列

5.6.6 時刻同期設定

NTP_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	NTPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレスまたはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	NTPサーバーアドレス（☞ 89 ページ）

TIME_SYNC_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	NTPサーバーとの時刻同期に失敗した場合のリトライ間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 時刻同期に一度でも成功した後は、時刻同期に失敗しても「**TIME_QUERY_INTVL**」に設定されている間隔で時刻同期します。

設定値	10～86400
初期値	60

TIME_QUERY_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	NTPサーバーと同期する間隔を秒単位で指定します。
設定値	10～86400
初期値	43200
Webプログラミングによる設定	同期間隔（☞ 89 ページ）

5.6.7 STUN設定

STUN_SERV_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	STUNサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレスまたはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	STUNサーバーアドレス（☞ 80 ページ）

STUN_SERV_PORT

設定値の形式	整数型
説明	STUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478
Webプログラミングによる設定	STUNサーバーポート（☞ 80 ページ）

STUN_2NDSERV_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSTUNサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**STUN_SERV_ADDR**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ指定できます。

設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

STUN_2NDSERV_PORT

設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSTUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478

5.6.8 各種ネットワーク設定

NW_SETTING_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機からのネットワーク設定を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • Webプログラミングで5.6.1 IP設定（☞ 198 ページ）のネットワーク設定（「**HOST_NAME**」を除く）を行ったあとで、このパラメータを「**N**」に変更する場合は、Webプログラミングでweb登録情報初期化を実行して変更内容を消去してから、「**N**」に変更してください。
設定値	• **Y**（ネットワーク設定を有効にします） • **N**（ネットワーク設定を無効にします）
初期値	**Y**

CUSTOM_WEB_PAGE

設定値の形式	整数型
説明	ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインした場合に、4.4.1 ネットワーク基本設定（☞ 68 ページ）と4.5.5 時刻同期設定（☞ 88 ページ）の設定を許可するかどうかを指定します。
設定値	0～3 – 0：ネットワーク基本設定と時刻同期設定を許可します – 1：ネットワーク基本設定を許可しません – 2：時刻同期設定を許可しません – 3：ネットワーク基本設定と時刻同期設定を許可しません

初期値	0

5.7 電話設定

5.7.1 呼制御設定

VM_SUBSCRIBE_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	SUBSCRIBEリクエストをボイスメールサーバーに送信するかどうかを指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	• **Y**（SUBSCRIBEリクエストを送信します） • **N**（SUBSCRIBEリクエストを送信しません）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信（☞ 114 ページ）

CONFERENCE_SERVER_URI

設定値の形式	テキスト型
説明	会議サーバーのURIを指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:conference@exam - ple.com）。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「conference」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	会議サーバーURI（☞ 115 ページ）

FIRSTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	電話番号の最初の1桁を入力するまでの時間を秒単位で指定します。この時間を経過すると話中音が流れます。
設定値	1～600
初期値	30

INTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	発信操作時、次の番号を入力するまでの時間を秒単位で指定します。キー入力後、この時間が経過すると、発信します。
設定値	1～15
初期値	5
Webプログラミングによる設定	ダイヤル桁間タイマー（☞ 115 ページ）

MACRODIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	ダイヤルプランの中に「T」または「t」の文字列がある場合のタイマーを秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	5
Webプログラミングによる設定	ダイヤルプランタイマー（☞ 115 ページ）

INTERNATIONAL_ACCESS_CODE

設定値の形式	テキスト型
説明	かかってきた国際電話の番号の先頭に「+」記号が入っている場合に「+」記号の箇所に表示する番号を指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列（「+」は削除されます）
Webプログラミングによる設定	国際番号（☞ 116 ページ）

COUNTRY_CALLING_CODE

設定値の形式	テキスト型
説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルする場合に比較目的で使用する国／地域の電話コードを指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	国番号（☞ 116 ページ）

NATIONAL_ACCESS_CODE

設定値の形式	文字列
説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルするとき、国コードが一致した場合は国コードを削除して国内アクセスコードを追加します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	市内局番（☞ 116 ページ）

DEFAULT_LINE_SELECT

設定値の形式	整数型
説明	ダイヤル操作で回線が指定されていない場合に、発信に使用する回線を指定します。 **お知らせ** • 使用できる回線の数は、使用する電話機の機種によって異なります。
設定値	1～2（KX-UT123N） 1～4（KX-UT136N） 1～6（KX-UT248N）
初期値	1
Webプログラミングによる設定	通常使用する回線番号（☞ 116 ページ）

DATA_LINE_MODE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	データ回線モードでの送受信を有効にするかどうかを指定します。

設定値	• **Y**（データ回線モードを有効にします） • **N**（データ回線モードを無効にします）
初期値	**N**

NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT

設定値の形式	テキスト型
説明	BLF（内線状態表示）ボタンとして設定している内線に着信があった場合に、その着信に代理応答するための特番を指定します。
設定値	最大4文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	内線指定代理応答（☞ 117 ページ）

TALK_PACKAGE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	［Click to Answer］機能と［Click to Retrieve］機能を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • この設定が「**Y**」に設定されている場合は、Allow-Eventsヘッダーに「talk」が追加されます。
設定値	• **Y**（Talk Packageを有効にします） • **N**（Talk Packageを無効にします）
初期値	**N**

HOLD_PACKAGE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	［Click to Hold］機能を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • この設定が「**Y**」に設定されている場合は、Allow-Eventsヘッダーに「hold」が追加されます。
設定値	• **Y**（Hold Packageを有効にします） • **N**（Hold Packageを無効にします）
初期値	**N**

HOLD_RECALL_TIM

設定値の形式	整数型
説明	保留した場合の再呼び出しまでの時間を指定します。「0」に設定するとこの機能は無効になります。
設定値	0～240（0：無効）
初期値	60

AUTO_ANS_RING_TIM

設定値の形式	整数型
説明	自動応答が設定されている場合に、着信後、自動的に通話を開始するまでの秒数を指定します。
設定値	0～15
初期値	5

RINGING_OFF_SETTING_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	着信音をオフにできるかどうかを指定します。無効にした場合、着信音をオフにできません。
設定値	• **Y**（着信音オフ設定を有効にします） • **N**（着信音オフ設定を無効にします）
初期値	**Y**

AUTO_CALL_HOLD

設定値の形式	ブーリアン型
説明	通話中にDN（内線）が設定されたフレキシブルボタンを押したときに、通話を切断するか保留にするかを指定します。
設定値	• **Y**（通話を保留します） • **N**（通話を切断します）
初期値	**N**

REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型

説明	待機中に**【再ダイヤル】**ボタンを押したときに、発信履歴を表示するか再ダイヤルするかを指定します。
設定値	• **Y**（**【再ダイヤル】**ボタンを押すと発信履歴を表示します） • **N**（**【再ダイヤル】**ボタンを押すと最後にかけた電話番号に再ダイヤルします）
初期値	**N**

ONHOOK_TRANSFER_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	オンフック転送を許可するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（オンフック転送を許可します） • **N**（オンフック転送を無効にします）
初期値	**Y**

DISCONNECTION_MODE

設定値の形式	整数型
説明	ダイヤルが失敗した場合に鳴らす音を規制音（ROT）または話中音（BT）に指定します。
設定値	1～2 – 1：モード1（ROT） – 2：モード2（BT）
初期値	1

TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET

設定値の形式	整数型
説明	受話器での通話が終了した後、自動的に待機状態に戻るまでの時間を秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	10

TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE

設定値の形式	整数型

説明	ハンズフリーモードでの通話が終了した後、自動的に待機状態に戻るまでの時間を秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	3

KEY_PAD_TONE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	キーを押したときに音を鳴らすかどうかを選択します。
設定値	• **Y**（キーパッド音を有効にします） • **N**（キーパッド音を無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	ボタン確認音（☞ 133 ページ）

5.7.2 音質設定

DIAL_TONE1_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音1の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 129 ページ）

DIAL_TONE1_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音1の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

DIAL_TONE1_RPT

設定値の形式	整数型
説明	発信音1を繰り返すかどうかを指定します。

設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	0

DIAL_TONE1_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音1のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,0
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 130 ページ）

DIAL_TONE2_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音2の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440

DIAL_TONE2_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音2の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

DIAL_TONE2_RPT

設定値の形式	整数型

説明	発信音2を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	0

DIAL_TONE2_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音2のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,0

DIAL_TONE4_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音４（スタッター式発信音）の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 131 ページ）

DIAL_TONE4_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音4（スタッター式発信音）の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

DIAL_TONE4_RPT

設定値の形式	整数型
説明	発信音4（スタッター式発信音）を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	0

DIAL_TONE4_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音4（スタッター式発信音）のパターンを、最大22個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、560ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	560,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,0
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 132 ページ）

BUSY_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 130 ページ）

BUSY_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	話中音の音量をデシベル単位で指定します。

設定値	-24～6
初期値	0

BUSY_TONE_RPT

設定値の形式	整数型
説明	話中音を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

BUSY_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,500,440
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 130 ページ）

REORDER_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	規制音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 132 ページ）

REORDER_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	規制音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

REORDER_TONE_RPT

設定値の形式	整数型
説明	規制音を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

REORDER_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	規制音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,250,190
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 132 ページ）

RINGBACK_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	呼び出し音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	440,480

Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 131 ページ）

RINGBACK_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	呼び出し音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

RINGBACK_TONE_RPT

設定値の形式	整数型
説明	呼び出し音を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

RINGBACK_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	呼び出し音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを奨励します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	60,2000,3940
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 131 ページ）

HOLD_ALARM_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留アラームの周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。

設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

HOLD_ALARM_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	保留アラームの音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

HOLD_ALARM_RPT

設定値の形式	整数型
説明	保留アラームを繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

HOLD_ALARM_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留アラームのパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	120,14880

CW_TONE1_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中着信音1の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

CW_TONE1_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	話中着信音1の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

CW_TONE1_RPT

設定値の形式	整数型
説明	話中着信音1を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

CW_TONE1_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中着信音1のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	120,120,120,120,120,14400

HOLD_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

HOLD_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	保留音の音量をデシベル単位で指定します。

設定値	-24～6
初期値	0

HOLD_TONE_RPT

設定値の形式	整数型
説明	保留音を繰り返すかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：繰り返しなし – 1：繰り返し
初期値	1

HOLD_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、500ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	500,190,190,190,2890

BELL_CORE_PATTERN1_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	パターンID 1のカデンス（LSSGR：GR-506-CORE「Signaling for Analog Interfaces」14節で定義）を最大8個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～5000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	2000,4000

BELL_CORE_PATTERN2_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	パターンID 2のカデンス（LSSGR：GR-506-CORE「Signaling for Analog Interfaces」14節で定義）を、最大8個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～5000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	800,400,800,4000

BELL_CORE_PATTERN3_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	パターンID 3のカデンス（LSSGR：GR-506-CORE「Signaling for Analog Interfaces」14節で定義）を、最大8個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～5000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	400,200,400,200,800,4000

BELL_CORE_PATTERN4_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	パターンID 4のカデンス（LSSGR：GR-506-CORE「Signaling for Analog Interfaces」14節で定義）を、最大8個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。
設定値	0～5000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	300,200,1000,200,300,4000

BELL_CORE_PATTERN5_TIMING

設定値の形式	整数型
説明	パターンID 5のカデンス（LSSGR：GR-506-CORE「Signaling for Analog Interfaces」14節で定義）を、最大8個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1,オフ1,オン2,オフ2...）。

設定値	0～5000（0：連続音） **お願い** • 1～50の値は設定しないでください。
初期値	500

5.7.3 電話設定

DISPLAY_NAME_REPLACE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	発信者番号が電話帳に保存した番号と一致した場合、その名前を表示するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（表示名の置き換えを有効にします） • **N**（表示名の置き換えを無効にします）
初期値	**Y**

NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT

設定値の形式	整数型
説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最小桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと「**NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT**」の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	7
Webプログラミングによる設定	発信番号を照合する下限桁数（☞ 134 ページ）

NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT

設定値の形式	整数型
説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最大桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと「**NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT**」の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	10
Webプログラミングによる設定	発信番号を照合する上限桁数（☞ 134 ページ）

EXTENSION_PIN

設定値の形式	テキスト型
説明	内線暗証番号を指定します。内線暗証番号は通話履歴と電話帳へのアクセスをロックするために使用します。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
設定値	最大10桁（使用可能な文字：0～9）
初期値	0000000000
Webプログラミングによる設定	内線暗証番号（☞ 133 ページ）

POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	先頭以外に#キーを押した場合に、通常のキーまたは区切り記号のどちらとして処理するかを指定します。
設定値	• **Y**（#をダイヤル終了を示す区切り記号として使用します） • **N**（#を通常のキーとして使用します）
初期値	**Y**

5.7.4 各種電話設定

ADJDATA_GAIN

設定値の形式	テキスト型
説明	30種類の音量レベルのゲインをデシベル単位で指定します。設定は、それぞれ2桁の16進数で示されます。初期値からのゲインを設定ごとに入力してください。変更しない場合は、「00」を指定します。
設定値	06：+6 dB、05：+5 dB、04：+4 dB、03：+3 dB、02：+2 dB、01：+1 dB、00：変更なし、FF：-1 dB、FE：-2 dB、FD：-3 dB、FC：-4 dB、FB：-5 dB、FA：-6 dB

	お知らせ • 30種類の各レベルのゲインを2桁の値で指定するので、合計で60桁になります。変更しない場合も「00」を指定してください。次に、各レベルを桁順（オフセット）に示します。 – 00：ハンドセット送信レベル（ワイドバンド） – 02：ハンドセット送信レベル（ナローバンド） – 04：ハンドセット受信レベル（ワイドバンド） – 06：ハンドセット受信レベル（ナローバンド） – 08：ハンドセット測音レベル（ワイドバンド） – 10：ハンドセット測音レベル（ナローバンド） – 12：EHS送信レベル（ワイドバンド） – 14：EHS送信レベル（ナローバンド） – 16：EHS受信レベル（ワイドバンド） – 18：EHS受信レベル（ナローバンド） – 20：EHS測音レベル（ワイドバンド） – 22：EHS測音レベル（ナローバンド） – 24：ヘッドセット送信レベル（ワイドバンド） – 26：ヘッドセット送信レベル（ナローバンド） – 28：ヘッドセット受信レベル（ワイドバンド） – 30：ヘッドセット受信レベル（ナローバンド） – 32：ヘッドセット測音レベル（ワイドバンド） – 34：ヘッドセット測音レベル（ナローバンド） – 36：予備 – 38：予備 – 40：予備 – 42：予備 – 44：予備 – 46：予備 – 48：SP-PHONE送信レベル（ワイドバンド） – 50：SP-PHONE送信レベル（ナローバンド） – 52：SP-PHONE受信レベル（ワイドバンド） – 54：SP-PHONE受信レベル（ナローバンド） – 56：予備 – 58：着信音音量レベル たとえば、設定ファイルで次の行を指定すると、ハンドセット受信レベル（ワイドバンド）のゲインとして-3デシベルが適用されます。 **ADJDATA_GAIN = "0000FD00...00"** （...は、0が50個に相当します）

初期値	空の文字列

5.7.5 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）

FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx

設定値の形式	テキスト型
説明	フレキシブルボタンに機能を指定します。空の文字列を指定すると、機能は実行されません。 **お知らせ** • このパラメータを指定する場合、「**FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx**」には空の文字列を指定する必要があります。
設定値	以下に示す値のみを指定できます。 **X_PANASONIC_IPTEL_DN**、**X_PANASONIC_IPTEL_HEADSET**、**X_PANASONIC_IPTEL_CONTACT**、**X_PANASONIC_IPTEL_ONE-TOUCH**、**X_PANASONIC_IPTEL_ACD**、**X_PANASONIC_IP-TEL_CALLPARK**、**X_PANASONIC_IPTEL_LINE**
初期値	**X_PANASONIC_IPTEL_DN**
Webプログラミングによる設定	ボタン種別（番号1～24）（☞ 127 ページ）

FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx

設定値の形式	テキスト型
説明	フレキシブルボタンに指定した機能のオプション引数を指定します。詳細については☞ 288 ページ
設定値	最大32文字
初期値	1
Webプログラミングによる設定	ボタン情報（番号1～24）（☞ 128 ページ）

FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx

設定値の形式	テキスト型

説明	フレキシブルボタンに割り当てるクイックダイヤルの発信番号を指定します。 **お知らせ** • この設定はWebプログラミングで指定することはできません。Webプログラミングと設定ファイルプログラミングを組み合わせて設定する場合は、本パラメータではなく、「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**」に「**X_PANASONIC_IPTEL_ONE-TOUCH**」を指定してください。
設定値	最大32文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列

FLEX_BUTTON_LABELx

設定値の形式	テキスト型
説明	フレキシブルボタンを押したときに画面に表示するメッセージを指定します。
設定値	最大10文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。 • KX-UT248Nでは、ここで設定されたボタン名が画面上部にも表示されます。この場合、全角で最大5文字（または半角で最大10文字）まで表示可能です。
初期値	KX-UT136N： なし KX-UT248N： 番号1：1、番号2：2、番号3：3...番号24：24
Webプログラミングによる設定	ボタン名（番号1～24）（☞ 128 ページ）

5.7.6 XMLアプリケーション設定

XML_HTTPD_PORT

設定値の形式	整数型
説明	XMLアプリケーションデータの受信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	6666
Webプログラミングによる設定	XMLアプリケーションポート（☞ 83 ページ）

XMLAPP_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	XMLアプリケーション機能を有効にするかどうかを選択します。
設定値	• **Y**（ポートを開きます。） • **N**（ポートを閉じます。）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	XMLアプリケーション設定（☞ 83 ページ）

XMLAPP_USERID

設定値の形式	テキスト型
説明	XMLアプリケーションサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 83 ページ）

XMLAPP_USERPASS

設定値の形式	テキスト型
説明	XMLアプリケーションサーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大63文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 84 ページ）

XMLAPP_START_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	本機を起動したときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 136 ページ）

XMLAPP_INITIAL_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	本機の設定メニューからXMLアプリケーションを起動したときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 137 ページ）

XMLAPP_INCOMING_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	電話を受けたときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 137 ページ）

XMLAPP_TALKING_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	通話中にXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 137 ページ）

XMLAPP_MAKECALL_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	電話をかけるときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 138 ページ）

XMLAPP_CALLLOG_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	通話履歴を確認するときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 138 ページ）

XMLAPP_IDLING_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	待機中にXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 138 ページ）

XMLAPP_LDAP_URL

設定値の形式	テキスト型
説明	電話帳を確認するときにXMLデータを確認するためにアクセスするURLを指定します。
設定値	最大244文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	URL（☞ 138 ページ）

XMLAPP_LDAP_USERID

設定値の形式	テキスト型
説明	ネットワーク電話帳サーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 139 ページ）

XMLAPP_LDAP_USERPASS

設定値の形式	テキスト型
説明	ネットワーク電話帳サーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 139 ページ）

5.8 VoIP設定

5.8.1 コーデック設定

CODEC_G711_REQ

設定値の形式	整数型
説明	コーデックが「**PCMU**」以外に設定されている場合に、「**PCMU**」をコーデックとして自動設定するかどうかを指定します。
設定値	• 0（「**PCMU**」を設定しません） • 1（「**PCMU**」を設定します）
初期値	1

CODEC_G729_PARAM

設定値の形式	整数型
説明	コーデックが「**G729A**」に設定されている場合に、属性行「a=fmtp:18 annexb=no」をSDPに追加するかどうかを指定します。
設定値	• 0（「a=fmtp:18 annexb=no」を追加しません） • 1（「a=fmtp:18 annexb=no」を追加します）
初期値	0

CODEC_ENABLEx_n

パラメータ名の例	**CODEC_ENABLEx_1**, **CODEC_ENABLEx_2**, ⋯, **CODEC_ENABLEx_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	パラメータリストで指定されたコーデックを有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • パラメータ名の「x」は、変更するコーデックに従って次の値を指定してください。 – **0**：G.722 – **1**：PCMA – **2**：G.726-32 – **3**：G.729A – **4**：PCMU • コーデック設定の例については☞ 168 ページ
設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	• G722（設定）（☞ 111 ページ） • PCMA（設定）（☞ 112 ページ） • G726-32（設定）（☞ 112 ページ） • G729A（設定）（☞ 113 ページ） • PCMU（設定）（☞ 113 ページ）

CODEC_PRIORITYx_n

パラメータ名の例	**CODEC_PRIORITYx_1**, **CODEC_PRIORITYx_2**, …, **CODEC_PRIORITYx_6**
設定値の形式	整数型
説明	コーデックの優先順位を指定します。 **お知らせ** • パラメータ名の「x」は、変更するコーデックに従って次の値を指定してください。 – **0**：G.722 – **1**：PCMA – **2**：G.726-32 – **3**：G.729A – **4**：PCMU • コーデック設定の例については☞ 168 ページ
設定値	1～255

初期値	1
Webプログラミングによる設定	• G722（優先度）（☞ 112 ページ） • PCMA（優先度）（☞ 112 ページ） • G726-32（優先度）（☞ 113 ページ） • G729A（優先度）（☞ 113 ページ） • PCMU（優先度）（☞ 114 ページ）

5.8.2 RTP設定

DSCP_RTP_n

パラメータ名の例	**DSCP_RTP_1**, **DSCP_RTP_2**, ..., **DSCP_RTP_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTPパケットに適用されるDSCP値を指定します。
設定値	0～63
初期値	0
Webプログラミングによる設定	DSCP （RTPパケット）（☞ 108 ページ）

DSCP_RTCP_n

パラメータ名の例	**DSCP_RTCP_1**, **DSCP_RTCP_2**, ..., **DSCP_RTCP_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTCPパケットに適用されるDiffServのDSCPレベルを選択します。
設定値	0～63
初期値	0
Webプログラミングによる設定	DSCP （RTCPパケット）（☞ 108 ページ）

RTCP_INTVL_n

パラメータ名の例	**RTCP_INTVL_1**, **RTCP_INTVL_2**, ..., **RTCP_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTCPパケットの間隔を秒単位で指定します。
設定値	5～65535
初期値	5

Webプログラミングによる設定	RTCP送信間隔（☞ 109 ページ）

MAX_DELAY_n

パラメータ名の例	**MAX_DELAY_1**, **MAX_DELAY_2**, ..., **MAX_DELAY_6**
設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの最大遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	3～50（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**NOM_DELAY**」より大きい値である必要があります。 – 「**MIN_DELAY**」より大きい値である必要があります。 – 「**NOM_DELAY**」は「**MIN_DELAY**」より大きい、または同等の値である必要があります。
初期値	20（x 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	最大遅延（☞ 109 ページ）

MIN_DELAY_n

パラメータ名の例	**MIN_DELAY_1**, **MIN_DELAY_2**, ⋯, **MIN_DELAY_6**
設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの最小遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1または2（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**NOM_DELAY**」より小さい、または同等の値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」より小さい値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」は「**NOM_DELAY**」より大きい値である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	最小遅延（☞ 110 ページ）

NOM_DELAY_n

パラメータ名の例	**NOM_DELAY_1**, **NOM_DELAY_2**, ⋯, **NOM_DELAY_6**

設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの初期遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1～7（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**MIN_DELAY**」より大きい、または同等の値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」より小さい値である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	初期遅延（☞ 110 ページ）

RTP_PORT_MIN

設定値の形式	整数型
説明	本機がRTPパケット用に使用する最小ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号がWebプログラミングの**[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 82 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、外部RTPポートが有効になります。
設定値	1024～48750（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は「**RTP_PORT_MAX**」－400以下である必要があります。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 x チャネル数 x 2 x 10 (端末数)
初期値	16000
Webプログラミングによる設定	RTPポートの最小値（☞ 106 ページ）

RTP_PORT_MAX

設定値の形式	整数型

説明	本機がRTPパケット用に使用する最大ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号がWebプログラミングの**[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 82 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、外部RTPポートが有効になります。
設定値	1424～49150（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は「**RTP_PORT_MIN**」+400以上である必要があります。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 x チャネル数 x 2 x 10 (端末数)
初期値	20000
Webプログラミングによる設定	RTPポートの最大値（☞ 106 ページ）

RTP_PTIME

設定値の形式	整数型
説明	RTPパケットの転送間隔をミリ秒単位で選択します。
設定値	• 20 • 30 • 40
初期値	20
Webプログラミングによる設定	RTP送信間隔（☞ 105 ページ）

RTCP_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RTCP_ENABLE_1**, **RTCP_ENABLE_2**, ⋯, **RTCP_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	RTCP（Real-Time Transport Control Protocol）を有効にするか無効にするか指定します。詳細については、RFC 3550を参照してください。
設定値	• **Y**（RTCPを有効にします） • **N**（RTCPを無効にします）
初期値	**N**

Webプログラミングによる設定	RTCP送信（☞ 109 ページ）

RTCP_SEND_BY_SDP_n

パラメータ名の例	**RTCP_SEND_BY_SDP_1**, **RTCP_SEND_BY_SDP_2**, …, **RTCP_SEND_BY_SDP_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTCP信号をSDP（Session Description Protocol）によって送信するかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：「**RTCP_ENABLE_n**」が有効であれば「**RTCP_INTVL_n**」に指定された値を使用してRTCP信号を送信します。 – 1：SDP属性「a=rtcp:」に指定された値を使用してRTCP信号を送信します。
初期値	0

RTP_CLOSE_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RTP_CLOSE_ENABLE_1**, **RTP_CLOSE_ENABLE_2**, …, **RTP_CLOSE_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	保留時にRTPソケットを閉じる処理を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（RTPのクローズを有効にします） • **N**（RTPのクローズを無効にします）
初期値	**Y**

5.8.3 各種VoIP設定

OUTBANDDTMF_n

パラメータ名の例	**OUTBANDDTMF_1**, **OUTBANDDTMF_2**, …, **OUTBANDDTMF_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	トーン信号を送信する方法を指定します。

設定値	• **Y**（アウトバンド。電話イベントを使用） • **N**（インバンド） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、トーン信号はRFC 2833に従いSDPによって送信されます。 • 「**N**」に設定した場合、トーン信号はRTPストリームにエンコードされます。
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	DTMF方式（☞ 110 ページ）

DTMF_RELAY_n

パラメータ名の例	**DTMF_RELAY_1**, **DTMF_RELAY_2**, …, **DTMF_RELAY_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	トーン信号をSIP INFOメッセージで送信するかどうかを選択します。
設定値	• **Y** • **N** **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、トーン信号はSIP INFOメッセージで送信されます。 • 「**N**」に設定した場合、「**OUTBANDDTMF_n**」で設定した方式が使用されます。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	DTMFリレー（☞ 111 ページ）

OUTBANDDTMF_VOL

設定値の形式	整数型
説明	RFC 2833に従って送信する場合のトーン信号の音量（デシベル［dB］単位）を指定します。
設定値	-63～0
初期値	-5

INBANDDTMF_VOL

設定値の形式	整数型

説明	インバンドトーン信号の音量（デシベル［dB］単位)を指定します。
設定値	-46～0
初期値	-5

TELEVENT_PAYLOAD

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号のRFC 2833ペイロードタイプを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**OUTBANDDTMF_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	96～127
初期値	101
Webプログラミングによる設定	DTMFペイロードタイプ（☞ 107 ページ）

RFC2543_HOLD_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RFC2543_HOLD_ENABLE_1**, **RFC2543_HOLD_ENABLE_2**, ..., **RFC2543_HOLD_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	回線でRFC 2543の通話保留機能を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（RFC 2543の通話保留を有効にします） • **N**（RFC 2543の通話保留を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、通話を保留するために再INVITEメッセージを送信するときに「c=0.0.0.0」構文がSDPに設定されます。 • 「**N**」に設定すると、「c=x.x.x.x」構文がSDPに設定されます。
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	RFC 2543 保留 (c=0.0.0.0)（☞ 111 ページ）

DTMF_SIGNAL_LEN

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号の最小送信時間をミリ秒単位で指定します。
設定値	60～200

初期値	180

DTMF_INTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号の送信間隔をミリ秒単位で指定します。
設定値	60～200
初期値	90

5.9 回線設定

5.9.1 呼制御設定

DISPLAY_NAME_n

パラメータ名の例	**DISPLAY_NAME_1**, **DISPLAY_NAME_2**, ⋯, **DISPLAY_NAME_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	電話をかけるときに相手の電話機に発信者として表示する名前を指定します。
設定値	最大24文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	ディスプレイネーム（☞ 119 ページ）

VM_NUMBER_n

パラメータ名の例	**VM_NUMBER_1**, **VM_NUMBER_2**, ..., **VM_NUMBER_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ボイスメールサーバーにアクセスするために使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	最大32文字
初期値	空の文字列

Webプログラミングによる設定	ボイスメールアクセス番号（☞ 120 ページ）

DIAL_PLAN_n

パラメータ名の例	**DIAL_PLAN_1**, **DIAL_PLAN_2**, ..., **DIAL_PLAN_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ダイヤル可能な番号や発信時の処理方法を制御するダイヤル形式（電話番号など）を指定します。 詳細については☞ 285 ページ
設定値	最大500文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	番号計画 （最大500文字）（☞ 122 ページ）

DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n

パラメータ名の例	**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_1**, **DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_2**, ..., **DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	ダイヤルプランのフィルタ処理を有効にするかどうかを指定します。有効にすると、ダイヤルした番号が「**DIAL_PLAN_n**」で指定されたダイヤル形式のいずれとも一致しない場合、その番号には発信されません。
設定値	• **Y**（ダイヤルプランのフィルタ処理を有効にします） • **N**（ダイヤルプランのフィルタ処理を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、ダイヤルした番号がダイヤルプランで指定されているダイヤル形式と一致しない場合には発信しません。 • 「**N**」に設定すると、ダイヤルした番号がダイヤルプランで指定されているダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	番号計画不一致時に発信（☞ 122 ページ）

SHARED_CALL_ENABLE_n

パラメータ名の例	**SHARED_CALL_ENABLE_1**, **SHARED_CALL_ENABLE_2**, ..., **SHARED_CALL_ENABLE_6**

設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPサーバーの共用回線機能を有効にするかどうかを指定します。共用回線は、1回線を複数の電話機で共用する機能です。 **お知らせ** • 「**SHARED_CALL_ENABLE_n**」と「**FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n**」の両方を「**Y**」に設定することはできません。 • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。
設定値	• **Y**（共用回線として使用します） • **N**（通常回線として使用します） **お知らせ** • 「**Y**」を設定した場合、SIPサーバーは、共用回線の信号送出方法で回線を制御します。 • 「**N**」を設定した場合、SIPサーバーは、標準の信号送出方法で回線を制御します。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	シェアードコール（☞ 120 ページ）

FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n

パラメータ名の例	**FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_1**, **FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_2**, ..., **FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	Webプログラミングまたは本機を使用したプログラミングで行った不在転送と不在設定の設定を、ポータルサーバーと本機で同期するかどうかを指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがこの機能をサポートしていない場合、「**Y**」を指定しても正しく動作しないことがあります。 • 「**SHARED_CALL_ENABLE_n**」と「**FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n**」の両方を「**Y**」に設定することはできません。
設定値	• **Y**（不在転送と不在設定の同期を有効にします） • **N**（不在転送と不在設定の同期を無効にします）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	着信拒否／不在転送同期（☞ 121 ページ）

RESOURCELIST_URI_n

パラメータ名の例	**RESOURCELIST_URI_1**, **RESOURCELIST_URI_2**,..., **RESOURCELIST_URI_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	リソースリストのURI（Uniform Resource Identifier）文字列を指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」　記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。詳細については、RFC 4662を参照してください。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • フレキシブルボタンにBLF（内線状態表示）機能を設定している場合は、お使いのSIPサーバーによっては本設定を行う必要があります。 フレキシブルボタンの詳細については☞ 288 ページ
設定値	最大195文字（(「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く)）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	リソースリストURI（☞ 121 ページ）

CW_ENABLE_n

パラメータ名の例	**CW_ENABLE_1**, **CW_ENABLE_2**, ..., **CW_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	話中着信を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（話中着信を有効にします） • **N**（話中着信を無効にします）
初期値	**Y**

RETURN_VOL_SET_DEFAULT_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	通話後に、音量を初期値に戻すかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（通話後に音量を初期値に戻します） • **N**（通話後に音量を変更しません）
初期値	**N**

FLASH_RECALL_TERMINATE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	通話中のフックボタンの機能を選択します。
設定値	• **Y**（切断） • **N**（再捕捉）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	フラッシュ動作（切断＆再捕捉）（☞ 117 ページ）

FLASHHOOK_CONTENT_TYPE

設定値の形式	テキスト型
説明	フックフラッシュイベント送信時に送信する信号の種類を指定します。
設定値	• **Signal** • **flashhook**
初期値	**Signal**
Webプログラミングによる設定	フラッシュ再捕捉イベント（☞ 117 ページ）

VOICE_MESSAGE_AVAILABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	「Messages-Waiting: yes」メッセージを受けたときに新着のボイスメールがあると判断する条件を指定します。
設定値	• **Y**（「Voice-Message」 付きの「Messages-Waiting: yes」を受けたときメッセージありと判断します） • **N**（「Voice-Message」 がない「Messages-Waiting: yes」を受けてもメッセージありと判断します）
初期値	**Y**

HOLD_SOUND_PATH_n

パラメータ名の例	**HOLD_SOUND_PATH_1**, **HOLD_SOUND_PATH_2**, …, **HOLD_SOUND_PATH_6**
設定値の形式	整数型

説明	被保留時に、端末側の保留音を鳴らすか、ネットワークサーバー側の保留音をならすかどうかを指定します。 **お知らせ** • 端末側の保留音を鳴らすには以下の設定を行う必要があります。 – **HOLD_TONE_FRQ** – **HOLD_TONE_GAIN** – **HOLD_TONE_RPT** – **HOLD_TONE_TIMING**
設定値	0～1 – 0：端末側の保留音を鳴らします。 – 1：ネットワークサーバー側の保留音を鳴らします。
初期値	0

CALLPARK_KEY_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	ソフトキーに パーク保留 を表示するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（表示します） • **N**（表示しません）
初期値	**N**

CALLPARK_AREAKEY_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	Webプログラミングの機能ボタン設定で、ボタン種別に**［コールパーク］**を表示するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（表示します） • **N**（表示しません）
初期値	**N**

CALLPARK_METHOD

設定値の形式	整数型
説明	コールパークの制御方式を指定します。 **お知らせ** • この設定を変更すると、本機は自動的に再起動します。

設定値	0～2 – 0：— – 1：INFOメッセージ送信 – 2：転送方式 **お知らせ** • 「0」に設定するとコールパークが動作しません。お使いのSIPサーバーの仕様に合わせて、設定値に「1」または「2」を指定してください。
初期値	0

NUM_PLAN_PARKING

設定値の形式	テキスト型
説明	コールパーク機能のパーク保留を行うための特番を指定します。
設定値	最大4文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列

NUM_PLAN_PARK_AREA

設定値の形式	テキスト型
説明	コールパーク機能のパークエリア（番号）に、パーク保留やパーク保留解除を行うための特番を指定します。
設定値	最大4文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列

LINEKEY_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	Webプログラミングの機能ボタン設定で、ボタン種別に**［ライン］**を表示するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（表示します） • **N**（表示しません）
初期値	**N**

DDI_ICD_GROUP_DISPLAY

設定値の形式	整数型

説明	着信画面で表示する着信情報を指定します。
設定値	0～3 – 0：発信者情報のみ表示します。 – 1：発信者情報を優先的に表示します。 – 2：着信先情報を優先的に表示します。 – 3：着信者情報のみ表示します。
初期値	1

5.9.2 SIP設定

SIP_USER_AGENT

設定値の形式	テキスト型
説明	SIPメッセージの「User-Agent」ヘッダーで送信する文字列を指定します。
設定値	最大40文字 **お知らせ** • 空の文字列は使用できません。 • このパラメータに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このパラメータに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
Webプログラミングによる設定	SIPユーザーエージェント（☞ 94 ページ）

PHONE_NUMBER_n

パラメータ名の例	**PHONE_NUMBER_1**, **PHONE_NUMBER_2**, …, **PHONE_NUMBER_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIP登録サーバーへの登録に必要なユーザーIDとして使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • 電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合は、「**SIP_URI_n**」の設定を使用してください。

設定値	最大32文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	電話番号（☞ 95 ページ）

SIP_URI_n

パラメータ名の例	**SIP_URI_1**, **SIP_URI_2**, …, **SIP_URI_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIP登録サーバーで使用する固有のIDを指定します。 IDは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。 **お知らせ** • この設定が必要になるのは、電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合です。 • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	SIP URI（☞ 96 ページ）

LINE_ENABLE_n

パラメータ名の例	**LINE_ENABLE_1**, **LINE_ENABLE_2**, …, **LINE_ENABLE_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	回線を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータを有効に設定しても、「**PROFILE_ENABLEn**」パラメータが無効の場合、回線は無効になります。
設定値	• **Disabled** • **Enabled**
初期値	**Enabled**

PROFILE_ENABLEn

パラメータ名の例	**PROFILE_ENABLE1**, **PROFILE_ENABLE2**, …, **PROFILE_ENABLE6**
設定値の形式	テキスト型

説明	回線を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータを有効に設定しても、「**LINE_ENABLE_n**」パラメータが無効の場合、回線は無効になります。
設定値	• **Disabled** • **Enabled**
初期値	**Enabled**

SIP_AUTHID_n

パラメータ名の例	**SIP_AUTHID_1**, **SIP_AUTHID_2**, ..., **SIP_AUTHID_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 99 ページ）

SIP_PASS_n

パラメータ名の例	**SIP_PASS_1**, **SIP_PASS_2**, ..., **SIP_PASS_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大127文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 99 ページ）

SIP_SRC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_SRC_PORT_1**, **SIP_SRC_PORT_2**, ..., **SIP_SRC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	本機がSIP通信に使用する送信元ポート番号を指定します。
設定値	1024～49151 **お知らせ** • それぞれの回線に固有のSIPポート番号を指定する必要があります。

初期値	5060（**SIP_SRC_PORT_1**） 5070（**SIP_SRC_PORT_2**） 5080（**SIP_SRC_PORT_3**） 5090（**SIP_SRC_PORT_4**） 5100（**SIP_SRC_PORT_5**） 5110（**SIP_SRC_PORT_6**）
Webプログラミングによる設定	SIPポート（☞ 98 ページ）

SIP_PRXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_PRXY_ADDR_1**, **SIP_PRXY_ADDR_2**, ..., **SIP_PRXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プロキシサーバーアドレス（☞ 96 ページ）

SIP_PRXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_PRXY_PORT_1**, **SIP_PRXY_PORT_2**, ..., **SIP_PRXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	プロキシサーバーポート（☞ 97 ページ）

SIP_RGSTR_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_RGSTR_ADDR_1**, **SIP_RGSTR_ADDR_2**, ..., **SIP_RGSTR_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIP登録サーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（(ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN)）
初期値	空の文字列

Webプログラミングによる設定	レジストラサーバーアドレス（☞ 96 ページ）

SIP_RGSTR_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_RGSTR_PORT_1**, **SIP_RGSTR_PORT_2**, ..., **SIP_RGSTR_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	レジストラサーバーポート（☞ 96 ページ）

SIP_SVCDOMAIN_n

パラメータ名の例	**SIP_SVCDOMAIN_1**, **SIP_SVCDOMAIN_2**, ..., **SIP_SVCDOMAIN_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ドメイン名を指定します。ドメイン名とは、SIP URIの「@」記号以降の部分です。
設定値	最大127文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	サービスドメイン（☞ 98 ページ）

REG_EXPIRE_TIME_n

パラメータ名の例	**REG_EXPIRE_TIME_1**, **REG_EXPIRE_TIME_2**, ..., **REG_EXPIRE_TIME_6**
設定値の形式	整数型
説明	登録が有効な期間を秒単位で指定します。この値はREGISTERリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	1～4294967295
初期値	3600

REG_INTERVAL_RATE_n

パラメータ名の例	**REG_INTERVAL_RATE_1**, **REG_INTERVAL_RATE_2**, ..., **REG_INTERVAL_RATE_6**

設定値の形式	整数型
説明	新しいREGISTERメッセージを送信して同じダイアログで登録を更新するまでの「expires」値の割合を、パーセント単位で指定します。
設定値	1～100
初期値	90

SIP_SESSION_TIME_n

パラメータ名の例	**SIP_SESSION_TIME_1**, **SIP_SESSION_TIME_2**, …, **SIP_SESSION_TIME_6**
設定値の形式	整数型
説明	繰り返しリクエストを送っても応答がない場合に、本機がSIPセッションを切断するまでに待機する時間の長さを秒単位で指定します。詳細については、RFC 4028を参照してください。
設定値	0、60～65535（0：無効）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	セッションタイマー （RFC 4028）（☞ 104 ページ）

SIP_SESSION_METHOD_n

パラメータ名の例	**SIP_SESSION_METHOD_1**, **SIP_SESSION_METHOD_2**, …, **SIP_SESSION_METHOD_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPセッションの更新方法を選択します。
設定値	0～2 – 0：reINVITE – 1：UPDATE – 2：AUTO
初期値	0

DSCP_SIP_n

パラメータ名の例	**DSCP_SIP_1**, **DSCP_SIP_2**, …, **DSCP_SIP_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPパケットに適用されるDSCP値を選択します。
設定値	0～63

初期値	0
Webプログラミングによる設定	DSCP （SIPパケット）（☞ 103 ページ）

SIP_2NDPROXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPROXY_ADDR_1**, **SIP_2NDPROXY_ADDR_2**, …, **SIP_2NDPROXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSIPプロキシサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_PRXY_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ使用できます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDPROXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPROXY_PORT_1**, **SIP_2NDPROXY_PORT_2**, …, **SIP_2NDPROXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

SIP_2NDRGSTR_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDRGSTR_ADDR_1**, **SIP_2NDRGSTR_ADDR_2**, …, **SIP_2NDRGSTR_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSIP登録サーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_RGSTR_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ使用できます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDRGSTR_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDRGSTR_PORT_1**, **SIP_2NDRGSTR_PORT_2**, …, **SIP_2NDRGSTR_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

SIP_TIMER_T1_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T1_1**, **SIP_TIMER_T1_2**, …, **SIP_TIMER_T1_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージのデフォルト転送間隔をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 250 • 500 • 1000 • 2000 • 4000
初期値	500
Webプログラミングによる設定	T1タイマー（☞ 101 ページ）

SIP_TIMER_T2_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T2_1**, **SIP_TIMER_T2_2**, …, **SIP_TIMER_T2_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージの最大転送間隔を秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 2 • 4 • 8 • 16 • 32
初期値	4
Webプログラミングによる設定	T2タイマー（☞ 101 ページ）

SIP_TIMER_T4_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T4_1**, **SIP_TIMER_T4_2**, …, **SIP_TIMER_T4_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージをネットワーク上に保存する最大期間を秒単位で指定します。
設定値	• 0 • 1 • 2 • 3 • 4 • 5
初期値	0

SIP_FOVR_NORSP_n

パラメータ名の例	**SIP_FOVR_NORSP_1**, **SIP_FOVR_NORSP_2**, …, **SIP_FOVR_NORSP_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPサーバーがSIPメッセージに応答していないことが検出された場合に、フェイルオーバー処理を実行するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（フェイルオーバーを有効にします） • **N**（フェイルオーバーを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はDNS SRVレコードおよびAレコードに基づいて、他のSIPサーバーへの切り替えを試行します。 • 「**N**」に設定した場合、本機は他のSIPサーバーを使用しません。
初期値	**Y**

SIP_FOVR_MAX_n

パラメータ名の例	**SIP_FOVR_MAX_1**, **SIP_FOVR_MAX_2**, …, **SIP_FOVR_MAX_6**
設定値の形式	整数型
説明	フェイルオーバー処理で使用するサーバーの最大数を指定します（最初のサーバー（通常使用するサーバー）を含む）。
設定値	1～4

初期値	2

SIP_REFRESHER_n

パラメータ名の例	**SIP_REFRESHER_1**, **SIP_REFRESHER_2**, …, **SIP_REFRESHER_6**
設定値の形式	整数型
説明	INVITEリクエストのセッション有効期限に更新パラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	0～2 – 0: 追加しません。 – 1: UAS – 2: UAC
初期値	0

SIP_DNSSRV_ENA_n

パラメータ名の例	**SIP_DNSSRV_ENA_1**, **SIP_DNSSRV_ENA_2**, …, **SIP_DNSSRV_ENA_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SRVレコードを使ってドメイン名をIPアドレスに変換するようDNSサーバーに要求するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（DNS SRVルックアップを有効にします） • **N**（DNS SRVルックアップを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップを行います。 • 「**N**」に設定すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップは行いません。
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	DNS SRV（☞ 99 ページ）

SIP_UDP_SRV_PREFIX_n

パラメータ名の例	**SIP_UDP_SRV_PREFIX_1**, **SIP_UDP_SRV_PREFIX_2**, …, **SIP_UDP_SRV_PREFIX_6**

設定値の形式	テキスト型
説明	UDPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_DNSSRV_ENA_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._udp.
Webプログラミングによる設定	UDP用SRVプリフィックス（☞ 100 ページ）

SIP_TCP_SRV_PREFIX_n

パラメータ名の例	**SIP_TCP_SRV_PREFIX_1**, **SIP_TCP_SRV_PREFIX_2**, …, **SIP_TCP_SRV_PREFIX_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	TCPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_DNSSRV_ENA_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._tcp.
Webプログラミングによる設定	TCP用SRVプリフィックス（☞ 100 ページ）

SIP_100REL_ENABLE_n

パラメータ名の例	**SIP_100REL_ENABLE_1**, **SIP_100REL_ENABLE_2**, …, **SIP_100REL_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーにオプションタグ100relを追加するかどうかを指定します。詳細については、RFC 3262を参照してください。

設定値	• **Y**（100rel機能を有効にします） • **N**（100rel機能を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、Reliability of Provisional Responses機能が有効になります。オプションタグ100relは、INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーと、「1xx」暫定応答メッセージの「Require」ヘッダーに追加されます。 • 「**N**」に設定した場合、オプションタグ100relは使用されません。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	100rel （RFC 3262）（☞ 103 ページ）

SIP_INVITE_EXPIRE_n

パラメータ名の例	**SIP_INVITE_EXPIRE_1**, **SIP_INVITE_EXPIRE_2**, …, **SIP_INVITE_EXPIRE_6**
設定値の形式	整数型
説明	INVITEメッセージが有効な期間を秒単位で指定します。この値はINVITEリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	0、60～65535（0：無効）
初期値	0

SIP_18X_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**SIP_18X_RTX_INTVL_1**, **SIP_18X_RTX_INTVL_2**, …, **SIP_18X_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	「18x」応答の再送信間隔を秒単位で指定します。
設定値	0、1～600（0：無効）
初期値	0

SIP_PRSNC_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_PRSNC_ADDR_1**, **SIP_PRSNC_ADDR_2**, …, **SIP_PRSNC_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPプレゼンスサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。

設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プレゼンスサーバーアドレス（☞ 97 ページ）

SIP_PRSNC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_PRSNC_PORT_1**, **SIP_PRSNC_PORT_2**, …, **SIP_PRSNC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	プレゼンスサーバーポート（☞ 97 ページ）

SIP_2NDPRSNC_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPRSNC_ADDR_1**, **SIP_2NDPRSNC_ADDR_2**, …, **SIP_2NDPRSNC_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリプレゼンスサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_PRSNC_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ行うことができます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDPRSNC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPRSNC_PORT_1**, **SIP_2NDPRSNC_PORT_2**, …, **SIP_2NDPRSNC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

USE_DEL_REG_OPEN_n

パラメータ名の例	**USE_DEL_REG_OPEN_1**, **USE_DEL_REG_OPEN_2**, …, **USE_DEL_REG_OPEN_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機の電源を入れたときなどに登録前のキャンセルを許可するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（登録前のキャンセルを許可します） • **N**（登録前のキャンセルを禁止します）
初期値	**N**

USE_DEL_REG_CLOSE_n

パラメータ名の例	**USE_DEL_REG_CLOSE_1**, **USE_DEL_REG_CLOSE_2**, …, **USE_DEL_REG_CLOSE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	設定変更時などに、SIP機能停止前に登録のキャンセルを許可するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（停止前の登録のキャンセルを許可します） • **N**（停止前の登録のキャンセルを禁止します） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、登録のキャンセルが可能になります。 • 「**N**」に設定すると、SIPスタックが停止している場合でも、登録のキャンセルは禁止されます。
初期値	**N**

PORT_PUNCH_INTVL_n

パラメータ名の例	**PORT_PUNCH_INTVL_1**, **PORT_PUNCH_INTVL_2**, …, **PORT_PUNCH_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	NATのバインド情報を保持するために本機にキープアライブパケットを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_TRANSPORT_n**」が「0」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0、10～300（0：無効）

初期値	0
Webプログラミングによる設定	キープアライブ間隔（☞ 104 ページ）

SIP_ADD_RPORT_n

パラメータ名の例	**SIP_ADD_RPORT_1**, **SIP_ADD_RPORT_2**, …, **SIP_ADD_RPORT_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	「via」ヘッダーに「rport」パラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（rport（RFC 3581）を追加します） • **N**（rport（RFC 3581）を追加しません）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	Rport （RFC 3581）（☞ 104 ページ）

SIP_REQURI_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_REQURI_PORT_1**, **SIP_REQURI_PORT_2**, …, **SIP_REQURI_PORT_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	最初のSIPリクエストのリクエスト行にportパラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（portパラメータを追加します） • **N**（portパラメータを追加しません） **お知らせ** • REGISTERリクエストのリクエストURIの例： – 「**Y**」に設定すると、リクエスト行にportパラメータが追加されます。 リクエスト行：REGISTER sip:192.168.0.10:5060 SIP/2.0 – 「**N**」に設定すると、リクエスト行にportパラメータは追加されません。 リクエスト行：REGISTER sip:192.168.0.10 SIP/2.0
初期値	**Y**

SIP_SUBS_EXPIRE_n

パラメータ名の例	**SIP_SUBS_EXPIRE_1**, **SIP_SUBS_EXPIRE_2**, …, **SIP_SUBS_EXPIRE_6**
設定値の形式	整数型
説明	サブスクリプションが有効な期間を秒単位で指定します。この値はSUBSCRIBEリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	1～4294967295
初期値	3600

SUB_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**SUB_RTX_INTVL_1**, **SUB_RTX_INTVL_2**, …, **SUB_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	サブスクリプションが失敗した場合（サーバー応答なし、またはエラー応答の場合）にSUBSCRIBEリクエストを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 「403 Forbidden」応答を受けた場合、送信は行われません。
設定値	10～86400
初期値	10

REG_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**REG_RTX_INTVL_1**, **REG_RTX_INTVL_2**, …, **REG_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	登録が失敗した場合（サーバー応答なし、またはエラー応答の場合）にREGISTERリクエストを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 「403 Forbidden」応答を受けた場合、送信は行われません。
設定値	10～86400
初期値	10

SIP_P_PREFERRED_ID_n

パラメータ名の例	**SIP_P_PREFERRED_ID_1**, **SIP_P_PREFERRED_ID_2**, …, **SIP_P_PREFERRED_ID_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	SIPメッセージに「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加します） • **N**（「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

SIP_PRIVACY_n

パラメータ名の例	**SIP_PRIVACY_1**, **SIP_PRIVACY_2**, ..., **SIP_PRIVACY_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPメッセージに「Privacy」ヘッダーを追加するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「Privacy」ヘッダーを追加します） • **N**（「Privacy」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

ADD_USER_PHONE_n

パラメータ名の例	**ADD_USER_PHONE_1**, **ADD_USER_PHONE_2**, ..., **ADD_USER_PHONE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPメッセージのSIP URIに「user=phone」を追加するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「user=phone」を追加します） • **N**（「user=phone」を追加しません） **お知らせ** • SIP URIの例： – 「**sip:1111@tokyo.example.com;user=phone**」（「**Y**」に設定した場合） – 「**sip:1111@tokyo.example.com**」（「**N**」に設定した場合）
初期値	**N**

SDP_USER_ID_n

パラメータ名の例	**SDP_USER_ID_1**, **SDP_USER_ID_2**, ⋯, **SDP_USER_ID_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	SDPの「o=」行フィールドで使用するユーザーIDを指定します。
設定値	最大32文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	-

SUB_INTERVAL_RATE_n

パラメータ名の例	**SUB_INTERVAL_RATE_1**, **SUB_INTERVAL_RATE_2**, …, **SUB_INTERVAL_RATE_6**
設定値の形式	整数型
説明	新しいSUBSCRIBEメッセージを送信して同じダイアログでサブスクリプションを更新するまでの「expires」値の割合を、パーセント単位で指定します。
設定値	1～100
初期値	90

SIP_OUTPROXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_OUTPROXY_ADDR_1**, **SIP_OUTPROXY_ADDR_2**, …, **SIP_OUTPROXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	アウトバウンドプロキシサーバーアドレス（☞ 97 ページ）

SIP_OUTPROXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_OUTPROXY_PORT_1**, **SIP_OUTPROXY_PORT_2**, …, **SIP_OUTPROXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	アウトバウンドプロキシサーバーポート（☞ 98 ページ）

SIP_TRANSPORT_n

パラメータ名の例	**SIP_TRANSPORT_1**, **SIP_TRANSPORT_2**, …, **SIP_TRANSPORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPパケットの送信に使用するトランスポート層プロトコルを指定します。
設定値	• 0（UDP） • 1（TCP）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	トランスポートプロトコル（☞ 101 ページ）

SIP_ANM_DISPNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_DISPNAME_1**, **SIP_ANM_DISPNAME_2**, …, **SIP_ANM_DISPNAME_6**
設定値の形式	整数型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーに表示名として設定するテキスト文字列を指定します。
設定値	• 0（通常の表示名を使用します） • 1（「Anonymous」という表示名を使用します） • 2（表示名を送信しません）
初期値	1

SIP_ANM_USERNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_USERNAME_1**, **SIP_ANM_USERNAME_2**, …, **SIP_ANM_USERNAME_6**
設定値の形式	整数型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーにユーザー名として設定するテキスト文字列を指定します。
設定値	• 0（通常のユーザー名を使用します） • 1（「anonymous」というユーザー名を使用します） • 2（ユーザー名を送信しません）
初期値	0

SIP_ANM_HOSTNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_HOSTNAME_1**, **SIP_ANM_HOSTNAME_2**, …, **SIP_ANM_HOSTNAME_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーに匿名のホスト名を設定するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「anonymous.invalid」というホスト名を使用します） • **N**（通常のホスト名を使用します）
初期値	**N**

SIP_DETECT_SSAF_n

パラメータ名の例	**SIP_DETECT_SSAF_1**, **SIP_DETECT_SSAF_2**, …, **SIP_DETECT_SSAF_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）でSSAF（SIP Source Address Filter）を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（SSAFを有効にします） • **N**（SSAFを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、本機はSIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）に保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージのみを受信し、他のアドレスからのSIPメッセージは受信しません。ただし、「**SIP_OUTPROXY_ADDR_n**」（☞ 270 ページ）が指定されている場合、SIPアウトバウンドプロキシサーバーに保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージも受信します。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	SIPソースアドレスフィルター（☞ 104 ページ）

SIP_RCV_DET_HEADER_n

パラメータ名の例	**SIP_RCV_DET_HEADER_1**, **SIP_RCV_DET_HEADER_2**, …, **SIP_RCV_DET_HEADER_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	誤ったSIP URIを含むINVITEメッセージを受信したときに、「To」ヘッダーにあるSIP URIのユーザー名部を確認するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（ユーザー名を確認します） • **N**（ユーザー名を確認しません） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はINVITEメッセージを受信したときにエラー応答を送信します。 • 「**N**」に設定した場合、本機は「To」ヘッダーにあるSIP URIのユーザー名部は確認しません。
初期値	**N**

SIP_CONTACT_ON_ACK_n

パラメータ名の例	**SIP_CONTACT_ON_ACK_1**, **SIP_CONTACT_ON_ACK_2**, …, **SIP_CONTACT_ON_ACK_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIP ACKメッセージに「Contact」ヘッダーを追加するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「Contact」ヘッダーを追加します） • **N**（「Contact」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

SIP_TIMER_B_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_B_1**, **SIP_TIMER_B_2**, …, **SIP_TIMER_B_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーB（INVITEトランザクションタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーB（☞ 102 ページ）

SIP_TIMER_D_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_D_1**, **SIP_TIMER_D_2**, …, **SIP_TIMER_D_6**

設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーD（応答の再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
Webプログラミングによる設定	タイマーD（☞ 102 ページ）

SIP_TIMER_F_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_F_1**, **SIP_TIMER_F_2**, …, **SIP_TIMER_F_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーF（INVITEトランザクション以外のタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーF（☞ 102 ページ）

SIP_TIMER_H_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_H_1**, **SIP_TIMER_H_2**, …, **SIP_TIMER_H_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーH（ACKの受け取り待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーH（☞ 102 ページ）

SIP_TIMER_J_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_J_1**, **SIP_TIMER_J_2**, …, **SIP_TIMER_J_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーJ（INVITE以外のリクエスト再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000

初期値	5000
Webプログラミングによる設定	タイマーJ（☞ 103 ページ）

ADD_TRANSPORT_UDP_n

パラメータ名の例	**ADD_TRANSPORT_UDP_1**, **ADD_TRANSPORT_UDP_2**, …, **ADD_TRANSPORT_UDP_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPヘッダーのURIに属性「transport=udp」を追加するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（トランスポートUDPを追加します） • **N**（トランスポートUDPを追加しません）
初期値	**N**

ADD_EXPIRES_HEADER_n

パラメータ名の例	**ADD_EXPIRES_HEADER_1**, **ADD_EXPIRES_HEADER_2**, …, **ADD_EXPIRES_HEADER_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	REGISTERに「Expires」ヘッダーを追加する（「Contact」ヘッダーに「expires」パラメータを追加する）かどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「Expires」ヘッダーを追加します） • **N**（「Expires」ヘッダーを追加しません）
初期値	**Y**

SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n

パラメータ名の例	**SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_1**, **SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_2**, …, **SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	保留中の電話に再INVITEを許可するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（SIP保留受信を許可します） • **N**（SIP保留受信を許可しません）
初期値	**Y**

SIP_ADD_DIVERSION_n

パラメータ名の例	**SIP_ADD_DIVERSION_1**, **SIP_ADD_DIVERSION_2**, …, **SIP_ADD_DIVERSION_6**
設定値の形式	整数型
説明	「Diversion」ヘッダー情報を追加するかどうかを指定します。
設定値	0～2 – 0：「Diversion」ヘッダー情報を追加しません。（既存の「Diversion」ヘッダーのみ） – 1：「Diversion」ヘッダーを自端末情報のみとします。（既存の「Diversion」ヘッダーの置き換え） – 2： 既存の「Diversion」ヘッダーに自端末情報を追加します。
初期値	1

SIP_RESPONSE_CODE_DND

設定値の形式	整数型
説明	不在設定を設定時に着信を受けた場合の応答コードを指定します。
設定値	400～699
初期値	403

SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT

設定値の形式	整数型
説明	着信を拒否する場合の応答コードを指定します。
設定値	400～699
初期値	603

第 6 章
便利な電話機能

この章では、電話帳のインポートとエクスポート、ダイヤルプラン、フレキシブルボタンの設定について説明します。

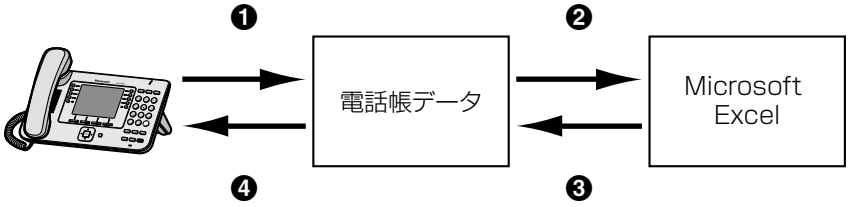
6.1 電話帳のインポートとエクスポート

ここでは、電話帳のデータをインポートおよびエクスポートする方法について説明します。本機の電話帳データには、氏名と電話番号が記録されています。
電話帳データをエクスポートし、エディタを使って編集したあと、再度インポートすることが可能です。また、他のソフトウェアで作成された電話帳データをインポートすることもできます。
次に、電話帳データのインポートとエクスポート機能を使用する方法を示します。

パソコンで電話帳データを編集する

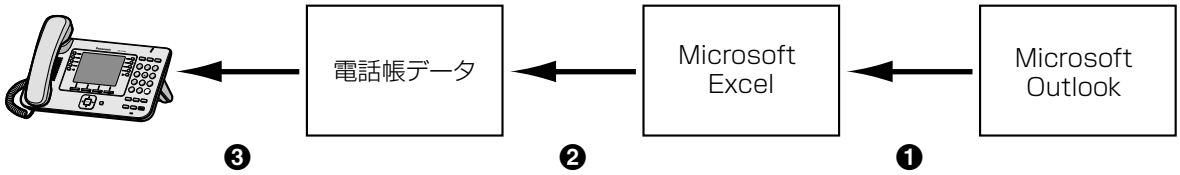
本機に保存されている電話帳データは、Microsoft Excel®などのスプレッドシートソフトウェアを使って編集できます（☞ 281 ページ）。

電話帳データをパソコンにエクスポートし、ソフトウェアを使って編集してから、本機にインポートすることができます。



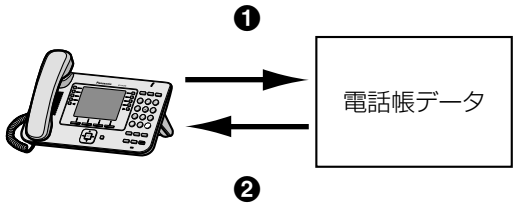
パソコンからアドレス帳をインポートする

Microsoft Outlook®などのメールクライアントやグループ作業クライアントなどに保存されているアドレス帳データを本機にインポートすることができます。
まず、電子メールソフトウェアのアドレス帳をMicrosoft Excelなどのプログラムにエクスポートし、必要に応じて編集したあと、本機にインポートします（☞ 284 ページ）。



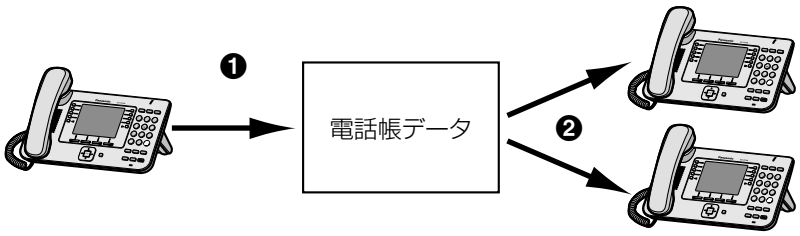
電話帳データをバックアップする

本機からパソコンにエクスポートした電話帳データは、データ損失用のバックアップや本機の交換用のデータとして保管しておくことができます。

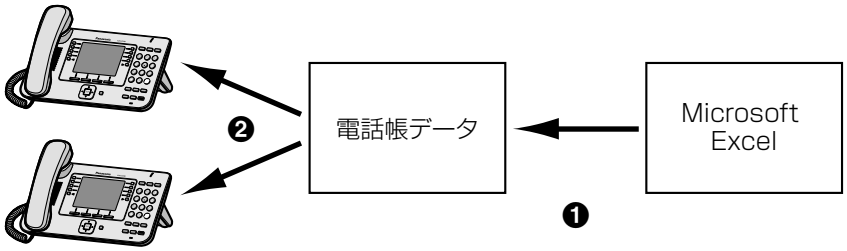


電話帳データを他の電話機にインポートする

本機で作成した電話帳データをパソコンにエクスポートしてから、他の電話機にインポートすることができます。



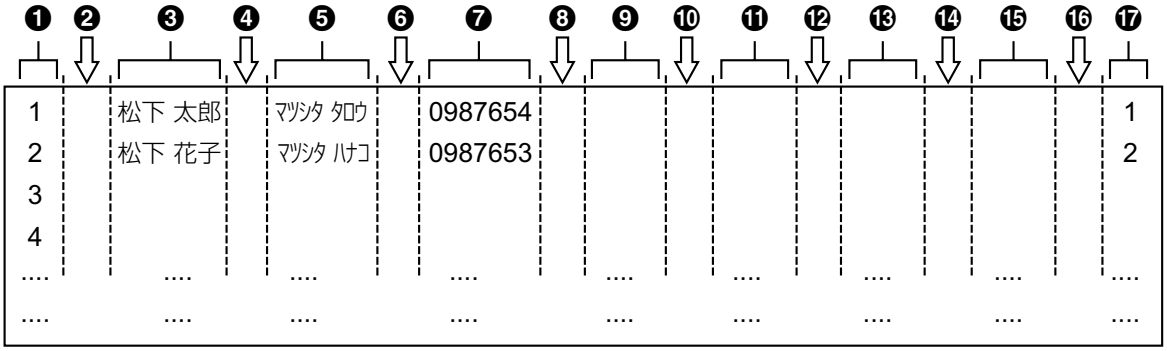
また、パソコンで作成した電話帳データを他の電話機にインポートすることもできます。



インポート／エクスポート用のファイル形式

電話帳データのインポートとエクスポートでは、「TSV」形式を使用します。Microsoft Excelでインポートまたはエクスポートする場合は、一般的に「CSV（カンマ区切り形式）」が使用されます。
本機の電話帳の連絡先にはフィールドが9つあり、順に、「レコードID <TAB>氏名<TAB>フリガナ<TAB>電話番号<TAB>電話番号<TAB>電話番号<TAB>電話番号<TAB>電話番号<TAB>呼び出し音<line break>」となります。
テキストの編集には、BOM付きリトルエンディアンのUTF-16エンコーディングをサポートするテキストエディタであれば、どのようなソフトウェアも使用できます。テキストファイルは同じ形式で保存してください。形式を変更すると文字化けすることがあります。

テキスト形式の電話帳データ



❶ レコードID（ID：1～65535）
❷ タブ
❸ 名前（全角で最大12文字または半角で最大24文字）
❹ タブ
❺ フリガナ（半角で最大24文字）
❻ タブ
❼ 電話番号（最大32桁）
❽ タブ
❾ 電話番号（最大32桁）
❿ タブ
⓫ 電話番号（最大32桁）
⓬ タブ
⓭ 電話番号（最大32桁）
⓮ タブ
⓯ 電話番号（最大32桁）
⓰ タブ
⓱ 呼び出し音（1～32）

6.1.1 インポートとエクスポートの手順

次に、Webプログラミングを使って、電話帳データを本機にインポートする方法、本機からパソコンにエクスポートする方法を説明します。
設定の詳細については☞ 134 ページまたは135 ページ

電話帳データをインポートするには

1 **[電話設定]** タブ、**[電話帳インポート]** を順にクリックする

2 **[インポートファイル名]** にインポートする電話帳ファイルの完全パスを入力するか、**[参照]** をクリックしてインポートするファイルを選択する

3 **[インポート]** をクリックする

電話帳データをエクスポートするには

1 **[電話設定]** タブ、**[電話帳エクスポート]** を順にクリックする

2 **[エクスポート]** をクリックする

3 **[ファイル処理中]** 画面が開いたら、表示されたメッセージの **[ここ]** をクリックするか、**[ファイルのダウンロード]** ウィンドウが開くまで待機する

お知らせ

- Webブラウザのセキュリティ設定によっては、ポップアップメニューがブロックされることがあります。ファイルのエクスポートに失敗した場合は、再試行するか、Webブラウザのセキュリティ設定を変更してください。

4 **[ファイルのダウンロード]** ウィンドウの **[保存]** をクリックする

5 **[名前を付けて保存]** ウィンドウが開いたら、エクスポートした電話帳データの保存先となるフォルダを選択、**[ファイル名]** にファイル名を入力、**[ファイルの種類]** で **[テキスト（タブ区切り）]** を選択し、**[保存]** をクリックする
ファイルのダウンロードが完了すると、**[ダウンロードの完了]** ウィンドウが開きます。

- エクスポートする電話帳データのファイル名は「phonebook.tsv」です。必要に応じて、ファイル名を変更してください。

6 **[閉じる]** をクリックする

7 操作を終了するには、表示されたメッセージの **[ここ]** をクリックする
[電話帳エクスポート] 画面に戻ります。

お知らせ

- 電話機が待機中になっていることを確認してください。
- インポートされたデータは、電話機内の既存電話帳データに追加されます。
  - 電話機内の既存電話帳に、インポートデータとレコードIDが同じ連絡先が存在する場合、この連絡先はインポートデータで上書きされます。
  - 電話機内の既存電話帳データにレコードIDのない連絡先が存在する場合、この連絡先はそのまま削除されず残ります。
  - インポートされる電話帳データにレコードIDのない連絡先が存在する場合、電話機内の既存電話帳に名前と電話番号が同じ連絡先がなければ、新しい連絡先として追加されます。

  電話機を使用して追加される電話帳データには、レコードIDが割り当てられません。したがって、電話機から電話帳データをエクスポートし、手動でレコードIDを割り当ててから再度インポートすることを奨励します。レコードIDを割り当てることにより、データ管理が簡単になります。
- 本機の電話帳データには、次のような制限があります。
  - 本機の電話帳に保存できる連絡先の件数は最大500件です。上限を超えると、超えた部分の連絡先はインポートされず、「メモリオーバー」というメッセージが本機で表示されます。
  - 名前は全角で最大12文字または半角で最大24文字です。
  - 電話番号は最大32桁です。
- 本機の操作によってエクスポートが中断した場合、中断した時点までにエクスポートしていた連絡先のみがエクスポートされます。

6.1.2 Microsoft Excelによる編集

パソコンにエクスポートした電話帳データは、Microsoft Excelなどのソフトウェアを使用して編集できます。編集が完了した電話帳データは、本機にインポートすることができます。

パソコンの電話帳データを開くには

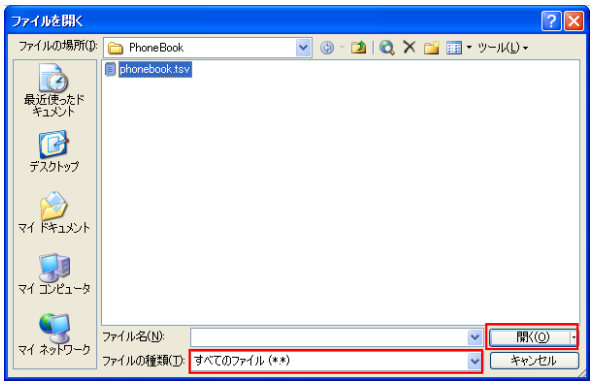
1 Microsoft Excelを起動する

2 **［ファイル］**をクリックし、**［開く］**をクリックする

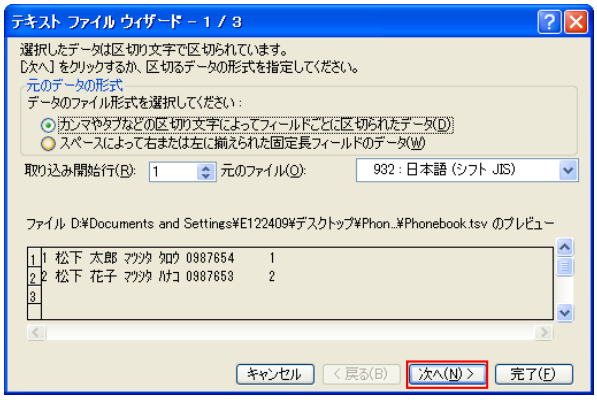
お知らせ

- この操作では、TSVファイルを選択してください。TSVファイルの拡張子を「.csv」に変更すると、ダブルクリックするだけでファイルを開くことができます。ただし、ファイルの文字エンコーディングが正しく認識されないことが原因で文字化けが発生する場合や、電話番号が数値として認識され、データが変更されてしまう場合があります。

3 ファイルの種類で**［すべてのファイル］**を選択し、エクスポートした電話帳ファイルを選択してから、**［開く］**をクリックする



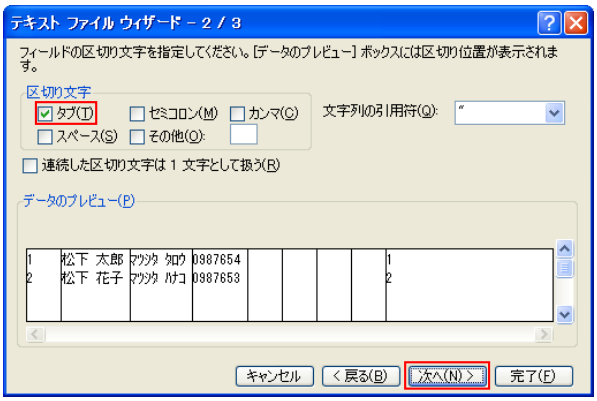
4 **［テキストファイルウィザード－1／3］**ウィンドウが開いたら、**［次へ］**をクリックする



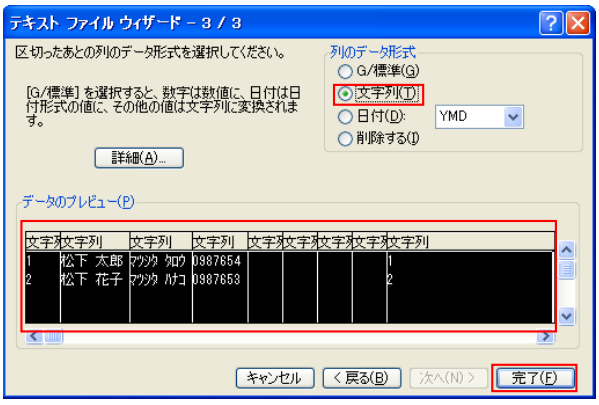
お知らせ

- **［元のデータの形式］**でどのオプションを選択した場合でも、ファイル形式に誤りがなければ正しく処理されます。

5 **[テキストファイルウィザード−2／3]** ウィンドウが開いたら、**[区切り文字]** で **[タブ]** を選択し、**[次へ]** をクリックする



6 **[テキストファイルウィザード−3／3]** ウィンドウが開いたら、**[データのプレビュー]** で表示されている列をすべて選択してから **[列のデータ形式]** の **[文字列]** を選択し、**[完了]** をクリックする
TSVファイルが開きます。



お知らせ

- 電話番号はテキスト文字列として処理する必要があります。数値として処理すると、エクスポート処理で先頭の「0」が削除されてしまうことがあります。

7 電話帳を編集する

お知らせ

- 電話番号はテキスト文字列として編集する必要があります。数値として処理すると、先頭の「0」が削除されてしまうことがあります。

本機へのインポート用として電話帳データを保存するには

1 電話帳の連絡先の編集が完了したら、**[ファイル]** をクリックしてから **[名前を付けて保存]** をクリックする

2 **[ファイル名]** にファイル名を入力し、**[ファイルの種類]** で **[Unicode テキスト]** を選択する
ファイルは、BOM付きUTF-16のリトルエンディアン、タブ区切り形式で保存されます。

3 **[保存]** をクリックする
ファイルの互換性に関する警告メッセージが表示されます。

4 **[はい]** をクリックする
ファイルは、Unicodeのタブ区切りテキストファイル形式で保存されます。

お知らせ

- 上記の手順は、ご使用のMicrosoft Excelのバージョンによって異なることがあります。したがって、本機とMicrosoft Excel間でエクスポートおよびインポートするファイルには、相互に互換性がない場合もあります。

6.1.3 Microsoft Outlookのアドレス帳のエクスポート

Microsoft Outlookなどのアドレス帳をエクスポートし、Microsoft Excelなどのプログラムで編集してから、本機にインポートすることができます。

Microsoft Outlookのアドレス帳をエクスポートするには

1 Microsoft Outlookで、**[ファイル]** → **[インポートとエクスポート]** を順にクリックする

2 **[ファイルへエクスポート]** を選択し、**[次へ]** をクリックする

3 **[テキストファイル（Windows、タブ区切り）]** を選択し、**[次へ]** をクリックする

4 **[連絡先]** を選択し、**[次へ]** をクリックする

5 **[参照]** をクリックし、エクスポート先のフォルダを選択し、ファイル名を入力する

6 **[OK]** をクリックする

7 **[ファイルへエクスポート]** ウィンドウで **[次へ]** をクリックする

8 **[フィールドの一致]** をクリックする

9 **[すべてクリア]** をクリックして **[インポート／エクスポート先]** リスト内の項目をすべて消去してから、**[名]** と **[会社電話]** のみを **[インポート／エクスポート元]** リストから **[インポート／エクスポート先]** リストにドラッグし、**[OK]** をクリックする

10 **[ファイルへエクスポート]** ウィンドウで **[完了]** をクリックする
データのエクスポートが開始されます。

お知らせ

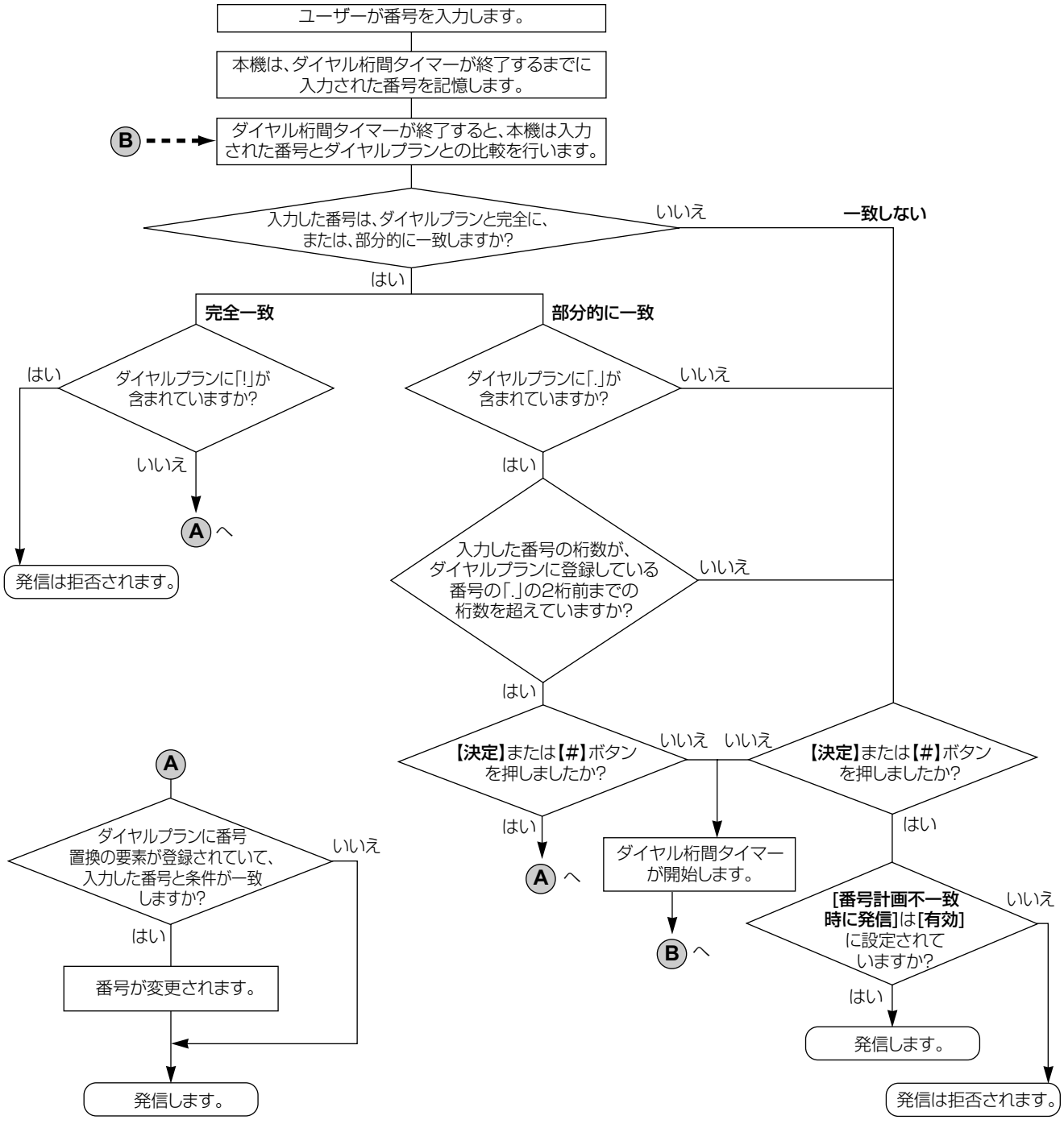
- 同様の手順で、Microsoft Outlook Expressのアドレス帳もエクスポートできます。また、Microsoft Excelと互換性があれば、これ以外のアプリケーションからのエクスポートも可能です。
- エクスポートしたファイルは、Microsoft Excelで開いて本機にインポートできます（☞281 ページ）。
- 上記の手順では、名（ファーストネーム）とミドルネームはエクスポートされません。必要な項目をすべてエクスポートし、編集してから本機にインポートしてください。
- Microsoft Outlookからのエクスポートでは、ファイルはタブ区切り形式になり、ご使用のオペレーティングシステムでデフォルトの文字エンコーディングが使用されます。
- 上記の手順は、ご使用のMicrosoft Outlookのバージョンによって異なることがあります。

6.2 ダイヤルプラン

ダイヤルプランは、ユーザーがダイヤルする数字をネットワーク経由で転送する方法を制御します。ダイヤルプランは、回線ごとに設定できます。設定には、Webプログラミング（☞ 122 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 246 ページ）のいずれかを使用できます。

（ダイヤルプランのフローチャート）

ユーザーが1つの数字をダイヤルすると、次のような順序でイベントが発生します。



6.2.1 ダイヤルプランの設定

番号計画を設定するには

1 Webプログラミングで、**[電話設定]** タブ、**[電話機能設定 [回線 1] ～ [回線 x]]** を順にクリックする

2 **[番号計画]** にダイヤル形式を入力する
ダイヤルプランは、回線ごとに異なる設定を行うことができます。
ダイヤル形式で使用できる文字の詳細について☞ 286 ページ

3 **[番号計画不一致時に発信]** で **[有効]** または **[無効]** を選択する

- **[有効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定したダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。
- **[無効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定したダイヤル形式と一致する場合のみ発信します。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングを使った設定の詳細については、5.9.1 呼制御設定（☞ 246 ページ）の「**DIAL_PLAN_n**」と「**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n**」を参照してください。

ダイヤルプランのフィールドで指定できる値

下記の表は、ダイヤル形式で使用可能な文字とその意味を示します。

要素	使用可能な値	説明
文字列	0～9、[、-、]、<、:、>、*、#、!、S、s、T、t、X、x、.、|、＋	ダイヤルプランの説明は、使用可能な文字を組み合わせて入力できます。
数値	0～9、*、#、＋	**例：「123」** 「123」とダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
ワイルドカード	X、x	**例：「12xxxxx」** 「12」に続けて5桁の数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
範囲	[ ]	**例：「[123]」** 「1」、「2」、「3」のいずれかの数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
部分的な範囲	-	**例：「[1-5]」** 「1」、「2」、「3」、「4」、「5」のいずれかをダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。 • 部分的な範囲を指定できるのは、1桁の数字のみです。たとえば、「[4-9]」は有効ですが、「[12-21]」は無効です。
繰り返し	.	**例：「1.」** 「1」を1つ以上続けてダイヤルすると（「11」や「111」など）、その番号に発信されます。

要素	使用可能な値	説明
置換	<（置換前）:（置換後）>	**例：「<101:9999>」** 「101」とダイヤルすると、「101」は「9999」に置換され、その番号にすぐに発信されます。
タイマー	S、s（秒）	**例：「1x.S2」** 「1」で始まる番号をダイヤルすると、2秒後に発信されます。 • 「S」または「s」に続く数字（0～9）は、発信するまでの待機時間（秒単位）を示します。
マクロタイマー	T、t	**例：「1x.T」** 「1」で始まる番号をダイヤルすると、「T」秒だけ待機したあと発信されます。 • 「T」または「t」の値はWebプログラミングで設定できます（☞ 115 ページ）。
拒否	!	**例：「123xxx!」** 「123」のあとに3桁の数字をダイヤルすると、その番号には発信されません。
代替	|	**例：「1xxxx|2xxx」** 「1」のあとに4桁の数字、または「2」のあとに3桁の数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。 複数の番号を指定できます。

お知らせ

- **［番号計画］**では、最大500文字指定できます。
- **［番号計画］**では、最大20個のダイヤルプランを「|」で区切って指定することができます。
- **［番号計画］**では、ダイヤルプラン1つあたり32桁まで指定できます。
- Webプログラミングで**［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている場合、または設定ファイルで「**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n**」が「**N**」に設定されている場合、ダイヤルが完了すると、ダイヤルされた数字がすべて発信されます。本機は、次の条件が満たされた時点でダイヤルが完了したとみなします。
  - 桁間タイマーがタイムアウトした時点（☞ 115 ページまたは213 ページ）
  - ユーザーが**［決定］**または**［#］**ボタンを押した時点
  - オフフック（プレダイヤル）になったあと通話が開始された時点

ダイヤルプランの例

下記に、「|」で区切った文字列を使ったダイヤルプランの例を示します。
例：「[2346789]11|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

完全一致：
例：「**[2346789]11**|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」
- 「211」、「911」などをダイヤルすると、すぐに発信されます。

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|**[2-9]xxxxxxxxx**」

- 「2123456789」や「5987654321」などをダイヤルすると、すぐに発信されます。

部分一致（ダイヤルプランで「.」を指定）：

例：「[2346789]11|**01[2-9]x.**|[2-9]xxxxxxxxx」

- 「01254」や「012556」などをダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。

部分一致（ダイヤルプランで「.」を指定しない）：

例：「**[2346789]11**|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「21」や「91」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「21」や「91」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあと、発信は拒否されます。

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|**[2-9]xxxxxxxxx**」

- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「21234567」や「598765432」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「21234567」や「598765432」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあと、発信は拒否されます。

不一致：

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「0011」や「1011」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「0011」や「1011」などの番号をダイヤルすると、発信は拒否されます。

6.3 フレキシブルボタン（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）

本機のフレキシブルボタンはカスタマイズが可能です。このボタンは、外線の通話や着信、機能ボタンとして使用できます。フレキシブルボタンの設定には、Webプログラミング（☞ 127 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 232 ページ）のいずれかを使用できます。

お知らせ

- お使いのSIPサーバーによっては機能が設定できない場合があります。

下記の表は、フレキシブルボタンの種類を示します。

ボタン	説明	LEDの状態
DN	発信や着信を行うときに使用する回線の状態を表示します。DN（内線）が設定されたフレキシブルボタンを押して、着信に応答したり、保留を解除したりすることができます。 **お願い** • 1つの回線につき、DN（内線）が設定されたフレキシブルボタンを2個以上設定してください。設定されていない場合は、発信および着信ができません。 **お知らせ** • 共用回線機能はお使いのSIPサーバーによっては対応していない場合があります。	**消灯**：待機中 **緑（点灯）**：通話中 **緑（点滅［速］）**：着信中 **緑（点滅［遅］）**： 保留中 **赤（点灯）**：共用回線が他の電話機により使用中、または保留中（プライベート） **赤（点滅［遅］）**：共用回線が他の電話機により保留中（通常）
ワンタッチ	電話をかけたり、ボタンに登録した機能を使用したりすることができます。 ボタン情報（パラメータ）に電話番号を登録してご使用ください。 **お知らせ** • 電話番号の末尾に「-」を付加して登録すると、ワンタッチキーでの発信時に続けてダイヤルすることができます。この機能は、特番に続けてダイヤルしたい場合に利用できます。 例えば、外線捕捉特番が「*901」の場合、ワンタッチの番号として「*901-」を登録しておくとワンタッチキーでの発信時に「*901」が表示され、続けて相手の番号等を入力することができます。	–
ヘッドセット	ヘッドセットモードを切り替えます。	**消灯**：ヘッドセットオフ **赤（点灯）**： ヘッドセットオン

ボタン	説明	LEDの状態
BLF	ボタンに登録した内線の現在の状態の表示、内線への発信、転送を行います。 このボタンは、内線指定代理応答（☞ 117 ページまたは215 ページ）の実行にも使用できます。 **お知らせ** • BLF、コールパーク機能、一部のLED表示は、お使いのSIPサーバーによっては対応していない場合があります。 • お使いのSIPサーバーによっては、リソースリストURIの設定を行う必要があります。（☞ 121 ページまたは 249 ページ）	**消灯**：登録した内線が待機中 **赤（点灯）**：登録した内線が通話中 **赤（点滅［速］）**：登録した内線に着信中 **緑（点灯）**：コールパーク機能使用時に、登録したパークエリアに自分でパークした電話が保留中
ACD	ACDグループが設定されている場合は、グループへのログイン／ログアウトを切り替えることができます。 **お知らせ** • ACDは、お使いのSIPサーバーによっては対応していない場合があります。	**消灯**：ログイン **赤（点灯）**：ログアウト
ライン	着信先指定で電話がかかってきた場合に、ラインに設定されたフレキシブルボタンを押して着信に応答したり、保留を解除したりすることができます。	**消灯**：待機中 **緑（点灯）**：通話中 **緑（点滅［速］）**：着信中 **緑（点滅［遅］）**：保留中
コールパーク	パークエリア（番号）を指定して、パーク保留やパーク保留解除をすることができます。	**消灯**：未使用 **赤（点滅［遅］）**、**緑（点滅［遅］）**：使用中

6.3.1 フレキシブルボタンの設定

フレキシブルボタンを設定するには

1 Webプログラミングで、**[電話設定]** タブ、**[機能ボタン設定]** を順にクリックする

2 下記の表に従って設定を行う
パラメータ1とパラメータ2の両方の設定が必要な場合は、カンマで区切ってください。

ボタン	パラメータ1		パラメータ2	
	説明	値	説明	値
DN	呼び出し音	1～32	回線番号	• 1～4（KX-UT136N） • 1～6（KX-UT248N）
ワンタッチ	電話番号	32桁まで	–	–
ヘッドセット	–	–	–	–
BLF	内線番号*1	32桁まで	–	–
ACD	回線番号	• 1～4（KX-UT136N） • 1～6（KX-UT248N）	–	–
ライン*2	呼び出し音	1～32	着信先識別	30文字まで
コールパーク	パークエリア（番号）	10桁まで	–	–

*1 パラメータを入力しない場合は、サーバーからのリソースリストの情報をもとに自動的に内線番号を割り当てます。
*2 パラメータ1とパラメータ2の合計（区切りのカンマも含む）が、32文字以内になるように設定してください。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングを使った設定方法の詳細については、5.7.5 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）（☞ 232 ページ）を参照してください。

（設定例）

下記の表は、フレキシブルボタンの設定例です。

説明：

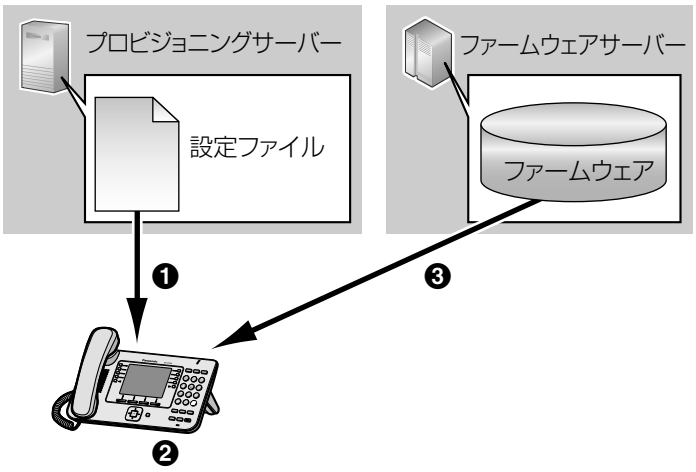
- ボタン1は、ACDグループ1のログインとログアウトを行うように設定しています。
- ボタン2は、ヘッドセットでの会話を有効または無効にします。
- ボタン3とボタン4は、着信音1を使用して回線1の発信と着信を行うように設定しています。
- ボタン5とボタン6は、着信音2を使用して回線2の発信と着信を行うように設定しています。
- ボタン7とボタン8は、ワンタッチダイヤル機能を使って特定の相手に発信するように設定しています。
- ボタン9、ボタン10、ボタン11は、特定の内線の状態を表示するように設定しています。このボタンは、内線への発信と転送にも使用できます。

第 7 章
ファームウェアのアップデート

この章では、本機のファームウェアをアップデートする方法について説明します。

7.1 ファームウェアアップデートの概要

本機のファームウェアをアップデートすることで、動作の改善や機能の向上が図れます。指定した場所から新しいファームウェアファイルを自動的にダウンロードするように本機を設定できます。ファームウェアのアップデートは、本機を再起動すると実行されます。



❶ 設定ファイルのダウンロード

❷ アップデートを確認

❸ ファームウェアのダウンロードとアップデート

お知らせ

- ファームウェアのアップデートを行うための特殊なサーバーは必要ありません。URLを設定するだけで、HTTP、HTTPS、FTPおよびTFTPの各サーバーをファームウェアのアップデートに使用することができます。

7.2 ファームウェアアップデートの設定

ファームウェアアップデートは、必要に応じて提供されます。
ファームウェアのアップデートは、設定ファイルのプログラミング（☞ 184 ページ）またはWebプログラミング（☞ 139 ページ）を使用して、必要なパラメータを設定することによって実行されます。各パラメータと設定手順は以下のとおりです。

ファームウェアアップデートを有効にする

- 設定ファイルに「**FIRM_UPGRADE_ENABLE="Y"**」という行を追加してください。
- Webプログラミングで、**[保守]** タブ、**[ファームウェア保守]** を順にクリックし、**[自動バージョンアップ]** で **[有効]** を選択してください。

ファームウェアのバージョン番号を指定する

- 設定ファイルにファームウェアの最新のバージョン番号を追加してください。

自動アップデートを有効にする

- 設定ファイルに「**FIRM_UPGRADE_AUTO="Y"**」という行を追加してください。

- Webプログラミングで、**[保守]**タブ、**[ファームウェア保守]**を順にクリックし、**[ファームウェア更新方法]**で**[自動]**を選択してください。

実行サーバーのURLを指定する

- 設定ファイルの「**FIRM_FILE_PATH**」にサーバーのURLを指定してください。
- Webプログラミングで、**[保守]**タブ、**[ファームウェア保守]**を順にクリックし、**[ファームウェアファイルURL]**にURLを入力してください。

パラメータ設定例

次のようにパラメータを設定すると、本機は、指定したURL（「http://firm.example.com/firm/01.050.fw」）からファームウェアを自動的にダウンロードし、使用中のファームウェアがバージョン01.050と異なる場合、アップデートを実行します。

例

```
FIRM_UPGRADE_ENABLE="Y"
FIRM_VERSION="01.050"
FIRM_UPGRADE_AUTO="Y"
FIRM_FILE_PATH="http://firm.example.com/firm/01.050.fw"
```

7.3 ファームウェアのアップデート

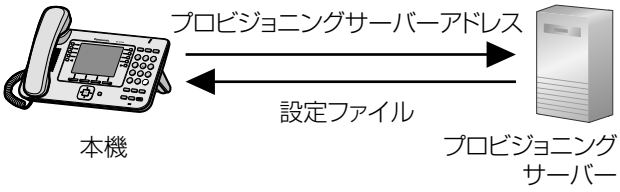
設定ファイルでアップデートの各設定を行うと、設定ファイルがダウンロードされた際に、ファームウェアがアップデートされます。アップデートの詳しい手順は以下のとおりです。

アップデートの一連の流れ

ステップ1

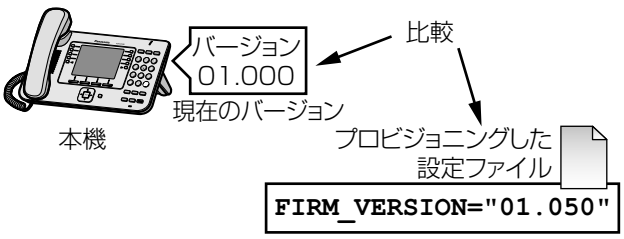
プロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードします。

- 設定ファイルをダウンロードするタイミングの設定については☞ 36 ページ

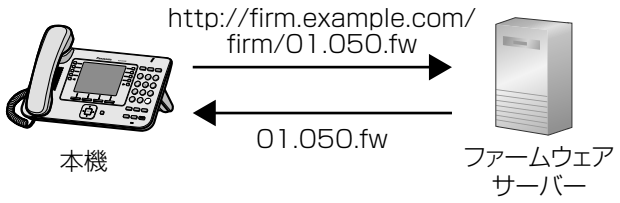


ステップ2

設定ファイルのファームウェア番号と、現在使用中のバージョンを比較します。
（この例では、本機はバージョン01.000を使用しているのに対し、設定ファイルでは01.050が指定されています。）



ステップ3
設定ファイルに新しいバージョンのファームウェアが指定されると、本機は再起動します。その後、設定ファイルの「**FIRM_FILE_PATH**」で指定されたURLからファームウェアをダウンロードします。



ステップ4
新しいファームウェアがダウンロードされると、本機に適用された後に再起動します。

7.4 ファームウェアのローカルアップデート

ファームウェアのアップデートプログラムがウェブサイトなどの方法で提供されている場合、Webプログラミングを使用してファームウェアを手動でアップデートできます。
ファームウェアのローカルアップデートの設定については☞ 141 ページ

ファームウェアを手動でアップデートするには

1 Webプログラミングで、**[保守]** タブ、**[ローカルバージョンアップ]** を順にクリックする

2 **[参照]** をクリックし、ファームウェアファイルが格納されているフォルダを選択してから、ファームウェアファイル（例：UT13x_JP-01.050_HW1.fw[*1]）を指定する
[*1] 実際のファイル名は異なる場合があります。

3 **[ファームウェア更新]** をクリックする

第 8 章
本機の初期化

この章では、本機を初期化する方法について説明します。

8.1 初期化

8.1.1 工場出荷設定の復元（工場出荷設定）

本機を使用したプログラミングにより、すべての設定を工場出荷値に戻します。また、本機に登録されている着信履歴や電話帳など、すべてのデータが消去されます。
工場出荷設定を行う手順の詳細については☞ 44 ページ

お願い

- 工場出荷設定を実行すると、本機は自動的に再起動します。工場出荷設定の実行前に設定内容を保存しておくことを推奨します。

8.1.2 ネットワーク設定の初期化（IP初期設定）

ネットワーク設定を工場出荷値に戻します。
ネットワーク設定を変更した後にネットワークに接続できなくなった場合は、IP初期設定を実行して設定を工場出荷値に戻し、再度ネットワーク設定を行ってください。IP初期設定を実行しても電話帳などのデータは消去されません。
IP初期設定を行う手順の詳細については☞ 45 ページ

8.1.3 Webプログラミングで行った設定の初期化（Web登録情報初期化）

Webプログラミングで行った変更内容を工場出荷値に戻します。
Web登録情報初期化を行う手順の詳細については☞ 146 ページ

お願い

- Web登録情報初期化を実行すると、本機は自動的に再起動します。Web登録情報初期化の実行前に設定内容を保存しておくことを推奨します。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングで行った設定は初期化されません。
- 本機を使用したプログラミングでのみ行った設定は初期化されません。ただし、本機を使用したプログラミングとWebプログラミングの両方で行える設定は初期化されます。

第９章
困ったとき

トラブルが起きたときは、この章をお読みください。

9.1 困ったとき

この章の手順に従っても問題が解決しないときは、本機をいったんAC電源から抜いて、もう一度ACアダプターを接続してみてください。PoEを使用している場合は、いったんLANケーブルを抜いて、もう一度LANケーブルを接続してみてください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応
発信音が聞こえない	• ネットワーク設定が正しいことを確認してください。 • 機器をすべてリセットすると設置に関する問題が解決することがあります。まず、モデム、ルーター、ハブ、本機、およびパソコンを停止します。次に、モデム、ルーター、ハブ、本機、パソコンの順に、1つずつ装置の電源を入れていきます。 • パソコンからインターネットのWebページにアクセスできない場合、SIPサーバーへの接続に関する問題が発生していないか確認してください。 • WebプログラミングでVoIPの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください（☞ 302 ページ）。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。 • ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 25 ページ）。
本機が正しく起動しない	• Webプログラミングまたは設定ファイルのプログラミングの設定が正しいことを確認してください。以下の手順で設定を初期化し、再度設定を行ってください。 **1.** 設定 を押す **2.** **【#】【1】【3】【6】**を押す **3.** **【▲】**または**【▼】**を押して**「IP初期設定」**を選択し、**【決定】**を押す **4.** **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す **5.** **【▲】**または**【▼】**を押して**「はい」**を選択し、**【決定】**を押す 本機が再起動します。

発着信について

こんなとき	原因と対応
着信音が鳴らない	• WebプログラミングでVoIPの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください（☞ 302 ページ）。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。 • ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 25 ページ）。 • Webプログラミングの**［電話設定］**タブで各回線の**［電話機能設定］**を確認してください。 – **［着信拒否］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は着信を受けることができません（☞ 122 ページ）。 – **［全着信 (不在転送)］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は着信を受けることができません（☞ 124 ページ）。 – **［非通知着信拒否］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は匿名の着信を受けることができません（☞ 122 ページ）。 • お使いのSIPサーバーで**［着信拒否］**、**［不在転送］**、および**［非通知着信拒否］**が設定されていないことを確認してください。
発信できない	• WebプログラミングでVoIPの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください（☞ 302 ページ）。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。 • ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 25 ページ）。

Webプログラミングのパスワードについて

こんなとき	原因と対応
管理者またはユーザーアカウント用のWebプログラミングのログインパスワードを忘れた	• 本機でパスワードを初期化してください。管理者とユーザーアカウントの両方のパスワードが初期化されます（☞ 45 ページ）。 セキュリティ上の理由から、パスワードはすぐに再設定することを推奨します（☞ 84 ページまたは86 ページ）。

時刻について

こんなとき	原因と対応
時刻が正しくない	• WebプログラミングでNTP同期とサマータイムを設定すると、時刻を自動的に調節できます（☞ 88 ページ）。 • NTP同期を設定しても正しい時刻にならない場合、ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 25 ページ）。

エラーコード

システムエラーが発生すると、本機にエラーコードが表示されます。

エラーコード	原因	対応
10001	MACアドレスエラー	本機に異常が発生しています。お買い求め先へお問い合わせください。
11001-11006	デバイスエラー	本機に異常が発生しています。お買い求め先へお問い合わせください。
21001	IEEE802.1X認証エラー（KX-UT248Nのみ）	お買い求め先へお問い合わせください。
90001	• 送信エラー • 本機が登録されていない	• ネットワーク設定を確認してください。 • SIPサーバーへの登録の設定が正しいことを確認してください。

本機の状態を確認する

Webプログラミングを使うか（☞ 65 ページおよび66 ページ）、または本機から送信されたシステムログ（☞ 182 ページ）で、本機の状態を確認できます。

Webプログラミングで設定状態を確認するには

1 **[機器情報]** タブをクリックし、**[ネットワークステータス]** をクリックしてネットワーク設定を確認する

2 表示されている状態を確認する

3 **[VoIPステータス]** をクリックしてVoIP設定を確認する

4 表示されている状態を確認する

指定したイベントのシステムログをsyslogサーバーに送信するには

1 下記のパラメータを設定してパソコン（Windows、Linux®などのオペレーティングシステム）をsyslogサーバーとして指定する

- **SYSLOG_ADDR**：syslogサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
- **SYSLOG_PORT**：syslogサーバーのポート番号を指定します。

2 下記のパラメータを設定して特定のイベントのログを記録する

- **SYSLOG_EVENT_SIP**：SIP関連のsyslogイベントをログに記録します。
- **SYSLOG_EVENT_CFG**：設定に関するsyslogイベントをログに記録します。
- **SYSLOG_EVENT_VOIP**：VoIP操作に関するsyslogイベントをログに記録します。

第 10 章
必要なとき

10.1　改訂履歴

10.1.1　KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.025

追加項目

- 5.9.1　呼制御設定—VOICE_MESSAGE_AVAILABLE （☞ 250 ページ）
- 5.9.1　呼制御設定—HOLD_SOUND_PATH_n （☞ 250 ページ）
- 5.9.2　SIP設定—SIP_REQURI_PORT_n （☞ 267 ページ）

変更項目

- 5.7.2　音質設定—HOLD_TONE_TIMING （☞ 227 ページ）

10.1.2 KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.081

追加項目

- 4.4.7 XMLアプリケーション設定 （☞ 83 ページ）
- 4.6.4.1 QoS —DSCP （RTCPパケット）（☞ 108 ページ）
- 4.6.4.4 DTMF—DTMFリレー （☞ 111 ページ）
- 4.7.8 XMLアプリケーション設定 （☞ 136 ページ）
- 5.5.6 マネジメントサーバー設定
  - ANNEX_G_STUN_ENABLE （☞ 196 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR （☞ 196 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_SERV_PORT （☞ 196 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_USER_ID （☞ 197 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_PASS （☞ 197 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE （☞ 197 ページ）
  - ANNEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE （☞ 198 ページ）
  - UDP_CON_REQ_ADDR_NOTIFY_LIMIT （☞ 198 ページ）
- 5.7.6 XMLアプリケーション設定 （☞ 233 ページ）
- 5.8.2 RTP設定—DSCP_RTCP_n （☞ 239 ページ）
- 5.8.3 各種VoIP設定—DTMF_RELAY_n （☞ 244 ページ）

変更項目

- 5.4 TR-069を使用した設定ファイルの設定 （☞ 171 ページ）

10.1.3 KX-UT123N/KX-UT136Nソフトウェアバージョン 01.130

追加項目

- 5.9.1 呼制御設定
  - CALLPARK_KEY_ENABLE（☞ 251 ページ）
  - CALLPARK_AREAKEY_ENABLE（☞ 251 ページ）
  - CALLPARK_METHOD（☞ 251 ページ）
  - NUM_PLAN_PARKING（☞ 252 ページ）
  - NUM_PLAN_PARK_AREA（☞ 252 ページ）
  - LINEKEY_ENABLE（☞ 252 ページ）
  - DDI_ICD_GROUP_DISPLAY（☞ 252 ページ）

変更項目

- 4.7.3.1 機能ボタン設定
  - ボタン種別（番号1～24）（☞ 127 ページ）
  - ボタン名（番号1～24）（☞ 128 ページ）
- 5.7.5 機能ボタン設定（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）
  - FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx（☞ 232 ページ）
  - FLEX_BUTTON_LABELx（☞ 233 ページ）
- 6.3 フレキシブルボタン（KX-UT136N／KX-UT248Nのみ）（☞ 288 ページ）

索引

英数字

100rel（RFC 3262）　103
3種類の設定ファイルを使用する　35
ACS_PASS　194
ACS_URL　193
ACS_USER_ID　194
ADD_EXPIRES_HEADER_n　275
ADD_TRANSPORT_UDP_n　275
ADD_USER_PHONE_n　269
ADJDATA_GAIN　230
ADMIN_ID　175
ADMIN_PASS　175
ANNEX_G_STUN_ENABLE　196
ANNEX_G_STUN_MAX_KEEP_ALIVE　197
ANNEX_G_STUN_MIN_KEEP_ALIVE　198
ANNEX_G_STUN_PASS　197
ANNEX_G_STUN_SERV_ADDR　196
ANNEX_G_STUN_SERV_PORT　196
ANNEX_G_STUN_USER_ID　197
AUTO_ANS_RING_TIM　216
AUTO_CALL_HOLD　216
BELL_CORE_PATTERN1_TIMING　227
BELL_CORE_PATTERN2_TIMING　228
BELL_CORE_PATTERN3_TIMING　228
BELL_CORE_PATTERN4_TIMING　228
BELL_CORE_PATTERN5_TIMING　228
BUSY_TONE_FRQ　221
BUSY_TONE_GAIN　221
BUSY_TONE_RPT　222
BUSY_TONE_TIMING　222
CALLPARK_AREAKEY_ENABLE　251
CALLPARK_KEY_ENABLE　251
CALLPARK_METHOD　251
CFG_CYCLIC　192
CFG_CYCLIC_INTVL　192
CFG_FILE_KEY_LENGTH　191
CFG_FILE_KEY1　190
CFG_FILE_KEY2　191
CFG_FILE_KEY3　191
CFG_MASTER_FILE_PATH　189
CFG_PRODUCT_FILE_PATH　188
CFG_RESYNC_FROM_SIP　193
CFG_RESYNC_TIME　193
CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH　208
CFG_RTRY_INTVL　192
CFG_STANDARD_FILE_PATH　187
CODEC_ENABLEx_n　237
CODEC_G711_REQ　237
CODEC_G729_PARAM　237
CODEC_PRIORITYx_n　238
CON_REQ_PASS　195
CON_REQ_USER_ID　195
CONFERENCE_SERVER_URI　212
CONNECTION_TYPE　198
COUNTRY_CALLING_CODE　214
CUSTOM_WEB_PAGE　211
CW_ENABLE_n　249
CW_TONE1_FRQ　225
CW_TONE1_GAIN　226
CW_TONE1_RPT　226
CW_TONE1_TIMING　226
DATA_LINE_MODE　214
DDI_ICD_GROUP_DISPLAY　252
DEFAULT_LINE_SELECT　214
DHCP_DNS_ENABLE　199
DHCPサーバー　32, 186
DHCP接続　69
DIAL_PLAN_n　247
DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n　247
DIAL_TONE1_FRQ　218
DIAL_TONE1_GAIN　218
DIAL_TONE1_RPT　218
DIAL_TONE1_TIMING　219
DIAL_TONE2_FRQ　219
DIAL_TONE2_GAIN　219
DIAL_TONE2_RPT　219
DIAL_TONE2_TIMING　220
DIAL_TONE4_FRQ　220
DIAL_TONE4_GAIN　220
DIAL_TONE4_RPT　221
DIAL_TONE4_TIMING　221
DISCONNECTION_MODE　217
DISPLAY_NAME_n　246
DISPLAY_NAME_REPLACE　229
DNS　99
DNS SRV　99
DNS_PRIORITY　202
DNS_QRY_PRLL　202
DNS1_ADDR　203
DNS2_ADDR　203
DNSサーバー　69, 199
DNSサーバー1　66, 71
DNSサーバー2　66, 71
DNSサーバー設定方式　69
DNS設定　155, 202
Do Not Disturb　124, 125, 126

DSCP（RTCPパケット）　108
DSCP（RTPパケット）　108
DSCP（SIPパケット）　103
DSCP_RTCP_n　239
DSCP_RTP_n　239
DSCP_SIP_n　258
DST_ENABLE　177
DST_OFFSET　177
DST_START_DAY_OF_WEEK　179
DST_START_MONTH　178
DST_START_ORDINAL_DAY　178
DST_START_TIME　179
DST_STOP_DAY_OF_WEEK　180
DST_STOP_MONTH　180
DST_STOP_ORDINAL_DAY　180
DST_STOP_TIME　181
DTMF　110
DTMF_INTDIGIT_TIM　246
DTMF_RELAY_n　244
DTMF_SIGNAL_LEN　245
DTMFペイロードタイプ　107
DTMFリレー　111
DTMF方式　110
EXTENSION_PIN　230
FIRM_FILE_PATH　185
FIRM_UPGRADE_AUTO　185
FIRM_UPGRADE_ENABLE　184
FIRM_VERSION　184
FIRSTDIGIT_TIM　213
FLASH_RECALL_TERMINATE　250
FLASHHOOK_CONTENT_TYPE　250
FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx　232
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx　232
FLEX_BUTTON_LABELx　233
FLEX_BUTTON_QUICK_DIALx　232
FWD_DND_SYNCHRO_ENABLE_n　248
G722（設定）　111
G722（優先度）　112
G726-32（設定）　112
G726-32（優先度）　113
G729A（設定）　113
G729A（優先度）　113
HOLD_ALARM_FRQ　224
HOLD_ALARM_GAIN　225
HOLD_ALARM_RPT　225
HOLD_ALARM_TIMING　225
HOLD_PACKAGE　215
HOLD_RECALL_TIM　216
HOLD_SOUND_PATH_n　250
HOLD_TONE_FRQ　226
HOLD_TONE_GAIN　226
HOLD_TONE_RPT　227
HOLD_TONE_TIMING　227
HOST_NAME　199
HTTP バージョン　77
HTTP_SSL_VERIFY　208
HTTP_USER_AGENT　207
HTTP_VER　207
HTTPD_PORTOPEN_AUTO　207
HTTPクライアント設定　77
HTTP設定　155, 207
HTTP認証　78
HTTPユーザーエージェント　77
IEEE802.1X　75
IEEE802.1X状態　66
IEEE802.1X設定　75, 155, 205
IEEE802.1X認証　76
IEEE8021X_AUTH_PRTCL　206
IEEE8021X_ENABLE　205
IEEE8021X_USER_ID　206
IEEE8021X_USER_PASS　206
INBANDDTMF_VOL　244
INTDIGIT_TIM　213
INTERNATIONAL_ACCESS_CODE　213
IPLバージョン　64
IPアドレス　65, 70
IP設定　155, 198
IP電話 (VLAN ID)　74
IP電話 (優先度)　74
KEY_PAD_TONE　218
LANポート　72
LANポートのリンク状態　65
LINE_ENABLE_n　254
LINEKEY_ENABLE　252
LOCAL_TIME_ZONE_POSIX　181
MACアドレス　65
MAX_DELAY_n　240
Microsoft Excel　278, 281
Microsoft Excelを使って編集する　281
Microsoft Outlook　278, 284
Microsoft Outlookのアドレス帳をエクスポートする　284
MIN_DELAY_n　240
NAPT　80
NAT　26, 80, 104, 266
NATIONAL_ACCESS_CODE　214

NATトラバーサル　26, 82
NOM_DELAY_n　240
NTP_ADDR　209
NTPサーバーアドレス　89
NUM_PLAN_PARK_AREA　252
NUM_PLAN_PARKING　252
NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT　215
NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT　229
NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT　229
NW_SETTING_ENABLE　211
ONHOOK_TRANSFER_ENABLE　217
OPTION66_ENABLE　186
OPTION66_REBOOT　187
OUTBANDDTMF_n　243
OUTBANDDTMF_VOL　244
PC（VLAN ID）　74
PC（優先度）　74
PCMA（設定）　112
PCMA（優先度）　112
PCMU（設定）　113
PCMU（優先度）　114
PCポート　73
PCポートのリンク状態　65
PERIODIC_INFORM_ENABLE　194
PERIODIC_INFORM_INTERVAL　194
PERIODIC_INFORM_TIME　195
PHONE_NUMBER_n　253
PORT_PUNCH_INTVL_n　266
POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE　230
PROFILE_ENABLEn　254
PROVISION_ENABLE　187
QoS　103, 108
REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE　216
REG_EXPIRE_TIME_n　257
REG_INTERVAL_RATE_n　257
REG_RTX_INTVL_n　268
Reliability of Provisional Responses　103, 264
REORDER_TONE_FRQ　222
REORDER_TONE_GAIN　223
REORDER_TONE_RPT　223
REORDER_TONE_TIMING　223
RESOURCELIST_URI_n　249
RETURN_VOL_SET_DEFAULT_ENABLE　249
RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留　111
RFC 2543 保留 (c=0.0.0.0)　111
RFC2543_HOLD_ENABLE_n　245
RINGBACK_TONE_FRQ　223
RINGBACK_TONE_GAIN　224
RINGBACK_TONE_RPT　224
RINGBACK_TONE_TIMING　224
RINGING_OFF_SETTING_ENABLE　216
Rport （RFC 3581）　104
RTCP_ENABLE_n　242
RTCP_INTVL_n　239
RTCP_SEND_BY_SDP_n　243
RTCP送信　109
RTCP送信間隔　109
RTP_CLOSE_ENABLE_n　243
RTP_PORT_MAX　241
RTP_PORT_MIN　241
RTP_PTIME　242
RTP設定　105, 161, 239
RTP送信間隔　105
RTPの設定　27
RTPポートの最小値　106
RTPポートの最大値　106
RTPポートマッピング　82
SDP_USER_ID_n　269
SHARED_CALL_ENABLE_n　247
SIP URI　96
SIP_100REL_ENABLE_n　263
SIP_18X_RTX_INTVL_n　264
SIP_2NDPROXY_ADDR_n　259
SIP_2NDPROXY_PORT_n　259
SIP_2NDPRSNC_ADDR_n　265
SIP_2NDPRSNC_PORT_n　265
SIP_2NDRGSTR_ADDR_n　259
SIP_2NDRGSTR_PORT_n　260
SIP_ADD_DIVERSION_n　276
SIP_ADD_RPORT_n　267
SIP_ANM_DISPNAME_n　271
SIP_ANM_HOSTNAME_n　272
SIP_ANM_USERNAME_n　271
SIP_AUTHID_n　255
SIP_CONTACT_ON_ACK_n　273
SIP_DETECT_SSAF_n　272
SIP_DNSSRV_ENA_n　262
SIP_FOVR_MAX_n　261
SIP_FOVR_NORSP_n　261
SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n　275
SIP_INVITE_EXPIRE_n　264
SIP_OUTPROXY_ADDR_n　270
SIP_OUTPROXY_PORT_n　270
SIP_P_PREFERRED_ID_n　268
SIP_PASS_n　255

SIP_PRIVACY_n　269
SIP_PRSNC_ADDR_n　264
SIP_PRSNC_PORT_n　265
SIP_PRXY_ADDR_n　256
SIP_PRXY_PORT_n　256
SIP_RCV_DET_HEADER_n　272
SIP_REFRESHER_n　262
SIP_REQURI_PORT_n　267
SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT　276
SIP_RESPONSE_CODE_DND　276
SIP_RGSTR_ADDR_n　256
SIP_RGSTR_PORT_n　257
SIP_SESSION_METHOD_n　258
SIP_SESSION_TIME_n　258
SIP_SRC_PORT_n　255
SIP_SUBS_EXPIRE_n　268
SIP_SVCDOMAIN_n　257
SIP_TCP_SRV_PREFIX_n　263
SIP_TIMER_B_n　273
SIP_TIMER_D_n　273
SIP_TIMER_F_n　274
SIP_TIMER_H_n　274
SIP_TIMER_J_n　274
SIP_TIMER_T1_n　260
SIP_TIMER_T2_n　260
SIP_TIMER_T4_n　261
SIP_TRANSPORT_n　271
SIP_UDP_SRV_PREFIX_n　262
SIP_URI_n　254
SIP_USER_AGENT　253
SIP拡張機能　103
SIPサーバー　96
SIPサービスドメイン　98
SIP設定 [回線 1]～[回線 x]　94
SIP設定　93, 94, 162, 253
SIPソースアドレスフィルター　104
SIPタイマー　101
SIPトランスポートプロトコル　101
SIP認証　99
SIPの設定　26
SIPポート　98
SIPポートマッピング　82
SIPユーザーエージェント　94
SSAF（SIP Source Address Filter）　104, 272
SSAF→SIP Source Address Filter　104, 272
STATIC_GATEWAY　201
STATIC_IP_ADDRESS　200
STATIC_SUBNET　200
STUN_2NDSERV_ADDR　210
STUN_2NDSERV_PORT　211
STUN_SERV_ADDR　210
STUN_SERV_PORT　210
STUNサーバー　80, 210
STUNサーバーアドレス　80
STUNサーバーポート　80
STUN設定　156, 210
SUB_INTERVAL_RATE_n　270
SUB_RTX_INTVL_n　268
SYSLOG_ADDR　183
SYSLOG_EVENT_CFG　183
SYSLOG_EVENT_SIP　182
SYSLOG_EVENT_TEL　183
SYSLOG_EVENT_VOIP　183
SYSLOG_PORT　183
SYSLOG_RTPSMLY_INTVL_n　184
Syslog設定　153, 182, 302
T1タイマー　101
T2タイマー　101
TALK_PACKAGE　215
TCP用SRVプリフィックス　100
TELEVENT_PAYLOAD　245
TFTPサーバー　32, 186
TIME_QUERY_INTVL　210
TIME_SYNC_INTVL　209
TIME_ZONE　176
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET　217
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE　217
TR-069　171
TR-069を使用した設定ファイルの設定　171
TSV（Tab-separated Value）　279, 282
TSV→タブ区切り形式　135, 279, 282
UDP_CON_REQ_ADDR_NOTIFY_LIMIT　198
UDP用SRVプリフィックス　100
URL　136, 137, 138
USE_DEL_REG_CLOSE_n　266
USE_DEL_REG_OPEN_n　266
USER_DNS1_ADDR　201
USER_DNS2_ADDR　202
USER_ID　176
USER_PASS　176
VLAN　73
VLAN_ENABLE　203
VLAN_ID_IP_PHONE　204
VLAN_ID_PC　204
VLAN_PRI_IP_PHONE　204

VLAN_PRI_PC　205
VM_NUMBER_n　246
VM_SUBSCRIBE_ENABLE　212
VOICE_MESSAGE_AVAILABLE　250
VoIP　52, 93
VoIPステータス　66, 67, 302
VoIP設定　105, 108, 160, 237
VoIP設定 [回線 1]～[回線 x]　108
Web ID／パスワードの初期化　45
Web言語　84
Webサーバー設定　87
Webサーバーポート　87
Webプログラミング　30, 47
Webプログラミングで設定ファイルをダウンロードする　36
Webプログラミングにアクセスする前に　59
Webプログラミングの設定一覧　48
Webプログラミングのパスワード　59
Webプログラミングへのアクセス（ログイン）　61
Webポート　59, 87, 88
Webポートについて　59
XML_HTTPD_PORT　233
XMLAPP_CALLLOG_URL　236
XMLAPP_ENABLE　234
XMLAPP_IDLING_URL　236
XMLAPP_INCOMING_URL　235
XMLAPP_INITIAL_URL　235
XMLAPP_LDAP_URL　236
XMLAPP_LDAP_USERID　236
XMLAPP_LDAP_USERPASS　237
XMLAPP_MAKECALL_URL　235
XMLAPP_START_URL　234
XMLAPP_TALKING_URL　235
XMLAPP_USERID　234
XMLAPP_USERPASS　234
XMLアプリケーション設定　83, 136, 160, 233
XMLアプリケーション認証　83
XMLアプリケーションポート　83

あ行

アイドル用URL　138
アウトバウンドプロキシ　97
アウトバウンドプロキシサーバーアドレス　97
アウトバウンドプロキシサーバーポート　98
アカウント設定　152, 175
アクセス権限について（IDとパスワード）　60
アクセスレベル　48, 60
新しいパスワード　85, 86
アプリケーション起動用URL　136
アプリケーション初期用URL　137
誤った設定ファイルの例　170
暗号　141
暗号化　41
暗号鍵　41
イーサポート設定　72, 155, 203
インポート／エクスポート用のファイル形式　279
インポートとエクスポートの手順　280
インポートファイル名　135, 141
インポートボタン　280
ウィンドウコントロール　62
運用中プログラム領域　64
エクスポートボタン　281
エラーコード　302
オン／オフ周期　130, 131, 132
音質設定　157, 218

か行

会議サーバーURI　115
回線設定　162, 246
回線番号　67
各種VoIP設定　161, 243
各種電話設定　159, 230
各種ネットワーク設定　156, 211
管理者パスワード変更　84, 85
関連文書　2
キープアライブ間隔　104
機器情報　48, 64
機能ボタン設定　127, 159, 232
基本的なネットワーク設定　24
国番号　116
グローバルRTPポート 1～25　82
グローバルアドレス　81
グローバルアドレス検出　27, 79
言語　84
現在のパスワード　85, 86
検出間隔　80
検出方式　79
工場出荷値　24
コーディック優先度　111
コーデック設定　160, 237
コーデック設定の例　168
国際番号　116
呼制御設定　157, 162, 212, 246
固定IP接続　70
困ったとき　299

さ行

サービスドメイン　98
再起動　146
最小遅延　110
最大遅延　109
サブネットマスク　65, 70
サマータイム　90
サマータイムのオフセット　90
サマータイムの開始規則　90
サマータイムの終了規則　92
シェアードコール　120
時刻　91, 93
時刻設定　152, 176
時刻同期　89
時刻同期設定　88, 156, 209
システム設定　51, 84, 152, 175
ジッタバッファ　109
自動時刻同期　89
自動バージョンアップ　140
市内局番　116
週、曜日　91, 92
使用環境について　59
使用周波数　129, 130, 131, 132
商標　2
初期遅延　110
スタッター音　131
スタンダードファイル　35, 143, 187
スタンダードファイルURL　143
静的NAPT設定　80
セカンダリDNSサーバー　66, 70, 202, 203
セキュリティ　104
セッションタイマー（RFC 4028）　104
接続方式　65, 69
設定値の初期化　146
設定の優先度　41
設定ファイル　35, 165
設定ファイルの仕様　165
設定ファイルのパラメータ　167
設定ファイルのパラメータリスト　152
設定ファイルのプログラミング　151
設定ファイルの例　168
全着信 (転送先電話番号)　124
全着信 (不在転送)　124
その他のネットワーク設定　25

た行

タイマーB　102
タイマーD　102
タイマーF　102
タイマーH　102
タイマーJ　103
タイムサーバー　89
タイムゾーン　89
ダイヤル桁間タイマー　115
ダイヤルプランタイマー　115
ダイヤルプランのフィールドで指定できる値　286
ダイヤルプランの設定　286
ダイヤルプランの例　287
タブ区切り形式（TSV）　135
端末番号の設定　45
着信音　131
着信拒否　123
着信拒否番号　118
着信拒否／不在転送同期　121
着信用URL　137
直接コマンド　44
通常使用する回線番号　116
通話中用URL　137
通話履歴用URL　138
月　90, 92
定期プロビジョニング　144
定期プロビジョニング間隔　144
ディスプレイネーム　119
テキスト型に使用できる文字　168
テキスト形式の電話帳データ　280
デフォルトゲートウェイ　66, 71
電話機能設定　114, 119
電話機能設定 [回線 1]～[回線 x]　119
電話設定　55, 114, 133, 157, 159, 212, 229
電話帳インポート　134, 135, 280
電話帳エクスポート　135, 280
電話帳の削除　45
電話番号　67, 95
同期間隔　89
統計情報　109
トーン設定　129
トランスポートプロトコル　101

な行

内線暗証番号　133
内線指定代理応答　117
認証ID　76, 78, 83, 99, 139, 145
認証パスワード　76, 78, 84, 99, 139, 145
認証プロトコル　76
ネットワーク基本設定　68
ネットワークステータス　65, 302

ネットワーク設定　24, 49, 68, 155, 198
ネットワーク電話帳用URL　138
ネットワーク電話帳認証　139

は行

バージョン情報　64
パスワード確認　85, 87
発信音　129
発信者番号非通知　122
発信番号を照合する下限桁数　134
発信番号を照合する上限桁数　134
発信用URL　138
発着信機能　122
パラメータ設定例　295
番号計画　122
番号計画不一致時に発信　122
非通知着信拒否　123
必要なとき　305
ファームウェアアップデート設定　153, 184, 294
ファームウェア更新方法　140
ファームウェア更新ボタン　296
ファームウェアサーバー　294
ファームウェアのアップデート　139, 184, 293, 295
ファームウェアバージョン　64
ファームウェアファイルURL　141
ファームウェア保守　139, 140, 294
不応答 (転送先電話番号)　126
不応答 (不在転送)　126
不応答 (鳴動回数)　127
不在設定　124, 125, 126
不在転送　124, 125, 126
プライマリDNSサーバー　66, 70, 201, 203
フラッシュ再捕捉イベント　117
フラッシュ動作（切断&再捕捉）　117
フレキシブルボタンの設定　291
プレゼンスサーバーアドレス　97
プレゼンスサーバーポート　97
プレプロビジョニング　31
プロキシサーバー　78
プロキシサーバーアドレス　79, 96
プロキシサーバーポート　79, 97
プロダクトファイル　35, 143, 188
プロダクトファイルURL　143
プロビジョニング　34, 142
プロビジョニングSIPイベント名　144
プロビジョニングサーバー　33, 39
プロビジョニング設定　36, 153, 186
プロビジョニング保守　36, 142
ボイスメールアクセス番号　120
ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信　114
ポートクローズ時間　88
ポート転送　26
保守　58, 139
ホスト名　69
ボタン確認音　133
ボタン種別　127
ボタン情報　128
ボタン名　128
本機の状態を確認する　302
本機の初期化　297
本機を使用したプログラミング　30, 43, 44

ま行

マスターファイル　35, 143, 189
マスターファイルURL　143
マネジメントサーバーURL　145
マネジメントサーバー設定　145, 154, 193
メッセージについて　147
文字を入力する　63
モデル名　64

や行

ユーザーパスワード変更　86

ら行

リオーダー音　132
リソースリストURI　121
リンク速度／デュプレックス　72
ルーターの設定　27
ルート証明書　208, 209
レジストラサーバーアドレス　96
レジストラサーバーポート　96
ローカルバージョンアップ　141, 296

わ行

話中音　130
話中 (転送先電話番号)　125
話中 (不在転送)　125

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。
本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

■ This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2011

PNQX3585VA DD0711MK4052